

コンタクト体験特集

# UFO contactee

SINCE 1961  
GAP-JAPAN NEWSLETTER



UFO/超能力/宇宙哲学  
コンタクティー

UFOの正体と観測の仕方

UFO・異星人との遭遇体験記

宇宙哲学で奇跡を起こして安全に生きる方法

西郷隆盛の最期を透視

アダムスキー秘書との対話

UFO-宇宙からの完全な証拠

AUTUMN  
1990

110



〈巻頭言〉 近世のアダムスキー	1
UFOの正体と観測の仕方	2 本誌編集部
<b>UFO・異星人との遭遇体験記</b>	6 藤本定雄
UFO写真展盛況	13
<b>宇宙哲学で奇跡を起こして安全に生きる方法</b>	14 久保田八郎
<b>西郷隆盛の最期を透視</b>	20 遠藤昭則
アダムスキー秘書との対話	24 向井 裕
GAP短信	29
科学-SCIENCE	30
アメリカGAP発足/(完)	31
<b>UFO-宇宙からの完全な証拠(連載第12回)</b>	34 ダニエル・ロス
〈投稿欄〉 ユーコン広場	40
〈報告〉 第1回南九州支部大会	42
第11回仙台・山形合同支部大会	43
第4回長野支部大会	44
〈予告〉 第3回秋田・青森合同支部大会	45
英文版ユーコンNo.6/編集後記	46
〈予告〉 1990年度日本GAP総会	47
本誌/バックナンバー掲載記事目録	48
日本GAP全国月例研究会案内	50
〈広告〉 新アダムスキー全集	51



◆金星人カラ・ジョージ・アダムスキー  
に伝わられた金星のシンボルマーク。2個の円形の中に、左側は宇宙の父性原理(陽)、右側は母性原理(陰)を意味する円は皆山をあらわしている。

## GAPについて

GAPは「知らせる運動」という意味の世界的なグループ活動で、世界中の人々がUFOの真相について“知る”機会を与えられるべきであるという見地に基づいて1959年にジョージ・アダムスキーによって創始されました。彼の願いは「最大多数の人が現代の真実を発見して、来るるべき時代に眼を転じること、人間はすべて“コズミック・パワー”的子であり、そのパワーの諸法則が宇宙に遍満している事実を確信をもって知ること」がありました。この諸法則は他の世界（惑星）から来る友好的な訪問者からもたらされた“生命の科学”的理解を通じて体得できます。

日本GAPの目的はUFOとスペース・プラザーズ問題を関心ある人々に伝えることにより、奉仕活動を通じて真実の解明と宇宙の法則の実践を呼びかけることがあります。その中心思想は次のとおりです。

1. この太陽系の他の惑星群には偉大な発達をとげた人類が居住しているが、米ソ等の大国民党はこの真相を隠している。
2. 他の世界から来る人々はこの世界の政治家や科学者とひそかにコンタクト（接触）しており、危機にひんした地球に対して救援の手をさしのべている。官民を問わずスペース・プラザーズとコンタクトしている人々が少數存在すると思われるが、通常その真相は洩らされていない。
3. ジョージ・アダムスキーがもたらした哲学は、人類の精神の向上と地球の輝かしい未来を築くために不可欠のものである。

本誌は他の団体・個人と対立するものではなく、政治・宗教と関係のない非営利刊行物です。本誌が読者に対して多少とも役立てば幸いです。

## 表紙写真

米モンタナ州のマイクル・サリヴァン撮影。  
合成写真のように思われるが、詳細不詳。

古来、宇宙の姿は現代人が持つイメージとはほど遠く、太陽その他の星々は地球を中心として回転していると考えられていた。これを根底から覆したのがボーランドの天文学者ニクラス・コペルニクスである。ラテン語でニコラウス・コペルニクスという。

彼は天文学一筋に生きた人ではない。最初はクラカウ大学で神学と医学を学び、次に数学と天文学を学んだ。これらの学業は主としてイタリアで習得したが、帰国後はフラウエンブルクの寺院で聖職者として生涯をすごしている。



## 〈巻頭言〉 近世の アダムスキ

最初はクラカウ大学で神学と医学を学び、次に数学と天文学を学んだ。これらの学業は主としてイタリアで習得したが、帰国後はフラウエンブルクの寺院で聖職者として生涯をすごしている。

彼は天文学一筋に生きた人ではない。最初はクラカウ大学で神学と医学を学び、次に数学と天文学を学んだ。これらの学業は主としてイタリアで習得したが、帰国後はフラウエンブルクの寺院で聖職者として生涯をすごしている。

当時のカトリック教会では天動説が絶対的な真理であり、太陽を始めとするあらゆる天体は地表の世界に従属するものと信じられていた。これに反論を唱える者には異端として破門から極刑までが待ち構えていた。

しかし友人達の熱心な激励によつてコペルニクスは出版を決意したけれども、最初の校正刷が届いた時にはすでに重病で死の床にあつた。

だが、このような大発見が見逃され埋もれるはずはない。同調者は必ず現れる。ガリレオ・ガリレイがまず躍り出た。彼は数学と物理学で名声を博したがつて科学と神学の両道を歩んだわけで、科学一辺倒の唯物論者ではない。

聖職者で科学的発明発見をした人は少なくない。遺伝学のいわゆるメンデルの法則を発見したグレゴール・ヨハン・メンデルもその一人で、彼は一八五六年に、勤めていた教会の小さな庭でエンドウを材料として遺伝の実験を始めたが、有名な法則を発見するまで七年を要した。

こうした偉大な先駆者に共通する宿命は、同時代人に理解されないと

立派に立たたまらない。ついに翌年宗教裁判にかけられて、地動説を捨てるかそれとも火あぶりの刑かというなかつたといふから、一六〇〇年代の法王庁というのは「地獄からの訪問者」の集まりみたいな所だ。

ガリレイが「あれは、ウソでした」と嘆いたといふのは少々伝説じみているが、死後は葬儀も墓の建立も許されなかつたといふから、一六〇〇年代の法王庁というのは「地獄からの訪問者」と呼んで地球は動いているんだ

と嘆いたといふのは少々伝説じみているが、死後は葬儀も墓の建立も許されなかつたといふから、一六〇〇年代の法王庁というのは「地獄からの訪問者」と呼んで地球は動いているんだ

と述べて助かつたのはまだよい方で、地動説を最後まで支持して、ついに宗教裁判の結果、焼き殺されたのは、やはりもと聖職者であったジヨルダノ・ブルーノである。

イタリア・ルネサンス期の大先覚者ブルーノは、コペルニクスの地動説ばかりではなく、無限の宇宙に無数の世界が生成消滅し、宇宙に絶対的中心は存在せず、万物はみな平等であるといふ説を打ち出したのだ（なんという驚異的人物！）。こうして反スコラ哲学の論陣を張りながらヨーロッパ各地を歴訪し、一五九二年に帰国した所を逮捕され、七年に渡る宗教裁判でも自説を曲げず、ついに一六〇〇年二月、ローマ市内の『花の広場』で火刑に処せられた。「何か言い残すことはないか」と火付け役人から聞かれたブルーノは、「お前達のような虫ケラに言うことはない！」と罵声を浴びせて從容として死んでいったと伝えられている。

四年前『花の広場』に建つブルーノの銅像の頭や肩に多数の鳥がとまつて屈伏して地動説の誤りを証言し、誓約書を取られて釈放された。帰宅してから「それでも地球は動いているんだ」と嘆いたといふのは少々伝説じみているが、死後は葬儀も墓の建立も許されなかつたといふから、一六〇〇年代の法王庁というのは「地獄からの訪問者」と呼んで地球は動いているんだ

世界が日進月歩の勢いで発展すれば、世界が日進月歩の勢いで発展すれば、世界が無限であり、万物が平等であるという思想は子供でも有している。今日ブルーノの名前などは誰も知らないが、宇宙が無限であり、万物が平等であるという思想は子供でも有している。しかし先駆的な説や主張が市民権を得るまでの道は遠い。「前途程遠し。思いつを雁山の暮の雲に馳す」という体の研究や活動は「豈GAPのみならんや」だが、我々の辞書には失望という文字はない。「どうせここまでやつてきたからには、あとには引けない」という悲壮感も持たぬ。あるのは信念のみ。

たぶん來世紀の中葉以降から太陽系の全惑星に人類が存在する事実が一般に知られるようになり、アダムスキーリの名も世界的に浮上するだろう。そのように確信せざるを得ない理由もいろいろある。とにかく、ムキにならず、といつて消極的にもならず、明るい希望を持つて堂々と前進しよう。今は焼き殺される時代ではないから恐れる必要はない。

**UFOs : What They Are and How To Contact Them.**

〈本誌編集部〉

# UFOの正体と観測の仕方



▲ケネス・アーノルド

今世紀最大の謎といわれるUFO！

妖しい光を放ち、想像を絶する速度で  
天空を飛翔し、ときに天女のごとく、  
ときに阿修羅のごとく出現するこの快  
光体は、第二次大戦終了後に急浮上し  
た。

一九四七年六月二十四日、米アイダホ  
州の実業家、ケネス・アーノルドが自  
家用機でワシントン州キャスケード山  
脈の峰々の間を飛ぶ九個の不思議な物  
体を発見したのが目撃の嚆矢とされる。  
カリフォルニア州北部からカナダ西  
部にわたるこの大山脈の最高峰はレイ  
ニア山で、標高四三九〇メートルある。  
この辺りに墜落したと思われる商業機  
の搜索に飛んだアイダホ救難飛行隊の  
メンバーだった彼は、五〇〇〇ドルの

報酬目当てに捜索にあたっていた。

結局、残骸は発見できなかつたが、  
円盤型飛行物体の目撃により、彼は一  
躍世界的に有名になったのである。

「まるで水面上を飛び跳ねるソーサ  
ー（コーヒー台皿）」のようであつた  
と記者団に語ったため、発明の才ある  
一記者が「Flying Saucer（空飛ぶコ  
ーヒー台皿）」という造語で発表したため  
にこの語が一般化した。これを日本の  
マスコミが「空飛ぶ円盤」という訳語  
で使用した。「空飛ぶ円盤が出現した」  
という記事が終戦後、連日のようにな  
聞に出たのを編者は記憶している。

その後、「空飛ぶ円盤」という語はU  
FOにとつてかわつた。目撃される不  
思議な物体は必ずしも円盤型とは限ら  
ないからだ。それで、より科学的な表  
現を求めて Unidentified Flying  
Object (未確認飛行物体) という語が  
昭和三〇年代頃から使用されるよう  
なり、その頭文字をとつて UFO と略  
称されている。これをユーフォーとい  
う人もあるが、正式にはユーフォー  
という。編者が会った英米人達はユー  
エフオーと言つていた。それで編者も  
ユーフォーと言つてゐる。しかしユ

ーフォーでも間違ひではない。どちら  
でもよいだろう。

だが、初期の頃からの日本人研究家  
は大体に「エンパン」と言う癖がある。  
編者もその一人で、「今日はエンパンが  
飛ぶかな」と言つたりする。球形や葉  
巻型物体でさえもエンパンで片付ける  
ことが多い。

## 過去世からのカルマ

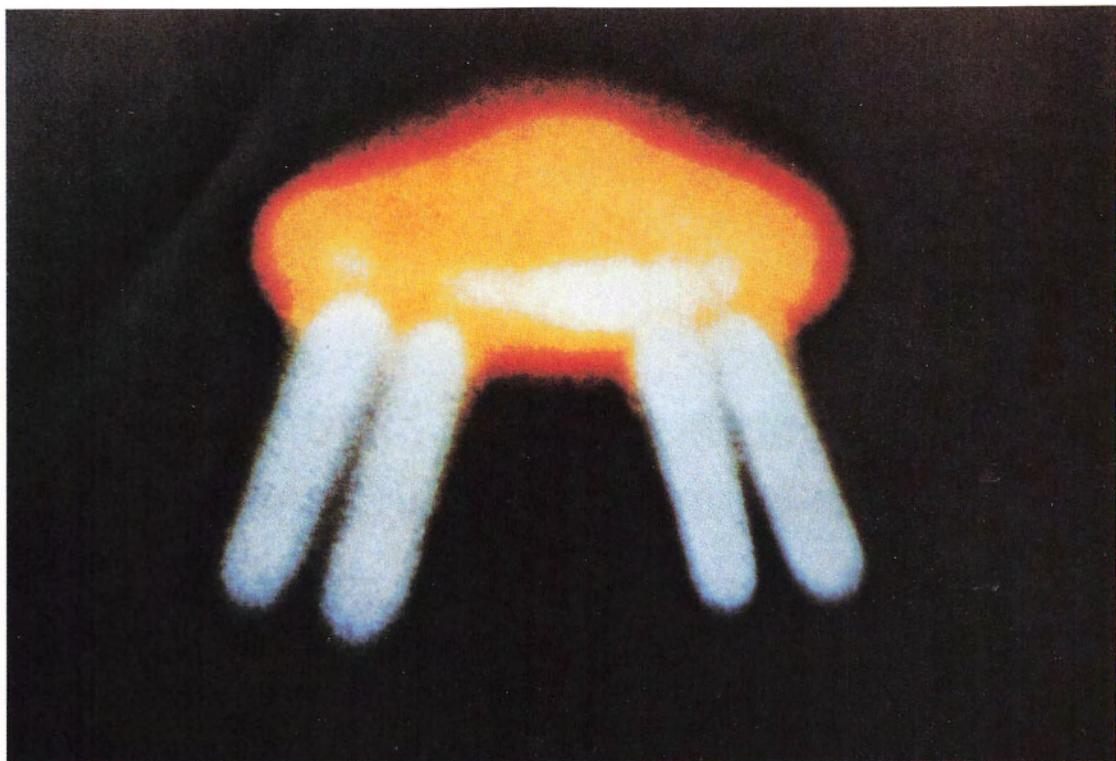
さて、UFOだが、いまだに存在し  
ないと思っている人が案外に多い。自  
分の目で見たことがなければ無理もな  
いが、一度見たならば物凄いショック  
を受けて、たちまち絶対的な信者にな  
る。それが普通だ。「俺は見たのだから存  
在するのは間違いない！」と、かつての  
懐疑論者が否定論者に食つてかかる光  
景がよく展開する。「見なくても信する  
者は幸いである」とイエスは言つたが、  
確かに全く見たことのないのに熱烈な  
関心を持つ人もいる。編者ももとはそ  
の一人だつた。だから幸いな？人の部  
類に入ることになる。

同じような教育を受けながら、なぜ  
ある人はUFOを真っ向から否定し、  
信する人を嘲笑する一方、ある人は未  
確認飛行物体に限りない憧れを抱くの  
か？

## アダムスキーの主張は正しい

それはさておき、アダムスキーの主  
張するところは、われわれの太陽系に  
は実際には一二個の惑星があり、そ  
いすれにも人間が居住し、しかもど  
の惑星にも高度な文明が栄えているとい  
う。そして、いわゆるUFOなるもの  
は、それらの惑星から地球へ探査や救  
援に来る超高度に発達した宇宙船だと





▲1974年にフランスの上空に出現したUFO。詳細は不明。

いうのである。地球は相つぐ戦禍と環境破壊により住みにくい場所になりつた。これを良き方向へ向かわせるために彼らスペースピーブルがひそかに救援活動をつづけている。

別な惑星の人間も地球人と全く体型は変わらない。違うのは科学と精神の分野でわれわれの想像を絶するほど進歩している。たとえば彼らはテレパシーの能力が発達し、仲間同士では音声を発しないでテレパシーによる会話を行なう、等々。一般人には夢想もできぬような説をとなえている。

詳細は新アダムスキーエ全集（中央アート出版社刊）をお読みになれば分かるが、とにかく従来のあらゆる学説を根底から覆すような内容を詳細に述べている。

一体、彼の言っていることは真実なのか？これは多年論争の的になつてきた。そして惑星探査機の調査結果により地球以外の惑星に人間のような知的生命体が存在する可能性はないという結論に達した、かの感がある。

だが、編者がうるさいほど強調してきたのは、米ソとも別な惑星、特に金星に高度な文明が存在することを突きとめている、という事実である。しかし、これ以上は言えない。編者は根拠のないことを主張しているのではなく、正当な理由があるのである。この世界では国家が行なう科学的研究の裏に政治が介在することを忘れてはならない。

だからUFOが地球へ飛来するのだ。この未確認飛行物体は科学的に超高度に発達した金属製の宇宙船であつて、その内部には人工的に重力場を発生させる装置を有している。したがつて推定時速二七〇〇キロであつたとアーノルドが言うような物凄い速度で進行しないながら突然Uターンしても、中に入り人間は全然衝撃を感じない。これはUFO船体の人工重力場が内部の人間の細胞すべてを船体中心部へ引っ張っているからだ。ちょうど地球が凄いスピードで公転と自転をしながらも人間が何も感じないと同様の原理に基づいて作られているのである。

現在の地球の航空機はこのような重力場がないために、急施回すると人間はひどいGフォースを受けて壁に押しつけられる、急降下すると中の人は一緒に落ちるために無重力状態となつて機体内でフワフワと浮かぶ。だがUFOはそのようなことは一切なく、船体がどのような動きをしても内部は快適な居住空間になつていてアダムスキーは言つている。

これは事実であろう。なぜならこれまで編者が見たUFOの物凄い機動性と驚嘆すべき離れ業からみて、アダムスキーエの科学的な説明が首肯できるからだ。

## 人工重力場をもつUFO

この未確認飛行物体は科学的に超高度に発達した金属製の宇宙船であつて、その内部には人工的に重力場を発生させる装置を有している。したがつて推定時速二七〇〇キロであつたとアーノルドが言うような物凄い速度で進行しないながら突然Uターンしても、中に入り人間は全然衝撃を感じない。これはUFO船体の人工重力場が内部の人間の細胞すべてを船体中心部へ引っ張っているからだ。ちょうど地球が凄いスピードで公転と自転をしながらも人間が何も感じないと同様の原理に基づいて作られているのである。

現在の地球の航空機はこのような重力場がないために、急施回すると人間はひどいGフォースを受けて壁に押しつけられる、急降下すると中の人は一緒に落ちるために無重力状態となつて機体内でフワフワと浮かぶ。だがUFOはそのようなことは一切なく、船体がどのような動きをしても内部は快適な居住空間になつていてアダムスキーは言つている。

これは事実であろう。なぜならこれまで編者が見たUFOの物凄い機動性と驚嘆すべき離れ業からみて、アダムスキーエの科学的な説明が首肯できるからだ。

## 地球には沢山の異星人がいる

もう一つ見逃し得ないのは、前述の如くUFO人別な惑星から来た人々)は素晴らしいテレパシーの能力を持つ上に、船体に装備された各種の装置により、地球上のあらゆる現象はおろか、人間の性質まで的確に見抜くことが可能であるという点である。したがって、地球人で特にテレパシー能力を持つ人には注目したがるという傾向がある。

地球には別な惑星から来た人がかなり住んでいるらしい。その人達は自分の正体を絶対に明かすことなしに、地球人の中に混ざつて仕事や研究に従事している。そして一種のネットワークを持つており、地球人の特定の人達とひそかに接触しながら異星人達の活動に協力させている。こうした地球人をコンタクトマンまたはコンタクティーという。コンタクトティー達は大体にテレパシーまたは遠隔透視あるいはオーラ透視等の能力を持つ超能力者である。これは他の地球人に知られずにひそかに接触する場合、異星人は接触場所を手紙や電話でなくテレパシックな方法で伝えるのでそれを感知する能力と、相手を異星人だと見抜く能力が要求されるからだ。

またコンタクトティーとして選ばれる人は過去世からの特殊なカルマを持つ人であるらしいが、これも深遠な問題

なので、簡単に解説するわけにはゆかない。しかし地球人コンタクトティー達の仕事をかなりハードであって、なかには耐え切れなくなつて辞退する人もあるようだ。だから異星人ととのコンタクトを幻想的なロマンティックなものと想像している人は考えを改める必要がある。まず超能力を開発すること、夜間にかなり遠方まで出向いて、朝方帰宅してから、何食わぬ顔で出勤できるほど体力のあること、特に夜間のコンタクトで帰宅が朝になつても家人と衝突を起こさないこと、絶対に秘密を漏らさないこと等を考えると、ごく一部の人だけに限られることが分かる。

それでも国内だけで相当数のコンタクトティーがいて、ひそかに異星人と接觸していると聞いている。若い人が多く、皆なにがしかの超能力者である。しかし、いわゆる超能力を持たない人でも空中を飛ぶUFOを目撃することはできる。これはテレパシーで呼びかけていると聞いている。若い人が多いだろうが、皆なにがしかの超能力者である。

人でも空中を飛ぶUFOを目撃することができ。これはUFOを目撃したことなども思えぬような凄まじいUFO

このUFOはオレンジ色その他の色光を帯びて発見しやすいので、どちらかといふと夜間がよい。場所はなるべく人気のないところを選ぶ。編者は大体に都外の山中へ入りこんで行なつている(東京には山がない)。もちろん冬は寒気がきびしいから冬用の防寒服一式を抱えて行く。夏でも夜間は冷えるので防寒服は必要だ。下着のシャツには使い捨てカイロを腹と背中に各二個ずつ入れるポケットが付けてあり、モモヒキにも両膝の部分にカイロを各一個送信する先に発射するのだが、その場合は受信者のイメージを中心には描くと

よい。テレパシーの理論と練習法は新アダムスキー全集第二巻『超能力開発法』(中央アート出版社刊)に詳述してある。

### テレパシーによる観測法

このテレパシー送信によるUFO呼出しは編者が昔から行なつていた事で、過去多数のテレパシーコール観測を行なつて多大の成果をあげている。合計で延べ数百機のUFOを目撃したといつても信じない人が多いだろうがこれはけつして誇張ではない。この世界とも思えぬような凄まじいUFO現象を目撃したことも何度も度がある。そこでその方法を編者なりに述べることにしよう。

観測は昼でも夜でもよいが、夜間なうUFOはオレンジ色その他の色光を帶びて発見しやすいので、どちらかといふと夜間がよい。場所はなるべく人の言葉は大体に次のとおりである。「偉大な惑星からいらしゃいまして宇宙の兄弟の皆様方。×××がお迎えに参りました。なにとぞ出現されまして、応答して下さい」

この他にも言葉を変えることはあるが、大体にこれが基本となつていて。以上の呼びかけの言葉は声に出してよく、心中でとなえてもよい。周囲に人がいない場合、つまり単独の観測の場合はかなり大きな声を出すことが多い。いずれにしてもこの呼びかけの言葉はテレパシックな想念波として上空のUFOに確実に届くのである。

ただし、その声に応じてかならずUFOが出現するとは限らない。一晩中呼びかけても全く出現しないこともあります。観測を開始してまもなくオレンジ色の光体が飛ぶのを見て歎声をあげることもある。UFOの出現いかんはスペースピープル側の何らかの理由に

度計、特殊な時計その他の七つ道具を携行する。しかし最高の道具はテレパシックな直感力である。どこへ行けばよいか、何時頃からUFOが出てくるかをまず直感する必要があるからだ。大体の見当がついたら、その場所へ行つて支度をし、テレパシーコールを行なう。「UFOよ出てこい」というような横柄な態度ではダメ。相手はわれわれよりもはるかに進歩した異星人であるから、極力謙虚な態度で呼びかけよう。編者が多年行なつてゐる呼びかけの言葉は大体に次のとおりである。「偉大な惑星からいらしゃいまして宇宙の兄弟の皆様方。×××がお迎えに参りました。なにとぞ出現されまして、応答して下さい」

よるものらしい。

## 雨にたられた テレパシーコールUFO観測会

そこで今年度から日本GAPは団体によるテレパシーコールUFO観測会を実施することにした。そして前号で予告したように去る六月九日夜、第一回の観測会を行なつたのである。

当初は富士山二合目を予定しており、

参加者はせいぜい四、五〇名と予測していたところ、フタをあけてみると正規申込者はなんと二六〇名に達し、車

も九〇台近くになるので、大いに驚く

とともにGAP会員諸氏の熱意と信頼の深さに感銘を深めたが、こんなに大勢で押しかければ富士山二合目は危険

であると判断して、急遽、場所を朝霧高原に変更し、この件は参加申込者全員に案内書を発送して通知した。

ところが前日まで好天だったのに九日から関東地方は入梅となり、午後六時に東京月例会終了後、ただちに出発

してまもなく雨が降りだして、現地に到着した頃は土砂降りとなつた。

一時半頃にやつと雨がやんだので全員集合して観測を開始したが、空は依然として晴れず、暗雲低く垂れ込め

て広大な草原は霧に包まれた状態で、空は梅雨の前後を避けて、夏の王者・

遠藤昭則、斎藤庄一両講師の指導のもとに一齊に上空に向かって呼びかけた

けれども、UFOの目撃は実現せず、途中数度休憩して翌日三時まで観測を続行したが、結局、途中チラリと覗いた星空を數度見た程度で、さほどの成果があがらず、三時半に解散したのである。

これは呼びかけが不備だったのではなく、UFOというのは大体に昼なら青空、夜は星空の如く澄んだ天空でなければ見られないという編者の体験を裏付けたことになる。UFOは通常かなりの高空を飛ぶのであって、雲から下へ降下しないのが普通なのだ。

こんな悪天候の日に限つて観測会を実施したのが運のつきだつたが、気象の変化ばかりはどうしようもない。次

回は梅雨の前後を避けて、夏の王者・太平洋高気圧がどつかりとあぐらをかいた頃を狙いたい。それには八月上旬が最適だろう。また朝霧高原は事情あつてUFO観測には不向きなので、今後は別な場所を検討したい。

最重要なのは、この程度の結果で挫折することなく、信念と忍耐力をもつ

つてUFO観測には不向きなので、今後は別な場所を検討したい。

ついでUFO観測には不向きなので、今後は別な場所を検討したい。

ついでUFO観測には不向きなので、今後は別な場所を検討したい。

ついでUFO観測には不向きなので、今後は別な場所を検討したい。

て何度も観測をつづけることである。そうすればいつかは報われるだろう。個人で行なつてもよく、少人数のグループでもよい。グループの場合は手をつないで輪を作りながら行なうと、放射波動が強化されることになる。

今回の観測会で多数の遠来の参加者が全くグチをこぼさず、むしろ良いレッスンになつたと言つて明るい表情で別れて行つたことは特筆にあたいする。その高貴な精神を讃えたい。

▲久保田会長の挨拶と全員記念撮影。

撮影／松村芳之



▲テレパシーコール観測会。

撮影／久保田八郎



**My Successful Encounters with UFOs and Space People**  
by Sadao Fujimoto

# UFO・異星人との遭遇体験記

## ●藤本定雄

少年時代にUFOを目撃して以來、空中を飛ぶ不可思議な物体に熱烈な憧れを抱くようになり、大空にテレパシーで呼びつけた筆者が語るUFO目撃体験と異星人ととの遭遇事件。この事実を少しでも多くの人に知つてもらいたいという筆者の真摯な談話をここに収録。本誌95号から連載した「私は別な惑星へ行つてきた！」の主人公・春川正一氏の有力な証人でもある。

静岡市に住む藤本氏（仮名）は東京の私大を出た三七歳の会社員。冷静に淡々と語る氏に耳を傾けるのは編者とGAP本部の一役員。時は本年五月上旬のある夜。場所は静岡市内のある寿司屋。

私が最初にUFOを目撃したのは中学三年のときだつたと思います。静岡市内の自宅の近くでした。親歳の子供とお菓子を買いに行って、そのあと親威の家に帰る途中、突然UFOを目撃

しました。その形はヒトデ型でした。なんとなく空を見ると浮いていたのです。民家の屋根の上でしたが、かなり低い位置でした。

それは一戸建ての家の屋根の上から三〇センチぐらいの所に浮いていて、私から物体までの距離は三メートルぐらいでした。大きさは五〇センチぐらいで、乳白色をしており、屋根の上の空間を左右にジグザグに飛んでいるのです。

そのときはそれが空飛ぶ円盤とは思いませんでした。親戚の子が「円盤じゃないかなあ」と叫んでいたのを覚えています。それを見たときは恐怖心はありませんでした。

それから約一年後に、やはり自宅の近くで貝の形をしたUFOが頭上「一六メートル上空をフラフラしたような状態で動いていたのです。それを見たときは自分の目を疑いました。

私が最初にUFOを目撃したのは中学三年のときだつたと思います。静岡市内の自宅の近くでした。親歳の子供とお菓子を買いに行って、そのあと親威の家に帰る途中、突然UFOを目撃

す。私はまだ大学へ行つていまして、東京の飯田橋で牛乳配達をアルバイトでやつていた頃、そのあたりに下宿していました。

昼間でしたが下宿で『少年マガジン』という雑誌を見ていましたら、最後のあたりの頁に円盤の記事が載っていました。

その最後の欄にミニコミ欄がありまして、UFOと宇宙考古学研究家のK氏の講演がN大理学部講堂であるという記事が目にとまつて、友達と二人でそこへ行きました。

講演が終わつたあと、運動場の近くに大きな池があつたのですから、そ

の池のまわりで五〇人くらいの人で手をつなぎながら輪を作つて、空を見な

がら各自で念じました。

そのときははどういう観測の仕方だったかといいますと、「飛んで来て下さい」という言葉を口に出さないで心の中で何回も繰り返しながら、ある星を見つめて思念をしつづけました。精神を集中して思念をつづけましたので非常に疲れましたけれども、苦痛は感じませんでした。

七時頃から始めて一時間たつても全くUFOが出ないのですから、約半数の人が講堂に入りました。一二月なのでかなり寒い日でした。残りの人達で観測をつづけていましたら、八時ちょうどぐらのときに、まず五、六人の人が銀色に光る流星型の円盤を見た

のです。

私は八時一五分にやはり流星型の円盤を見ました。そしてK氏にそのとき観測方法を教わりました。「UFOを見たいと思えば毎日時間をきめて観測しないさい。とにかく『見たい』という強い気持ちを起こすことが大切です」というパンフレットをもらつたのです。

## 毎日観測をつづける

そこで私は翌日から夜の一〇時半と

いうことにきめて観測を始めたのです。これは下宿でやりました。下宿の屋根の上に登つてやつたのですが、最初の夜の一〇月二十四日は目撃できませんでした。

次の日の二五日には流星型の銀色に光るUFOが私のすぐ真上を飛びました。

そのときはどういう観測の仕方だったかといいますと、「飛んで来て下さい」という言葉を口に出さないで心の中で何回も繰り返しながら、ある星を見つめて思念をしつづけました。精神を集中して思念をつづけましたので非常に疲れましたけれども、苦痛は感じませんでした。

しかし「今日は見えないかなあ」と思つて、ふと横を見ましたら、私から二、三メートル横を白銀色のUFOが飛んだのです。大きさは一メートル弱だつたと思います。

つづいて二六日と二七日にも下宿の屋根に登つて観測をつづけたのですがダメでした。

△藤本氏は古い日誌の記録を沢山持參してそれを参照しながら語る。発音明瞭にして言葉の乱れがほとんどない。頭の中で文章を作りながら話すのではなく、ごく自然に語つているようだ

## 巨大なUFOが出現

二八日には観測を始めて三〇分ぐらいたつたとき、今度は東の空からUFOが出現しました。二五日に目撃した円盤と同じぐらいだったと思います。それからバンバンUFOを見るようになつたんです。この頃になるとだんだんと想念の送り方のタイミングがつかめるようになりまして、UFOがやつて来るときは「やつて来るな」という予感がするようになりました。でも目撃できないときは、今日は見れなくとも明日は必ず見られるという自信はありました。

三〇日に静岡の自宅へ帰りまして、その夜もやはり観測を行ないました。この夜は妹と一緒に自宅の庭に出て空を見上げながら観測をしました。

そのときに出現したのは銀白色の物体でした。この頃になると「見える」と思うようになつてきたんです。

そして三一日の日ですが、この日は

だいだい色に光つた長方形の物体が、これが大体三〇メートルぐらいの大きさだつたんですが、突然空間に現れたんです。私から一五六メートルぐらいい上空ですが、すごく大きな物体でした。これは素晴らしい光景でした。この物体は空中に停止したまま右端からゆづくりと消えてゆきました。その日は流星型のUFOを二回ほど見ました。そしてそのあとは毎日UFOを目撃していくのです。

## 橢円型のスカウトシップ?

今度は一九七四年の一月七日の日です。私の家に友人が来まして夜一〇時頃まで雑談していました。その友人は大田(仮名)という人で、ユーフォジーの活動家でした。

七時頃から二人で空に向かつて観測していたところ、何も出現しなかつたので、部屋の中へ入つてふたたび雑談をつづけていました。

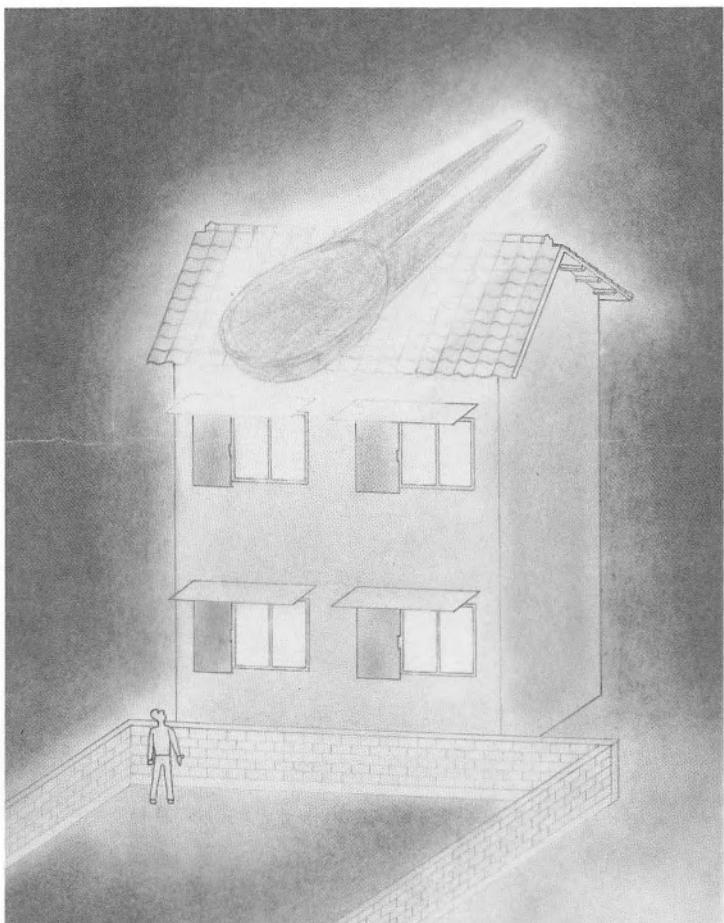
ちょうど一〇時頃、非常に外のことが気になつたので、急いで外へ出ましたところ、ベランダから目撃したんだですが、西の方角から橢円型のUFOが飛んで來たんです。

私が大体三〇メートルの位置にあり、そのUFOの大きさは五メートルぐらいでした。それは木の陰にかくれて見えなくなつたんですが、人が乗れるぐらいの大きさでした。これはカメ

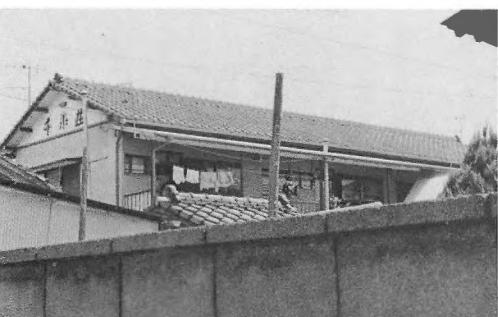
## 隣家の屋根からUFOが

その次の日は自宅でテレビを見ていましたが、どうもイラライして落ち着かないなつて外へ出たんです。

裏庭へ出たところ大きなUFOが隣家の屋根から現れたんです。



▶右のイラストは74年1月8日の物体出現時を描いたもの(青木氏画)。下はそのアパートの写真。現在は建てかわっている。



その家は二階建てのアパートで、二階の屋根からUFOがスースと顔を出した感じでした。大きさは五六メートルぐらいで、かなり大きな物体でした。これは一月八日夜の九時半頃です。連夜のようにUFOが出現するものですから感激して涙が出ました。物体の後方に出ているのは光ではなくて尾です。

これは本当にゆっくり私の頭上通り過ぎて、むこうの山の方へ飛んで行きました。ほかの人も目撃したのではないかかなあと思つたのですが、どういわけか目撃者がいないんです。

## 初めてUFOの写真を撮る

今度は一月一〇日のことです。大学にいた頃、先輩が世田谷区の西太子堂という駅の近くに住んでいたものですから遊びに行つたんです。その日、そのアパートから目撃したのが円型でした、大きさは一メートルぐらいで、かなりの至近距離をゆっくり発光しながらレポートして行くのです。

それから一月二八日までは毎日UFOを見ていました。その間のことは日誌に記録していませんでしたので省略しますが、二八日に素晴らしい光景を写真に撮りました。西太平子堂で八時半頃から急に気分が落ち着かなくなつて、ソワソワし始めたんです。大体私はカメラでUFO

の写真を撮りたいと思って、撮らせて下さいと空中に想念を送っていました。

それでその夜もUFOが出たものでトルぐらい向こうの西の方角から小さな丸い光点がテレポートしながら私の方へ向かつて来るんです。

カメラは用意してあつて、トライエックスのフィルムを入れておいたんですけど、「撮らせてもらえるといふ直感があつたのですから、前日から準備していたわけです。

九時頃、窓を開けて見ましたら一〇メートルぐらい向こうからテレポートしながら飛んで来る物体があつたんです。そして私から四メートルぐらいの所に橢円型の、大きさ三メートルぐらいの物体が滯空しているんです。色は乳白色でした。空中に停止しているのですからすぐに写真を撮りました。

その写真を撮つたあと、物体はまたも黒板に描かれたチョークの図を黒板ふきで消すかのように右端からサークル消えてゆきました。

私がUFOを目撃するのは夜間だけで、昼間に見たことはほとんどありません。昼間に見られれば素晴らしいだけです。でも、なぜかこのUFOを見ることができないんです。これにも何かの理由があるのだろうと思ひます

が、私には分かりません。

次に二月中旬になるんですが、小判型のUFOで直型三メートルぐらいの

▼74年1月28日夜9時頃、筆者が撮影したUFO。左右下方に家の窓の明かりが見える。



物を至近距離で目撃させて頂きました。これはブオンブオンという音を出しており、昔の黄色いハダカ電球のような感じでした。

三月に入ると毎日UFOを目撃しましたが日誌には書いていません。

三月八日に私は三〇センチぐらいの球型の物体が二個で同時に同じ動きをするのを見ました。

## テレパシー能力が身について

三月一四日に先にお話ししましたK氏の自宅へ行つたときのことです。突然、私の左の耳から右の耳へヒューッと何かが通り抜けたんです。頭の中を何かが通過するのを自分で感じたんです。

それ以来、頭にテレパシーが入つて来るようになりました。そして頭がだんだん重たくなるんです。

それで四月二九日にとぶんですが、この日は葉巻型のUFOを初めて都内で昼間に目撃しました。まつ黒な物体で、それが突然現れてきたんですが、それは五時二〇分頃のことです。まだそんなに暗くはなくて、友人と二人で目撃しました。

## 身体検査はされたくない

五月一八日には夜九時頃から観測を開始しましたが、このときは北海道の

某氏のように円盤に乗せられて、身体検査をされて記憶を消されたというような体験はしたくないので、そんなことはしたくありませんと上空に呼びかけました。「私に対する検査だけにして下さい」とお願いしたんです。

そうしたら地上から一五~六メートル上空の所に、大きさが一〇円玉ぐらいの物体がフラフラ動いているんです。本当に、私を見つめているという感じです。このときにはかなり沢山のUFOが飛びました。

五月一九日には私の頭上を貝型と私が呼んでいる物体が飛びました。これは八〇センチぐらいの大きさで、赤いランプと緑色のランプをつけた物体でした。突然出たものですから「そんなに突然出現して驚かせるようなことはやめて下さい」と呼びかけましたら、またUFOが沢山飛ぶのですから、分かつてくれたんだなと思いました。

ですからUFOの目撃は毎日つづくんです。十数年毎日のように目撃するものですから、これを全部お話ししてしまったんです。この時間では到底話しきれません。ここでは主要な体験だけにしますのでご了承下さい。

私がこんなに毎日のようにUFOを見るというのは、他の人とは違う人生を経験するような気がするんです。何か私が特殊な使命を帯びていて、彼ら

(異星人)とともに活動し、宇宙や地球の真実を多くの人に伝える使命があるような気がします。

## 万物には生命がある

その年の六月の中旬のある日です。私は夜寝ていて、夢なのか遠隔透視なのかよく分かりませんが、とにかく普通の夢ではなかつたと思ひます。

土星型UFOが空中から降りてくるんです。着陸してから一人の男の人が出てきて、背広ネクタイ姿できちんとした格好で、髪を七三に分けています。

その人が私に向かって「今からUFOに乗せてあげるから、そこにある物体に乗りなさい」と言うわけです。

それは一人乗りのUFOで、ハンドルもなく、七色の光が円形をなして回っています。すると男の人が「精神統一をしてその七色の光の回転を止めなさい。そうしなければその物体は上がりません」と言います。

私は何回も練習したのですが、光が止まらないで回ってしまうんです。何回か試しているうちに、うまく

つて、船体がグーッと浮かび上がりました。すると学生が自転車に乗つて通学する光景を私が上空から見ています。

そこで異星人が「よく出来ました」と言つて次のように語りました。「何でもうですが、お皿やコップにさえも

にしなさい。使って捨ててはいけません」以上のようなメッセージをもらいました。これは異星人の声が頭の中に響いてくるんです。夢の中で教えられたことではありません。コップでも割れたり瞬間にコップ 자체の生命がなくなりますから、こわさないよう大切にしないと言つていました。

## 平和祈念に応えてUFO出現

〈藤本氏の長い話は、紙面の都合により全部は掲載しきれない〉

一九七四年一〇月八日のことです。

この日私は世界中が平和になるように祈りの想念を送っていました。そして私の多くの友を助けてあげて下さいという思念をしていました。

すると突然五〇センチぐらいのUFOが現れて私の所から四メートルぐらゐの空間に浮かびました。白銀色の物体です。片方の端に突起物のようなものがありました。世界が平和になるようにとの言葉をスロー・ガンにしていふ宗教団体がありますが、それとは何の関係もありません。

## 初めて異星人に会つ

私が初めて異星人に会つたときのことをお話ししよう。ある日新静岡バスセンターという所で、仕事から帰

る途中七時四〇分頃にバスを待つていたんです。

そうしたら、そこに一人の男の人がいました。身長は一八〇センチぐらいで肩幅の広い男性の方です。眼鏡をかけて頭髪はちぢ毛でした。パー・マをかけていたような感じでした。ネクタイは赤系統です。

それは春川正一氏が会つたのと同じ人なのです。名前はレミンダーといふのです。

同じバスに乗つてきたんですが、そ

の人は後部座席に座つていたものですから、私はテレ・パシーで呼びかけたんです。「あなたが上の（宇宙）人なら、私が指定するバス停で降りて下さ

い」ところが、私の思念が通じているのかどうか全然分からず、そのうち私のが家の前にバス停があるものですから、そこで私は降りたんですが、降りる前に後部座席のその人の方を見ましたところ、その人がニッコリ笑つたのですから、その夜は眠れなかつたんです。あとで春川氏にこの件を話しましたら、結局、氏が合つっていたレミンダーという異星人と同じ人であることが分かりました。この方はホーム惑星で学校の先生をしていたということです。

見たところ三三〇四歳ぐらいでした。どこの惑星から来た人かは知りません。この人に会う前に緑色のUFOを目撃したんですが、これを目撃した翌

日は必ずスペース・ピープル（異星人）に会えるんです。このUFOは見かけ上三〇センチぐらいですが、春川氏に聞いたところ、これは水星のUFOだ

ということにして、これを目撲した翌日は必ず彼らがやつて来るんだと言つていました。たしかに緑色のUFOを見た翌日は彼らと接触できました。それから私は彼らに会うことになります。

## テレ・パシーで来る連絡

右に述べた人を最初に見かけたのは一九七六年の六月二八日のことです。場所は静岡市内です。しかし話をしませんでした。以後何度も会うわけですが、直接に話し合うのではなくて、彼らからのテレ・パシーが入つてくるんです。こちらから質問しても解答してくれません。一方的に彼らからテレ・パシーで話しかけてくるだけです。私の頭の中で彼らの声が響いてくるんです。

まず私の体の中にエネルギーみたいなものが入つてきます。すると体が少し震えます。そうするとテレ・パシーによる声がスッと入つてくるんです。当時東京にNという女性がいましたが、この方もコンタクトィーで、異星人に会っています。このことは春川氏から紹介されて知りました。春川氏を多年助けたX君もこのことを知つていています。X君もコンタクトィーです。

（つづいて藤本氏は黒づくめの服装をしてから今度は別な婦人と会わなくなりました。私達の指示を待ちなさい）

藤本氏が来たんです。それは私がまたやけに異星人だと教えてくれました。その間には何回かのコンタクトがあるんですが、到底全部は話しきれません。

五月の四日にその女性からテレ・パシーが入りまして「あなたは合格しました。私達の指示を待ちなさい」というメッセージが来ました。それは私が寝ているときですが、突然また体にエネルギーみたいなものが入つてきて体がしびれてから、その声が聞こえました。声は後頭部から響いてきます。

今まで私が出会ったいろいろなスペース・ピープルの中には何人かの女性がいましたが、一人、やはり全身黒づくめで身長一メートル八〇センチぐらいの大柄な女性がいました。最初に出会ったレミンダー氏と同じようにがつたりとした体格で、顔は日本人とは違う東洋人のような顔でした。

その人は私が行く所へ必ず先に出現していく待ち受けているんです。私が急に方向を変えて別な場所へ行くと、非常に高貴な雰囲気を持つ女性でした。

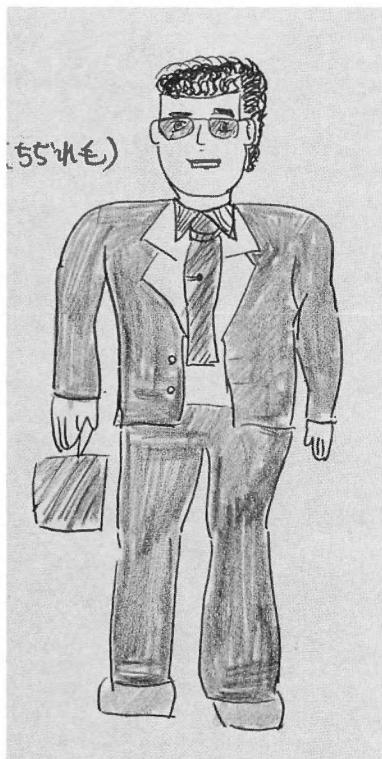
## 公園と書店での出会い

私のコンタクトの体験はまだ沢山あります、この時間内にはとても語りきれませんので、かなりとばして話します。

あるとき静岡市内の公園で彼ら（異

あるとき静岡市内の谷島屋書店の入口の所にその女性が会社員が持つよ大きな茶封筒を持って立つてました。そこで私がテレ・パシーで呼びかけました。

「あなたが宇宙人であることは分かっています。私の意志がもし通じましたら、私の横に来て、ここにある本を右手で取つて下さい。そうすれば私はあなたが異星人であることを心底から確信します」と言つて私は本の書名を指定しました。



▲筆者が78年6月28日に出会った異星人のレミンダー氏。イラストは筆者による。

星人）に会つたことがあります。駿府公園（すんぶ）といふ徳川家康の銅像がある所です。ここで出会つたのですが、その日についてはあらかじめ東京のコンタクトナーのNさんと、先にお話しした女性からの電話で知らされました。指定の時刻にその場所へ行きなさい。ただし彼らに会つても話しかけてはいけません。これはあなたをテストするためですか」というメッセージです。

それでそこへ行きましたら確かに二人ほど来ていました。両方とも男性です。年齢は見たところ三歳から四〇歳ぐらいです。でも私は話しかけませんでした。

あるとき角川から出でていた『UFO同乗記』という文庫本を先程お話ししました谷島屋書店へ買いに行つたんです。そのとき店内に異星人がいるということが直感的に分かつたんですが、

普通なら本の頁をめくりますが、その人はやはり紙袋を持つていました。そして本を読んでいるんです。

相手は私の方を見ようとはしません。だから私は相手の顔をのぞき込めるわけです。

その人の両耳はとんがついていて、頭髪は七三に分けてネクタイをきちんとしめていました。三つぞろいの服を着ており、背はさほど高くありません。目はつり上がりつていました。額の広い人です。その人の名前はベクターといいます。その本を読んでいるのかなと思つてのぞき込んでみたら、あるUFOの本

の人はめくらないで、しかもまばたきせずにジッと本を見ていました。私はそばへ寄つて相手の顔をよく見ましたが、

中へ入つて見ますと確かにいました。

その人はやはり紙袋を持つていました。

レミンダーとかベクターというの

地球でのコードネームで、本名ではないようです。顔は日本人タイプではなくて、本当に宇宙から来た人という感じでした。ただしどこの惑星から来たかは分かりません。

## テレパシーで語り合う異星人

静岡県内に梅ヶ島という温泉があるんです。山の方にあるんですが、ある夜寝ようかなと思つたときにエネルギーが体に入つてテレパシーで男の声が響いてきました。「われわれはいま梅ヶ島の上空にいます。われわれが常に同志とともに語り合ふ場所は指示されていますか」と声をかけたら、その光体が停止して、ものすごく発光して輝いた

まし。

そこで私は「あなた方は、<sup>うえ</sup>の方々ですか」と声をかけたら、その光体が飛ぶのですから、感動して涙が出来ました。私のことを見守つてくれているのだなあと思い、「有難うございます」と何度もお礼を言いました。

その光体が弱まつたときに、別な光体が出現して飛びました。かなりな遠方なのに私の意識が届くのかと思つてびっくりしました。

## 時が来るのを待ちなさい

翌日そこへ行つてみましたが、彼らはいませんでした。今はもう彼らの落ち合う場所は変わつてゐると思います。彼らが二～三人で話し会うときには言葉を口に出して話すのではなく、テレパシーで語り合うということです。とにかく彼らの女性の声や男性の声がよくテレパシーで頭に入つて、いろいろ教えてくれるんですが、翌朝起きても全部思い出せなくて、充分に日本語で書けないんです。

ずっと以前のことですが、宇宙の人達はどこから来ているのか、なぜそうまで私にUFOを目撃させてくれるのか、春川氏に聞いてみたんです。すると春川氏は異星人からのメッセージを私に伝えてくれました。それは次のとおりです。

## 見守つてくれるUFO

去年（八九年）は毎日のようにUFOを目撃しましたが、すぐかつたのは

一昨年の一二月三一日から一月一日にかけてのことです。星が動いてフラフ

ラしながら飛んで来るわけです。私が声をかけて呼びかけたんです。早朝五時から六時頃にかけて光体が飛んで来

ました。

そこで私は「あなた方は、<sup>うえ</sup>の方々ですか」と声をかけたら、その光体が

停止して、ものすごく発光して輝いた

まし。

そこで私は「あなた方は、<sup>うえ</sup>の方々

ですか」と声をかけたら、その光体が

停止して、ものすごく発光して輝いた

まし。

そこで私は「あなた方は、<sup>うえ</sup>の方々

ですか」と声をかけたら、その光体が

停止して、ものすごく発光して輝いた

まし。

「私達はあなたを愛しています。しかし焦つてはいけません。『時』を待つて下さい。

まず初めの心に（初心）返つて、もう一度自分に磨きをかけなさい。時が来れば私達の力なしで充分に活動ができます。手助けならいたしましよう。

もう一度空を見上げて下さい。私達に対する恐怖心は捨てて下さい。心の底から信じて下さい。あなたを待つて下さい」

以上の言葉を何度も読み返しましたが、いつ読んでも素晴らしいなあと感動します。

それで、右のメッセージに対してさらに私の方から質問し返しました。

**「私自身のことについて** 自分を信じて物事を行なつて下さい。誰もみな人間です。あなたも人間なのです。あなたは私達に見守られている人なのです。自分に信念があること、またその力を考えて下さい。

**『時』について** 待ちなさい。それしか言えないのです。

**コンタクトについて** もうコンタクトはとくにプログラムされて行なわれています。安心して下さい。直接コンタクトについてですが、あなたが私達に会つた後どうするかについて、こまかく考えて下さい。

**個性と人格について** 人にはそれぞれのパーソナリティがあります。教え

るということは、自分の考えの中に他人を入れてしまうのではなく、他人を見守ることです」

## 大いなる光に包まれた地球を

以上の他にずいぶん多くの体験をしていますが、ここでは省略します。テレビシーも沢山受信しましたが、今世紀末に地球上に大変動が発生するという人間に恐怖を与えるようなメッセージは全くありませんでした。すべてあたたかい激励ばかりです。

私はこの十数年間毎日空を観測しています。毎夜一時間ぐらいずつですが、ほとんどUFOを目撃できます。ただし声を出して呼びかけますと近所の人達が変に思いますから、なるべく声を出さないようにして思念で呼びかけます。が、実際は声を出して呼びかけるほうが良いですね。

私の場合は毎日寝る前に空を観測しないと眠れないんです。雨の降るときはやりませんが、降らねば必ず家のベランダへ出ます。私が上空に向かって思念する言葉は次のとおりです。

「私は活動したいのです。この地球上が本当に平和になり、人種差別もなくなり、大いなる光に包まれるような惑星になるためには、やはり自分自身がこの世に生まれてきた以上、あなた方とともに活動してゆきたいのです。あなた方に会つて、あなた方から宇宙との地球の真実を教えて頂きたいのです。

あなた方は私にとって師であり、父母であります」

このように念じますと必ずUFOが出現します。この思念の言葉は十数年来毎日となえている言葉です。昨日もこのような言葉を念じて呼びかけました。UFOが出現しました。もう涙が出でどうしようもありませんでした。至近距離で見たのですが、すごい光景でした。

## 私は頑張りたい

以上のような次第でして、去年はものすごく目撃しました。今年はどういうわけか四～五回しか見ておりません。来たる六月九日の日本GAPによるテレビショーケールUFO観測会では必ず宇宙の人達が見守つて下さつて、多くの人達にUFOを目撃させてくれると思いました。

再度繰り返しますが、私がこの地球のために、宇宙のために、そして全人類のために何らかのお役に立てることを願うとともに、世界が平和になり、日本も平和になって、人種差別もなく、争いもなく、殺人もなく、本当に誰もが自由平等に働く世の中になるように、私は心から祈っています。

そして宇宙の人達とともに活動できることになる。

藤本氏の件についてはかなり以前から編者に若干の知識はあったが、事情により容易に会えなかつた。しかし昨秋の日本GAP総会後、氏とひんぱんに文通するようになり、五月に会見が実現した。もつと早くこの記事を公開すれば、ああまで春川氏が否定論者の反感を買わなかつたろうと思うが、こうした問題にはとかく『時機と待機』がつきまとつて、時が来るまでは忍耐強く待たなければならぬ。編者〉

和を目指して宇宙に進出できるように、私は私なりに頑張つてゆきたいと思います。

そして多くの人達に宇宙の愛がぶり返ります。この愛が、今まで私なりに努力するつもりです。

（藤本氏の話としては後日カセットテープ一本にあらためて詳細な体験が録音されて送られてきたが、右の記事は五月に静岡市内で直接聞いた談話を主に編集したものである。

春川正一氏の『私は別の惑星へ行った!』は本誌95号より98号まで四回にわたつて連載したので、同氏の体験についてはすでに公開済である。

藤本氏の証言により、春川氏の体験が事実であったことが判明するが、さらにX氏、女性のNさんら一連のグループが同一のスペースピープルとコンタクトしていた事実も浮き彫りにされることがあります。

藤本氏の件についてはかなり以前から編者に若干の知識はあったが、事情により容易に会えなかつた。しかし昨秋の日本GAP総会後、氏とひんぱんに文通するようになり、五月に会見が実現した。もつと早くこの記事を公開すれば、ああまで春川氏が否定論者の反感を買わなかつたろうと思うが、こうした問題にはとかく『時機と待機』がつきまとつて、時が来るまでは忍耐強く待たなければならぬ。編者〉

# UFO写真展盛況

## ●青森支部UFO写真展

去る四月一四、一五日の二日間にわたり青森市のサンロードで開催されたUFO写真展は予想外の大盛況を呈し、二日間ながら計一四五〇名の入場者があつた。特に一五日は日曜日とあって、この日だけで一〇五〇名と圧倒的多数の参加者でにぎわつた。アンケートによると「この種の写真展をもつと多く開催してほしい。」という声が多くつたといふ。

このアンケート結果は興味深いので紹介すると次のとおり。

- ①UFOを信じますか（はい八五、いいえ三）
- ②UFOを見たことがありますか（はい二三、いいえ六二）
- ③宇宙人はいると思いますか（はい七九、いいえ二）
- ④宇宙人はどこから来ると思いますか（太陽系外二三、太陽系内一八、両方四一）
- ⑤宇宙人をどのようにイメージしていますか（小人型宇宙人三三、地球人型宇宙人二九、ロボット型宇宙人一〇、その他一四）
- ⑥宇宙人の飛来の目的は何だと思いますか（地球観測五四、地球観光五、地球救済二〇、地球略奪一六）
- ⑦宇宙人はテレビシリーズで会話しているようですが、地球上の人もできると思いますか（はい六六、いいえ一九）以上。

感想としては次のとおり。

「凄く楽しくそして分かり易く興味を引くものでした。大変有難うございました」「大変感動いたしました。どうも

有難うございます」「アダムスキーモード盤は雑誌などでは見たことはあります  
が写真は初めてなので良かつた」「未知の世界に触れて感動」「信頼できる写真ばかりだと新しい鮮な感動を覚えます。  
未公開のものもあり、見て得をした感じです。有難うございます」「もつと沢山やつてほしい」以上は一四日のアンケート結果で賛同派が圧倒的多数。一五日は次のとおり。

最終日に間に合いましたが、展示などについて多くの人に見てもらうようPRして欲しい。素晴らしい」と「金星人だと確信できるものがない」「貴重な資料を大変有難うございます」「勇気のいることです。よく催しました。これからもどんどんやって下さい」という感想が述べている。

以上の他に地球以外に生物はないとか、ウソ臭いという否定的な感想も若干ある。しかしながら賛同派が圧倒的に多いと青森支部代表・田村嘉彦氏が述べている。

## ●栃木支部UFO写真展

五月三、四、五日の三日間、宇都宮市の栃木会館の一階と二階のギャラリーで開催された。入場者は計一一四〇人あり、内容もアダムスキーリーほか、栃木支部所有のUFO写真パネル三十数点を加え、オリジナルUFOスライド上映コーナー、恒例のテ

レパシーコーナー、書籍コーナー等を設けて魅了した。

「これは完璧なUFO情報の提供とはいえないにしても、この写真展を見学し、テレパシーコーナーで体験した子供達が、将来宇宙的に開眼し、地球の未来を担うかもしれない。そうした可

能性を生み出すのが、こうしたUFO写真展であると思う。今後も外的に良き影響を与える方策を真剣に検討し、何らかの形でまたUFO写真展を開催したい」と栃木支部代表・渡辺克明氏は報告している。来たる八月には新潟支部がUFO写真展を開催する。



▲写真左側三点は青森、右側三点が栃木UFO写真展会場

**How To Produce Miracles through Practice of  
G. Adamski's Cosmic Philosophy**  
by Hachiro Kubota

# 宇宙哲学で奇跡を起こして 安全に生きる方法

◀写真は南九州支部大会で講演中の筆者 撮影／鶴田寛明

久保田八郎 〈日本GAP会長〉



この記事は本年度南九州支部大会、仙台・山形合同支部大会、長野支部大会の各地支部大会で行なった講演をまとめたもの。宇宙の万物を生かす中核は「宇宙の意識」であるというアダムスキーノの宇宙哲学にもとづいて、万物と万人は、「絶対善」なる存在であるといふ高次元な想念波動を放つことにより悪なるものを排除して奇跡を発生させる方法を具体的に解説した。単なる能力開発の段階にとどまらず、人間に宇宙的なフィーリングと視野を与える深遠な原理である。

## 不思議人生をすごす

ご承知のように私は多年ジョージ・アダムスキーノ問題を中心にしていわゆるUFOと宇宙哲学の研究啓蒙活動をつづけてまいりました。最初にアダムスキーノに手紙を出したのが昭和二九年でしたから、以来三六年になるわけです。その後昭和三六年にアダムスキーノの要請によりまして、日本GAPなるものを設立しました。機関誌を「日本GAPニュースレター」と題して創刊号を手書きのガリ版で手刷りで約二〇部印刷し、これを一五〇六人の方に無料で配布したのが最初です。

それ以来、今日まで約三〇年、ひたすらGAP活動をつづけてまいりましたが、その間、実際にさまざまな事が身辺に発生しまして、人間の一代とい

ものの複雑さを痛感している次第です。そして私自身にも不思議な事が沢山起っています。大体に私は子供の頃から何かしら解決のつかない不思議な事や奇妙が事がいろいろありました。といつて心靈的な事ではないのです。現実の実際的な事柄です。

一例をあげますと、小学校の三年か四年頃だったと思います。ある夜、その頃住んでいた島根県の郷里の自宅裏庭に出て、東方約一キロの所にある高さ一〇〇メートルの住吉という山を見ました。すると、暗黒の山の中腹に突然、まるで大きな光がパッと照射されたのです。それは直径五〇メートルほどの巨大な光の円であって、そのためには腹が一瞬眩のように明るく浮かび上がったのです。その光は一瞬照射されただけで、あとは元の暗黒に返りました。

その後、この光の正体がどうしても理解できず、そのままになつていましが、強烈な印象は今も残っています。どうやらこれは空中の円盤から照射されたサチライトではないかといふ気がするのですが、物証がないために断言はできません。とにかく、これが私の身辺に発生してきた不思議な現象の始まりです。

## 物凄いアダムスキーノ哲学

さて、本日のお話は宇宙哲学で奇跡を発生させる方法となつていて、その線にそつてお話し致しましよう。いわゆるアダムスキーノ哲学なるものは、彼の著書『宇宙哲学』『テレパシー開発法』『生命の科学』の三部作を総称したものです。これは從来、アダムスキーノ全集の中に加えられておりましたが、この四月より中央アート出版社というところから新アダムスキーノ全集として改訂版が始めています。それで『テレパシー開発法』は題名を変えまして、今度は『超能力開発法』という題で全集の第二巻として五月中旬に出ています。そしてそのあとは『生命の科学』の改訂版が第三巻として六

月に出るのですが、そのため二月はあらためてこの二点の原書を読み直し、古い訳本の文章の改訂作業を行なつたのです。

そのときに痛感しましたのは、こんな物凄い書物が世の中のどこにあるだろうかということでした。まさにこれらは天空の彼方から響いてくる神の声ともいうべきもので、感動を通り越して茫然たる状態でした。昔、中江兆民はルソーの民約論を泣きながら読んだということですが、到底そんなところではありません。

ということは、私は翻訳者として内容を熟知しているつもりでしたが、実際は私の魂でもつて理解していかつたということになるかもしれません。私があらためて気づいたのは、これらの書をとおしてアダムスキーガ力説している「人体を生かしている宇宙の意識なるものとマインド（心）との一体化」ということを単なる観念論としてでなしに、できるだけシャープにとらえて、腹の底から実感しなければだめだということなのです。

これは外国語の勉強にもあてはまります。英語の勉強をして語学力を身につけようとすれば、なんといっても、単語や例文を覚えること、つまり暗記することが先決です。特に英会話の習得になりますと、会話文をかたづけながら暗記することが必要です。要するに外国語の習得というのは暗記以外の

何物でもないのです。

しかしウロ覚えではダメです。日本語同様に全身の六〇兆の細胞全部に英語の例文を染み込ませるほどに記憶するには、徹底的に反復して喋る練習をする必要があります。だから記憶という手順は重要なのです。英会話に限らず、学問の分野では何にせよ、記憶している人が勝つのです。

外国语は「習うより慣れることがだ」とよく言われますが、慣れるという行為も要するに反復して自然に記憶する事を意味します。何事にせよ記憶しなければ痴呆症になるだけで、何も出来なくなってしまいます。

そこで宇宙哲学に返りますと、アダムスキーゲの書物をただ一度や二度読んで理解したというだけでは到底ものになりません。何十本も読んで読んで読みまくり、文章をほとんど記憶するほどの状態になることが第一です。

次に万物一体感が腹の底からわきおこるまでジッと黙想し、感覚をシャープに研ぎ澄まして、自分が万物か万物が自分か、という心境になるまで、フィーリングを限りなく高めていきます。

以上のことを真剣になつて行なう必要があるのです。

化が生じてきます。それは、いわゆる

知識を用いる推理力を超えた「何か」の作用なのであって、アダムスキーゲの語の例文を染み込ませるほどに記憶するには、徹底的に反復して喋る練習をする必要があります。だから記憶という手順は重要なのです。英会話に限らず、学問の分野では何にせよ、記憶している人が勝つのです。

ですから基本段階として、まず何と言つても「万物一体感」を徹底的に起こそよう開発訓練を行なう必要があります。どうもこの「万物一体感」なるものが凄く重要なことらしく、この

段階であるようです。

それはそうです。アダムスキーゲによれば、人体のみならず、生物、無生物のいかんにかかわらず、万物は宇宙の英知である共通の「宇宙の意識」によって創造されているということですか

ら、結局、万物は共通の基盤である「創造英知」によって生かされていると言えます。

『生命の科学』には、人間がこのよう

な一体感をもつて花に呼びかければ、花も応答すると説いています。こんな

ことはラルフ・エマーソン流の詩的な幻想だと思う人が多いかもしれません

が、実際にアダムスキーゲは存命中、カリオルニア州ビスターの自宅裏の庭園で、コスモスの花群に呼びかけたら、

花達がいつせいにアダムスキーゲの方へ

傾いて挨拶をし返したのを、高弟であつたアリス・ポマロイ女史が数度目撃したと、数年前にアメリカで私に話されました。

ですから『生命の科学』はアダムスキーゲが自分の体験をもとに書いて書いたものであることが分かります。单なる観念論ではないわけです。

日本GAP東京本部役員の遠藤昭則君もこれに似たような体験、つまり花が応答するのを見たことがあると言つていました。

日本GAP東京本部役員の遠藤昭則君もこれに似たような体験、つまり花が応答するのを見たことがあると言つっていました。

ところが私にもそのような体験が発生したのです。それは去る三月二〇日、都内新宿の秋山真人氏の事務所を訪れて約四〇分間話したあと、徒歩で新宿駅まで出て、東口構内のアルプス広場へ入りました。非常に気分が高揚していましたので、何を見ても楽しくして

いたので、何を見ても楽しくしてしまいましたので、何を見ても楽しくして

いたので、何を見ても楽しくしてしまったのです。それは去る三月二〇日、都内新宿の秋山真人氏の事務所を訪れて約四〇分間話したあと、徒歩で新宿駅まで出て、東口構内のアルプス広場へ入りました。非常に気分が高揚していましたので、何を見ても楽しくして

サガサツと揺れるではありませんか。アレッ?と思ひ、これは電車が通過するときの地響きではないかと思つたのですが、その場所は電車の通る場所からかなり離れた所です。人が歩く足の響きでもありません。床には固い石の板ががつちりと敷いてありますから、人間の歩行などにはピクともしないところです。風が吹くような場所でもありません。

そうすると、やはり私のテレパシーに薔薇の花が応答してくれたのでしょうか。この因果関係を物理的に証明することが出来ないために、断言は出来ませんが、私としてはテレパシーによる花の応答であつたと思いたいところです。

### 机上の空論ではダメ

アダムスキーの哲学書が単なる観念論や空論でないことは、この他の各種の実例でも分かるのですが、とにかく、人間と万物との不可分の関係と、超能力的な分野に至る「宇宙的」とも言える理論を述べています。

そこで、この哲学を応用して奇跡的な現象を発生させる方法をこれからお話しすることにしましょう。

奇跡を発生させるといいましても、いわゆるスプーン曲げその他の超能力を開発することと、そして望ましい物事を実現させることなど、各種の分野

があります。私がここでお伝えするの人生を輝かしいものにするための方法です。

もちろんスプーン曲げも人間に潜在する超越的な可能性を示唆し証明するものとして重要ですが、私がここでお話しするのは、そうした意味での超能力ではなくて、だれもが比較的容易に応用できる奇跡を発生させる方法です。

まず第一に、私が昔から唱導している「ミラクルワード」を反復して唱える方法と、二番目にイメージを描く方法です。これについてはすでに皆さん方もよくご存じのことと思いますが、この問題はただの遊び的なものではなくて、自分の運命を根本的に変えてしまふほどの重要な要素を帯びていますから、やつてみようと思う方は真剣に考えて、そしてきちんとした計画を立てて、誠実な態度で実行する必要があります。何をやるにしても、いい加減な態度では機能しません。

### (1)ミラクルワード法

ミラクルワードというのは「奇跡を起こす言葉」という意味です。言葉と

いうものは古来「言霊」といわれるほどに人間の運命にかかるほどの響きを持つもので、一種の波動を放つものらしく、良い言葉を使用しつづければ

良き物事を引き寄せますし、悪い言葉ばかりを出しておれば、悪い物事を引き寄せます。この原理を応用して自分の望ましい物事を実現させるのです。たとえば、生活上自動車がどうして必要になつたのに、いまそれを買うお金がない。しかし自動車がなければ仕事にならない、という切迫した状態になつたとします。この場合、大抵の人はミラクルワードの原理を知らないために、「一〇〇万や一五〇万の金が手に入るわけがない。人間の望みは、なによりにしかならないのだ」と思つて、最初から諦めてしまします。これでは一〇〇年待つていてもお金はやつてきません。

お金を手に入れようと思えば、まず強烈な信念を具体化させるために言葉を唱えつづけるのです。どのような言葉を唱えればよいかといいますと、それは最初から肯定的なプラスの言葉でないとダメなのです。「自動車が欲しいなあ」という言葉では單なる願望をあらわしているだけですから、これでは自動車がやつてしまません。「欲しいなあ」ではなくて、「もう自分の手に入っているのだ」という思い込みが重要なのです。思い込むことは実現するのです。「欲しいなあ」では思い込んでいません。

このイメージ法の応用は、終日のべつまくなしに行なうよりも、朝、昼、夜三回、各一五分づつ行なうほうが有効とされています。

以上の二種類の方法を応用して人間の内部に潜在する偉大な能力を開発する方法は、実は各種の能力開発機関で行なわれているのでして、私の専売特許ではありません。私の場合はアダムスキーの『生命の科学』に述べてある

類した言葉を適当に作り出して唱えてもかまいませんが、とにかくこうした肯定的な言葉を間断なく唱えつづけるのです。そうすれば、ある日、全く思ひがけない手段で自動車を買うお金が与えられることになるのです。

### (2)ミラクルイメージ法

次に、ミラクルイメージを描く方法も効果です。これはミラクルワードを唱えつづけるとともに、すでに自動車が手に入つて、それを喜び勇んで自分で運転してドライブしている光景を心中にイメージとして鮮明に描きつづけられます。私の体験ではミラクルワードよりもイメージ法がもつと効果的であるように思います。地球人はこうしてイメージを描く能力が非常に弱いといふことであるらしく、一瞬イメージを描いても、すぐに消えてしまうので、実現させることが出来ないのだと聞いています。

このイメージ法の応用は、終日のべつまくなしに行なうよりも、朝、昼、夜三回、各一五分づつ行なうほうが有効とされています。

イメージ法を発展させて応用しているにすぎません。

## イメージどおりに実現した奇跡

こうした信念の力を応用する方法は世界各国でかなり研究されるようになり、日本でも指導機関が沢山あります。

しかしアダムスキーは一九六四年に出した『生命の科学』すでにイメージ法のこと述べているのだから、一大先駆者だったといえるでしょう。

私は昔から以上の二種類の方法を応用して奇跡的に願望を実現させた体験が沢山あります。一例をあげれば、私は昔、島根県の田舎に住んでいた頃、「いざれ東京へ出て行つて出版社をやり、UFOの専門誌を出すのだ」という計画を立て、すでにそれが実現して事務所の一角の社長用机に私が座り、社員を督励して楽しそうに仕事をやっている光景をイメージとして描きつづけていました。

それは結局奇跡的に実現し、全くイメージどおりに都内の仕事場にいる私を発見することになったのですが、その現実の場面は私が田舎で心中に描いていた光景と気味わるいほどにそつくりでしたね。こうして私は日本最初のUFO専門誌を出すことになり、一応の目的を達成したのです。

一方、この出版事業に専念するかたわら日本GAPの仕事も別に行なつて

おりました。GAPの機関誌はその頃『ニューズレター』と題していました

が、これも個人的に出しつづけていました。東京月例会のごときは昭和四

年秋以来、現在まで毎月都内でつづけていますから、今年の四月でもつづけて四八〇回続行したことになります。

そういうわけで、私自身は超多忙の日々を過ごしてきたのですけれども、六歳の現在まで人がびっくりするほど体力が保てたのも、やはりミラクルワードの力が作用したと思っています。私の場合は「私は健康、無限に健康、絶対健康!」というミラクルワードをよく唱えます。

## 宇宙の創造英知を認めることが先決

現在は信念の力を説いた本が氾濫しています。また第二次UFOブームの到来とともに、UFO関係や超能力関係の図書も書店に山積みされています。

そのこと 자체は社会の進歩を物語るものだと思いますが、どれを見ても重要な部分が欠落しているようと思われます。それは『宇宙のパワー』または『創造英知』というべきものに言及したことです。

むしろ逆にそのような事象を否定するような記述があつたりして、人間の能力のみを絶対的な「力」とみなす傾向を多くの書物が示しています。たし

かに『大宇宙の創造主の英知』というようなものを信じなくてもスプレーを曲げることはできるのですから、超能力の開発に大宇宙のことなどは関係ないと思ってしまうのでしょうか。それならただの潜在能力の開発にとどまるだけで、自動車の運転能力の開発と同じレベルになってしまいます。

宇宙的なカルマを形成するための人間の生き方としては、単なる能力の開発の段階にとどまつては具合が悪いのです。もっと大宇宙の方向に目をカッと開き、無数の銀河系、恒星、惑星群に思いを馳せて、創造の驚異を感じ取つて、そして大宇宙に存在すると思われる英知とパワーを全身で感じ取つて、それに対する限りない畏敬の念を起こすことが先決です。

というわけは、アダムスキーも述べていますように、万物は偶然の産物ではなく、個々に目的を持って存在しているからです。今ここで生命論や物質論などを展開している余裕はありません。深遠きわまりない構造や存在物をみても、何か或る一つの英知が支配しているということを感じないわけにはゆきません。その絶対的なものを地

球の力、もつと言ひ替えれば想念の力です。ただし人間が或る絶対的なものを基盤として、それと一体化して想念を発するならばです。

その絶対的なものとは何か? それがアダムスキーが言うところの『宇宙の意識』です。

この『宇宙の意識』なるものは、宇宙全体に遍満すると考えられる創造パワーまたは英知を総称したもので、い

が、私達は幸いアダムスキーの著書によつて先取りしたのですから、それを生かさないという手はありませんね。

## 宇宙の意識は「絶対善」

そこで先程のミラクルワードとイメージ法の問題に返りますと、人間には無限の潜在能力が秘められているとよく言われています。そして各種の能力開発法が各地で唱えられています。しかしこの開発法を実践しても成功しない人や挫折する人が多いのも事実です。なぜか? それは自分の内部に確固たる絶対的なものを持たないからです。せつかく開発法について手ほどきをうけながらも、一個人としての肉体人間としての力はたかが知れていると思い込んでいる人がほとんどです。そんなことはないのです! 人間の持つ力は偉大なものであつて、それは無限です。ただし体力ではなく、信念の力、もつと言ひ替えれば想念の力です。ただし人間が或る絶対的なものを基盤として、それと一体化して想念を

わば『神』というのと同意語ですが、『神』と言えば宗教的に響くためにアダムスキーリーはこの語を作ったと思われます。英語では Cosmic Consciousness といっています。したがって、これはこの頃よく言われる「宇宙意識」とは別物です。「人間が宇宙意識を持つようになった」と言う場合は、人間の側の意識を意味しますが、アダムスキーリーは宇宙全体を意識する「宇宙の意識」は宇宙全体を意識して、万物を生かしている創造パワーマネジメント英知を意味するのです。

「の」の字があるのとないのとは意味が完全に変わってしまいます。宇宙の意識は「神」というよりももつと適切な響きを帶びています。

この「宇宙の意識」というのは善悪を超えたもので、しかも万物を生成させる原動力ですから、「絶対善」とも言うべきものです。

これが万物を存在せしめているからには、「万人と万物は『絶対善』です。悪というものは存在しません。

ここで重要な問題を持ち出しますと、地球人の最大の欠陥は『善悪』の二元論を持つことにあるのです。万物を善と惡に分けて見ると、これは地球人最大の欠陥であって、このために地球の文明は精神的に容易に発展しないのですが、数千年もたてば地球の万人が善のみしか考えないようになるでしょう。こうしたプラスの想念を持ちづけることでも一つのミラクルワードです。

## 「絶対善」は悪を引きよせない

そこで少なくとも自分個人にとって素晴らしいカルマの形成が行なわれる晴らしさがあります。という基盤が生じることになります。というのは、万物や万人を見るのに「絶対善」しか見えない、悪を認めないとということになれば、波動が合わないために悪が自分の方へ寄つてこないことになるからです。そして善なるもののみが引き寄せられるのです。したがって本人には素晴らしい幸せな生活環境が展開してきます。ミラクルワードやイメージ法を応用する際に、この「絶対善」のフィーリングを基盤とするならば、鬼に金棒ですね。実践の失敗や挫折はありません。

以上を三段論法的にまとめると、  
①宇宙の意識は万物と万人を生かす。  
②宇宙の意識は絶対善である。  
③したがつて万物と万人は絶対善である。

ということになります。この「絶対善」なるものは、ただ頭の先つらだけで考える観念論ではダメで、全身のフィーリングでもつて「感じる」のです。そのためには万物一体感を起こすことが最良です。

そこで疑問が起るかもしれません。実際に世の中には人を殺したり、悪事を重ねて他人に迷惑をかける者がいるのではないか、これらも善人なのかと。

そうです。善人なのです！ ただしそれはゾロアスターが言うように「熟れない善人」です。絶対に悪人ではありません。私は孟子の性善説の受け売りをしていましたが、私の場合は、今年になってからアダムスキーリー全集の改訂版を出すことになって、あらためてその原書類と訳文とを対照させながら何度も読み進めて行くうちに、地球人が

が根本的に間違っているのだということに気づいて、それから絶対善の次元を認識することの重要さに到達したということがあります。

それからは目からウロコの落ちる思いがして、他人のいわゆる悪事が全く気にならなくなりましたね。

そこでまた疑問が生じるかもしれません。「でも実際に悪事を働いて他人に迷惑をかける者を黙認し放置すれば、世の中はメチャクチャになるではないか」と。

そうです。そのとおりです。

そこで、また一つの法則が出できました。悪事を働いた人を警察に通報する際に、絶対に怒りの想念を起こさないで、むしろ「これによつて本人が反省し、良き運命が開けますように」という福音の想念を起こしながら事を行なうということです。これが眞の愛です。

## ブームラン現象——カルマの法則

大体に人間が発する想念のうち、怒りや恨みの想念は相手のみならず自分自身に対してもひどい結果をもたらします。これについてはジョセフ・マーフィーの『あなたにも超能力がある』と題する本(産業能率大学出版部刊)

二惑星からの地球訪問者』に述べてあります。偉大な進化をとげたスペースピープルも、悪事を働く者達を、なすりもなく放置していたわけではないことがこれまで分かります。

そこで、わが地球でも、悪事を行なう人達を黙認するのが愛ではありませんから、そこは適当な処置をとつて本人に反省の機会をあたえるように仕向けるのが愛ということになります。

具体的にはどうすればよいのか。

それは警察機構というものがありまして、そこへ通報して、かかるべき処置をとつて頂き、裁判という手順によって刑務所という別な惑星へ収容して反省させるということにすればよいのです。

に次のような好例があげてあります。

「一婦人がかねて出入りしていた教会へ行かなくなつたところ、それを恨んだ教会のメンバー達がその婦人に呪いの念を送るようになり、そのためにはひどく苦しんだ。そこでマーフィーに相談した結果、明るいプラスの想念を持つことができるようになり、呪つている人達を逆に笑いとばせるようになつた。すると、教会のメンバー達のうち、五人がひどい病気にかかり、そのうちの一人は死んでしまつた」これをマーフィー博士は『ブーメラン現象』と呼んでいます。ブーメランというのはオーストラリアの原住民が昔使っていた狩猟用の器具で、木を組み合わせてし字型に作り、これを回転させながら飛ばします。もし獲物に当たれば、物理的な作用で弧を描いて自分の方へ帰ってきます。だから教会のメンバー達は自分達が放った恨みの想念がブーメランのように自分達に帰ってきたことによって、逆にひどい目にあつたというわけです。

これは一種のカルマの法則です。善を行なえば善が返り、悪を行なえば悪が返ります。こうした動・反動の作用は物理的なものと考えられます。が、科学ではまだ解明できない段階です。

しかし、こうした実例が頻繁に発生する現象からみて、帰納的に一つの法則を発見することは可能ですが。それを応用すればよいのです。

### 誠実な実践が成功のカギ

アダムスキーウFOに関する記事は、つまるところ人間の精神世界に関する重要な問題を提供しています。このことに気づいて誠実に真剣に考えながら、自己の良きカルマの形成に何らかの自律訓練を実行するならば、それなりの素晴らしい結果が得られる保証します。

ただし、以前にも申しましたように、書物に書いてあることを単に理解したことよりも、むしろ誠実に実行することが大切ですね。

言い換えれば、「まあ、とにかくやってみるか」という程度の曖昧な態度ではなく、シャープな感じ方でもって具体的な計画を立て、文句なしにそれを実行するのです。これは外国語の勉強と全く同じです。ときたま思い出しましたように英語の参考書をちょっと読んでみたり、テープをちよつと聴いたりしても何もならないことは誰しもよく知っていることです。これと同じですね。

### 毎日一定時間の実修が必要

アダムスキーウ哲学を学んで実践するといつても、彼の三部作には日常に行なうべき自律訓練法がさほど具体的に述べてありませんから、つい單なる読

書に終わりがちですが、これはやはり自分で一定の訓練法を考案して実践するほうがよいのです。そうしないとビートニクの詩人ではないが「気がついたら、いつのまにか俗世の感情の世界にいる自分を発見した」というようなことになります。

そこで、どうするかといいますと、朝、昼、夜の三回に分けて一五分ずつミラクルワード法やイメージ法を行なうとか、あるいは大宇宙の万物と自分が一体であるというフィーリングを起こす宇宙瞑想をするとかの自律訓練を行なうのです。人間の発達度や精神レベルは千差万別ですから、訓練法として万人共通の一定の規律はないわけですが、そこはア氏の著書を読んで自分に適した方法を自分で考案して実践すればよいのです。これを毎日行なうと素晴らしい効果がでてくるでしょう。

要するに、自分自身を客観視し、大宇宙を海にたとえて、その中に溶けこんだ水滴としての自分を見るのです。こうした特殊な観法は必要なのであって、一般人と同じようなレベルでのメントリティー(ものの考え方)、すなわち、金、物欲、名譽欲、人間の住むの世界を一步も出ないような想念で明け暮れしている限り、宇宙的カルマの形成はありませんし、スペースビープルから認められることもないでし

しかし現実の世界は非常に複雑で、ともすれば俗想念の巨大な海に押し流されますから、よほど強固な信念と決意が必要です。自然のままに、つまりいる自分がままに生きればよいという安藤昌益の自然真善道的な考え方もありますが、これは難しい問題です。私としてはやはり「自分のための戒律」が必要です。

超能力開発練習法としては新アダムスキーウ全集第二巻『超能力開発法』には具体的な方法が述べてありますから、それを実行するとよいでしょう。万物との一体化のフィーリングを起こす練習法として樹木を見つめたり、広い水面を見たりする練習法、その他の方法が挙げてあります。

あるいは鉢植えの草花を自室に常時置いて、それに向かってテレパシーで呼びかける練習をしてもよく、または犬や猫などのペットに無言で呼びかけれるのも一方法です。私は昔、猫を相手にテレパシーの練習をしたものですが、

しかし現実の世界は非常に複雑で、ともすれば俗想念の巨大な海に押し流されますから、よほど強固な信念と決意が必要です。自然のままに、つまりいる自分がままに生きればよいという安藤昌益の自然真善道的な考え方もありますが、これは難しい問題です。私としてはやはり「自分のための戒律」が必要です。

超能力開発練習法としては新アダムスキーウ全集第二巻『超能力開発法』には具体的な方法が述べてありますから、それを実行するとよいでしょう。万物との一体化のフィーリングを起こす練習法として樹木を見つめたり、広い水面を見たりする練習法、その他の方法が挙げてあります。

あるいは鉢植えの草花を自室に常時置いて、それに向かってテレパシーで呼びかける練習をしてもよく、または犬や猫などのペットに無言で呼びかけれるのも一方法です。私は昔、猫を相手にテレパシーの練習をしたものですが、

E S P カードは単独練習の場合、透視の練習に適しています。または『生命の科学』に述べてあるように自分の手を見つめる練習で素晴らしい透視能力を開発した人もいます。各自で自分に適した方法を選んで忍耐強くつづけてみて下さい。ご成功のほどを。

The Truth of the Death of Takamori Saigo  
by Akinori Endo

# 西郷隆盛の最期を透視

●遠藤昭則

**謎とされる大西郷の最後の様子を現地で綿密に調査し、超能力者・遠藤昭則が透視した興味深いレポート。**

（久保田）昨秋、日本GAP南九州支部代表の鶴田清則君から第一回支部大会を鹿児島で開催するので講演に来てくれという要請を受けた私は即座に快諾し、今年の大河ドラマ「翔ぶが如く」のブームの煽りもあって急に西郷研究を思ひ立った。鹿児島ではその関係の遺跡見学を行なうというので、予備知識として西郷南洲と西南戦争に関するインフォメーションを可能な限り頭に詰め込もうと考えたのである。

といつても超多忙な身で、とともに書物など読んでいる暇はないのだが、

次に西郷と西南戦争、幕末と維新関係の史書約二〇冊をかたづけながら読みまくつた。鹿児島市史も入手したかったが、明治初期の頃の歴史が出ている巻は絶版だという。田原坂の激戦に関しては熊本県植木町史その他を取り寄せて研究した。こうして今年三月頃まではとりつかれたように南洲翁のイメージを追跡して過ごした。

別な惑星から転生してきた？



▲西郷隆盛

なんとかして超人的な読書力を発揮しようと、ひたすらに信念の力を応用し、まず司馬遼太郎氏の大河小説「翔ぶが如く」全一〇巻三〇〇〇頁を読破した。昼は多忙で読む余裕がないため、夜、ベッドに入つてから眠り込むまでの時間を利用して、一ヶ月上旬から始めて約一ヵ月で読んだ。

次に西郷と西南戦争、幕末と維新関係の史書約二〇冊をかたづけながら読みまくつた。鹿児島市史も入手したかったが、明治初期の頃の歴史が出ている巻は絶版だという。田原坂の激戦に關しては熊本県植木町史その他を取り寄せて研究した。こうして今年三月頃まではとりつかれたように南洲翁のイメージを追跡して過ごした。

## 西郷隆盛の最期の謎

西郷研究に没頭した結果、不可解な謎が三つ出ってきた。(1)西郷のいわゆる征韓論なるものの真意は何か。(2)田原坂の激戦で七本柿木台場がわずか一個分隊の官軍により占領された理由。(3)西郷隆盛が最期をとげた城山岩崎谷の自決の状況である。右の内(1)と(2)は各種の文献で大体に判明したが、(3)については諸説粉々、真相が分からぬ。ひどい内容の書物が多いのだ。たとえば西郷隆盛は戦争中、悠久と碁を打っていたとか、もっとひどいのになる。

その結果、ある一つの強烈な印象が内部から湧き起こるようになってきた。

この超偉大な人物は別な惑星から転生してきた人ではないかというテレビ番

ツクな印象である。この想念は日増しに高まって、確信めいたものに昇華したものである。

一月のある日、遠藤君になにげなくこのことを話したら同君も肯定した。そして「西郷隆盛には火星の色が見えます」と言う。つまり火星から転生してきたというわけだ。得たりとばかり「大久保利道はどうかな？」と聞くと「あの人も水星がかかつた火星の色ですか」と言う。島津斉彬公は？ 「この方は金星の色です」

期せずしてこの英傑三人は幕末の大動乱に揺れる日本を救うために別な惑星から転生してきたのであろうか。物的証拠がないために断言は控えるが、素晴らしい透視能力を持つ遠藤君の言を私は信じたい。私のフィーリングも大体に合致していた。

今年の西郷ブームで南洲関係の本が雨後の筈のように出たが、それらは大体司馬氏の『翔ぶが如く』をネタ本にしているようだ。これは小説とはいえ、膨大な資料を駆使し、史実に即して書かれた内容であることに間違いないだろう。だいいち大河小説としてこれほどに読ませる作品は希有である。

この内容によると、西郷の自決は明治一〇年九月二四日早朝、官軍の総攻撃が開始された後、洞窟を出てから行なわれた。岩崎谷の狭い道路を約四〇名の護衛に守られた西郷の一団がその坂を飛ぶように駆け降りてくるのを見たのは、尾根の中腹まで降りた官軍の中尉浅田信興である。彼は仰天した。

一ちようの山駕籠が守られていたが、これを西郷のものとみた（以上は芸春秋社版文庫本『翔ぶが如く』第一〇巻二四九頁）。つづいて次の記述がある。

「西郷は中央あたりにいた。その後方を、山駕籠に乗った別府晋助がつづいていたとか、もっとひどいのになる。

岩崎谷の洞窟中で軍服を着た南洲が碁を打つイラストを添えた本などもある。城山陥落の前、四名の同志と密謀して脱出した隊長の一人、野村忍助の口述記録によると、戦争中に西郷が碁を打つ姿を見たことはないという。野村は無謀な戦争を起した桐野利秋を批判し、死ぬことを拒否して官軍の捕虜になり、戦争の実態を伝えた貴重な証人である。

ている。(中略)以下の西郷に対する言葉は、別府がいつたとも言い、辺見(十郎太)がいつたともいう。

『モウ ユ・ハゴワスメカ(もうよくはござりますまいか)』

ところが前を駆けている西郷が、大きな頭を左右に振つて、

『マダ・マダ』といった。

西郷らが林を抜けたとき、はたして飛弾の密度が圧倒的に濃くなり、西郷の大きな体に二個の小銃弾が食いこんでしまつた。西郷は突んのめるようにして倒れたが、すぐ体をおこし、後ろの別府晋介をかえりみて、

『晋ドン、モウココデヨカ』といつた。

『御免なつて賜も』というや、別府の刀が白く一閃して西郷の首が地上に落ちた。(同二五〇~二五一頁)

別府晋介が西郷の介錯をしたとき

は、路上に正座していたらしい(同書二五三頁)

この辺の状況は多くの西郷関係の記述の元になつてゐるようだ。

### 現地を調査する

私は遠藤君が鹿児島市の南九州支部大会に出席のため日航機で飛んだのは四月二八日の午後である。鹿児島空港着が四時近い頃で、出迎えに来た同支部の副代表・曾我部勇人君の運転する車で市内に向かう。時間があるので城

山の岩崎谷の洞窟に寄ろうということになり、行つてみた。

意外に小さな洞穴が二つ並んでいる。

達が隠れた洞窟が他にもあちこちあるらしい。案内掲示板によると、西郷は玉碎する前の五日間ここにこもつてい

たという。ここから岩崎谷の坂道を徒歩で下つてみた。付近は坂に沿つて近代的な民家が立ち並び、往時のおもかげはない。

夕暮れが迫つたため、いつたん引き揚げたが、もつと調査したいという欲求にかられた私は、翌日の大会の日の午前中、またも親切な曾我部君の車で遠藤君とともに再度岩崎谷を訪れた。

今度は別な資料を頼りにして綿密に調べながら歩く。雄大な作品に活写され

て、みな背も高くなく、剣の流派はな

にか自己流のようなものが混ざつてい

る人が多く感じられる。

### 岩崎谷を透視しながら歩く

ここから私達が岩崎谷を降りてきてまず感じたことは、左側の崖に沢山の西郷軍が一時的に住んでいたといふこと

▲西郷が死ぬ前の五日間をすごした洞窟

撮影/久保田八郎

西郷が死ぬ前の五日間をすごした洞窟

この洞窟は一つあるが、両方とも何らの映像も私の心のスクリーンに現れてこ

なかつた。これは多くの人が戦争後にこの洞窟を何かの目的で使用したのだろうか。そのためにはつきりとした印

象がこなかつたのかかもしれない。

しかし洞窟の前約五メートルまでの所には数十名の人々が集まっているのが見えるので、やはりここに西郷軍がいたのだろうと思う。

ただし荒々しい人というのは少なく

て、みな背も高くなく、剣の流派はな

にか自己流のようなものが混ざつてい

る人が多く感じられる。

最初の日にここまで来たとき、どう

も西郷隆盛がここで銃に撃たれたとい

う印象が湧き起こらなかつた。彼の味

方の多くの人が撃たれているのは感じ

るのだが、彼の印象が起つてこない

のである。

ひょととしたら撃たれた場所を通り過ぎてしまつたのかと思い、道路を逆

戻りしたが、その感じはない。

二日目、前に下つた辺りに来ると、坂道のもつと下の方に気になつてきた

(写真1、矢印2)。そこでさらに下り、前方を見ると遠くに青い標識板が見え

る。私は視力が二・〇なので遠方の物もよく見えるのだが(ちなみに、遠隔

透視ができる人は目が悪いとよく言われるが、私はそんなことを全く信じていない。健康な目を持つ人こそ健康な

透視ができると思うからである)。それは視力の限界を超えた所にあつた。でも不思議なことに、なぜかその文字が

とある。これは強く感じた。

現在の鉄道線路が谷のトンネルから出てくる辺りに来ると(写真1の矢印)

右側の山からとても嫌な強烈な灰色を感じた。これはここで官軍と西郷軍との最後の大激戦が行なわれたためだろう。

う。心のスクリーンにも山の上と途中に多くの人が見えていた。

私は灰色と言つたが、それはこの土地が記憶している波動を色として見たからである。その色が突波口となつて映像が見えてくるのである。

最初の日にここまで来たとき、どう

も西郷隆盛がここで銃に撃たれたとい

う印象が湧き起こらなかつた。彼の味

方の多くの人が撃たれているのは感じ

るのだが、彼の印象が起つてこない

のである。

ひょととしたら撃たれた場所を通り過ぎてしまつたのかと思い、道路を逆

戻りしたが、その感じはない。

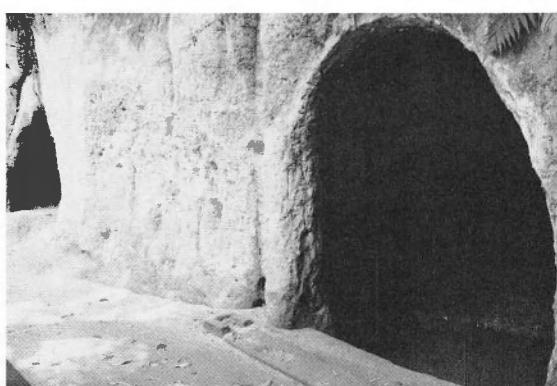
二日目、前に下つた辺りに来ると、坂道のもつと下の方に気になつてきた

(写真1、矢印2)。そこでさらに下り、前方を見ると遠くに青い標識板が見え

る。私は視力が二・〇なので遠方の物もよく見えるのだが(ちなみに、遠隔

透視ができる人は目が悪いとよく言われるが、私はそんなことを全く信じていない。健康な目を持つ人こそ健康な

透視ができると思うからである)。それは視力の限界を超えた所にあつた。でも不思議なことに、なぜかその文字が



分かるのだ。確か『西郷隆盛終焉の地』だつたと思う。

そこまで歩いて行くと、左側に入つた所に石碑が建つており、ここで西郷が没したという説明板がある。しかしこの石碑の位置よりも前の道路の方に真つ赤な色を感じた。これは、ここで西郷が亡くなつたのではなく、人々がとても動搖している様子を示してい

る。

久保田先生は古い地図を見ながら、「確かにこの辺りに島津邸があつたはずだ」と言われた。しばらく歩き回つてゐるうちに、とうとうその位置が確認できたが、現在は別な姓の方が住んでおられた（写真2、矢印1）。

確かにここだ。この辺りに薄黄色を感じる（矢印2）。一日目はまだ来たばかりでこの土地に慣れていないので違和感があつたが、今日はリラックスして見ることができた。

こんなアスファルトを敷いた所からどうして過去の波動を感じることができるのかと思われるかもしれない。空間を透視するときは二点間に距離を感じないと同様に、時間を透視するときには現在と過去との距離を感じなくなる。だから波動透視と呼ぶ方がよいかかもしれない。

鹿児島に来る前から西郷隆盛が銃弾で撃たれる映像が見えていた（図1）。

弾が当たつてよろよろとなるのだが、後ろには数名の味方が黒い影となつて見える。そして右手に獣道のような細道も見える。

現地へ行って分かつたのだが、踏切から少し行った所（写真3、矢印）を見ると、昔は細道があつたのが見えてきた。これで東京で見えた映像と合つてきた。

次にもう少し下つて、歩いてきた方を振り返つてみると、終焉の地の石碑のある所よりも上手の西郷記念館のはずれの所に何か独特的の印象を感じる（図2）。それが何を意味するのかしばらくは分からなかつたが、時間がたつにつれてようやく判明した。つまり西郷隆盛の最期の様子である。

### 隆盛最期の状況を透視

まず岩崎谷を駆け降りて来た西郷軍は、写真1、矢印1の所で山の上や途中にいた官軍の銃弾をあびて多くの者が倒れてゆく。

しかし西郷隆盛とその近くにいた人達はさらに下りつけ、現在の西郷記念館の所まで來た。その位置で右後ろ側からの銃弾が二発あたり、西郷はよろめく。一発は右膝の上辺り、もう一発は右腹に見える。また横から見ると次のように見えるのだが、こういうことはあるのだろうか。つまり右背中の腰の辺りから右腿へと弾が貫通している映像なのである。しかし判然としな

い。とにかく彼はこれ以上歩くのは不可能に近い状態だった。しかし彼は歩いた。ほんの数メートル。それが現在

石碑のある所の前である。後ろにいた人々は驚いて騒ぎだした（写真4、矢印）。西郷隆盛も、もうこれまでと、な

んとか歩きながら、別府に介錯を頼んだ（写真4、矢印1）。

別府晋介は腰をよろよろさせながら近づき、刀を振り上げて（といつてもそれほど大きく刀を動かさずに）隆盛の首を斬った（写真4、矢印2）。

しかし首の骨の所で刀が止まつたため、西郷はすでに絶命していたが、数人で大きな体を抱えて右側の細道へと運んだ。そしてそこで改めて首を斬つたのである。

あとで曾我部勇人氏に聞いたところ、數度刀を振りかざしてやつと首が斬れたという話が昔から伝わっているといふ。

（久保田注＝小説類では別府晋介が首をはねるのを周囲で部下達が正座して見守つたとあるが、熾烈な弾丸雨飛のなかで、そんな芝居じみた悠長なことをやつていられないことは容易に想像

ができる。あとで谷の一番下まで来て（写真9）そこから曾我部氏の車で走つてみると、数百メートル先の踏切の所ではもつと幅の広い水路になつていた。確かに地図と同じである。

以上のようにいろいろと見てきたが、これらは私が西郷隆盛という偉大な人物に興味があつたために、私の心のスクリーンによく見えてきたのだと思う。

たというのは間違いであるう)

つづいて後方からの官軍によつて射られた。ほんの数メートル。それが現在名がやられた。ニキビ顔の少年が一人離れているのが見える。

濠もあつた

久保田先生が「もしここがそうなら、もう少し下手に広い濠の跡があるはずだがなあ」と古い地図を見て言わたった。

そこでさらに下つてみた。

どうも地下に水が流れているような冷たい印象を向こうに感じる（写真5、矢印）。間違えては大変と、黙つてどんどん歩いて行つた。

やはりあつた！（写真6）でも狭い。

そこで写真7の矢印の所に立つて中を覗いてみた。なんと道路の下で急に広くなるように造られているではないか。

そしてその先が広くなつてつづいていた（写真8）。

あとで谷の一番下まで来て（写真9）そこから曾我部氏の車で走つてみると、数百メートル先の踏切の所ではもつと幅の広い水路になつていた。確かに地図と同じである。

以上のようにいろいろと見てきたが、これらは私が西郷隆盛という偉大な人物に興味があつたために、私の心のスクリーンによく見えてきたのだと思う。

（久保田）以上の遠藤君の透視のなかでも一つ気になる部分がある。西郷の体にあつた二発の弾丸のうち、一發も首肯できる。一刀のもとに首をねね

発は横から見ると、背中の腰の辺りから右腿へと弾が貫通しているという。これはすぐ後ろにいた『誰か』が銃をほとんど垂直にして撃つたとしか考えられない痕跡を示す。

これについては次のとおりである。

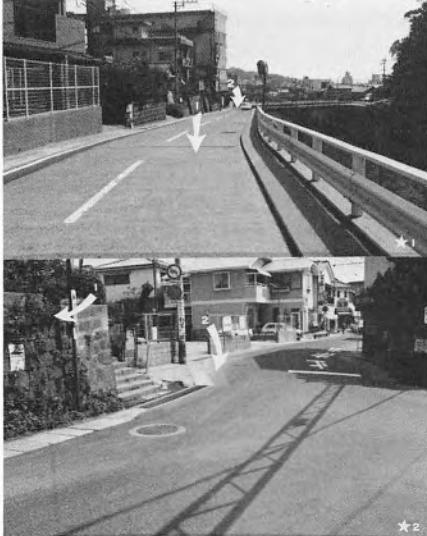
西郷の出撃の途中、側近ナンバーワンの桐野利秋が後ろから西郷を撃つたという言い伝えが昔からあつた。この件は『翔ぶが如く』の中でも取り上げられているが、肯定的ではない。参考として簡単に記してあるにすぎない。

桐野は偶像である西郷が官軍の捕虜になることを極端に恐れていたフシがあつたし、戦争中後半は西郷から相手にされない状態となっていた。こうした状況から複雑な感情の錯綜によつて、発作的かまたは計画的に西郷を撃つたと推測できる可能性が遠藤君の透視に

よつて浮かび上がるのである。したがつて桐野犯人説は無視できないことになるのだが、どんなものだろう。

こうした過去透視その他の超能力による調査を非科学的だといって一蹴する人がいるかもしれないが、現在は考古学その他の分野で超能力者の透視が応用されるようになつていて。物証による実証主義も重要なが、一方だけに固執して他を排斥するという狭量な精神では、結局、限定された結果しか得られないだろう。真実を発見するためには、あらゆる手段を講ずるべきであると思う。

今回は短時日の旅行で充分に史跡を見る余裕はなかつたが（それは当然である）、いづれ日を改めて史跡見学の旅行を行ない、鹿児島の偉大な先覚者達を偲びたい。



写真はすべて久保田撮影。イラストは遠藤による。

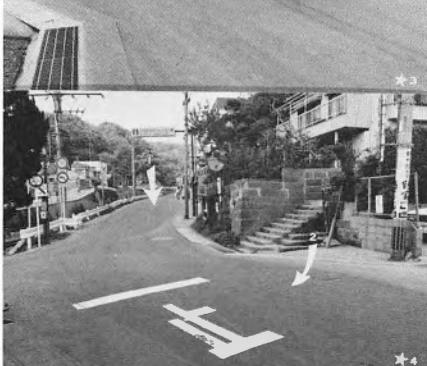


図1

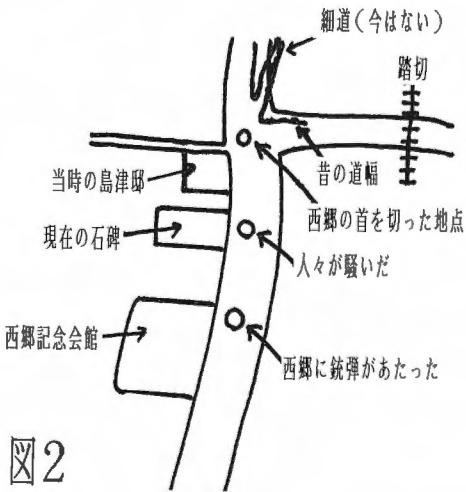


図2

## アダムスキー秘書との対話 向井 裕

本誌一〇五号より連載した「アダムスキーに会った日本人」の主人公・向井裕氏が、米カリフオルニア州ビスターのアダムスキー宅で会見後、秘書のジヤネット・レナーさんと筆談で話し合つた貴重な英文記録が残されていた。以下はきわめて興味深い内容。本文は久保田八郎訳。

ジャネット　あなたは英語を読む勉強をしたときに、同時に会話を理解することを学ばなかつたのですか。

向井　日本では英語の勉強は読むこと書くことだけです。話すことと聞くことはやりません。あなたは宇宙人に会いますか？

ジ　私は会つていません。彼らがいそうな場所に私はいないのです。

向　あなたは宇宙人を一〇〇パーセント信じますか？

ジ　信じます。

向　あなたは日本へ行きたいですか。ジ　さあ――。でもあんな美しい国を見れば素敵でしょうね。テレビで日本に関する多くの場面を見てています。

向　今日は私の人生で非常に幸せな日です。

ジ　それはいいことです。今日ロサンゼルスへ引き返すのですか。

向　はい、数時間後に帰ります。

ジ　あなたの言葉を私がタイプしたことを気にしないでね。いつだつたか一人の若い日本人がここへ来たことがあります。彼も英語を聞くことも話すことも出来ませんでした。それで今日のようにも同じタイピングの方法を應用しました。彼は英語を書くことだけは出来ました。

向　その若い男というのは誰だつたのですか。

ジ　名前や住所を覚えていません。

向　どこの州ですか。

ジ　カリフオルニア州のどこかの聞いしたことのない町です。たぶん小さな町なのでしょう。

向　あなたはUFOを見たことがありますか？

ジ　たびたび空を見上げて沢山見たことがあります。アダムスキー氏が言つていました「今は金星が接近しているので、UFO群が近づいているのだ。しかし、見ようとするべく、敏感になり、たびたび空を見上げないとダメだ」と。

ジ　私はいつもパロマーラー山にいたわけではありません。夏になるとそこへ行

して下さいませんか。

ジ　アダムスキー氏がパロマーラー山に住んでいた頃、私たちは沢山のUFOを見ました。みんなで一三五機見ました。ある晴れた日の夕方、夕食後、屋外に座っていたのです。他の場所にいた人たちも見ていました。UFO群はサンディエゴの方へ飛んで行きました。こんなふうにね（と言つてジャネットさんはSの字型の図を描いています）夏のことで、たぶん一〇年ほど前のことです。非常に早く飛びました。こんな大集団を見たのは初めてです。

向　あなたのお友達は何時に見ましたか（という質問らしいが、相手はよく理解できなかつたらしい）。

ジ　彼がそんなに多数の円盤を見たのは最初でした。初めに彼はその正体が分かりませんでしたが、彼は常にそのことを深く考えていました。あれほどに速く飛べる飛行機がこの世界にあるとは思わなかつたのです。

向　「彼」とは誰のことですか。

ジ　アダムスキーのことです。

向　おお、大変有難うございます。それは最も接近した目撃なのです。

ジ　円盤群はたぶん約二〇〇メートル上空だつたと思います。

向　そのときはただ一人だつたのですか（この質問も相手にはよく分からなかつたらしい）。

ジ　アダムスキーはその母船について何を言つていましたか。

ジ　何も言いませんでした。私はただそれを見たと言つただけです。多くの人もそのときに心をすましておれば、それを見ようという衝動が起こつて、UFOを見るのです。

向　それはいつ見るのでですか。見れる



▲上の写真はアダムスキーグがパロマーハンを降りてから晩年をすごしたカリフォルニア州ビスターの家(奥の方)。一年見小さく見えるが内部はかなり広い。  
左は大広間で故アリス・ウェルズ女史と語り合つ編者(久保田)。この部屋でアダムスキーグは月例会を開催して多くの人を指導した。向井裕氏もここでアダムスキーグと会見した。右奥のドアから向こうの小部屋は事務室になっていた。(一九七五年一月撮影)



季節があるのですか。

ジ こちらでは、いつの季節でも同じことです。

ジ 何度見たのですか。

ジ そのときの一度だけです。何年か

後にはサンフェルナンド渓谷で夕食前の六時半に別な母船を見ました。巨大な赤とオレンジ色に輝く物体が空中にいました。私は一〇分間じつと立ち止まって見ていましたが、アダムスキーグ氏も見ました。私たちは彼の義妹の家にいたのですが、その家をちょうど離れようとしたときでした。美しい光景でした。

シ

アダムスキーグ氏は土星へ行きまし

たが、あなたはそれを信じますか。なぜ信ずるのですか。

ジ それは彼が世界の教師であるからです。(イエスや他の教師のようにね)。正しく生きるために人間が学ばねばならぬことを教えるために、たぶん彼はこの高度な援助を得る権利を持つたのでしょうか。たぶん彼は(自分が感じているかまたは知っている事柄にたいして)自分の運命を遂行するため身を擲げた人たのでしょう。それは人々に教えることなのです。

向 彼が土星から帰ったときに何かを持ち帰りましたか。

ジ 私は知りません。彼が次のように言うのを聞いたことがあります。「かりに私が別な惑星から何かを持って帰つたとしても、他人にそれを証明するこ

とはできない。人間といふものは、自分が見たことのないものを信じようとはしない、いんじ。

向 世界の多くの人々は、どのようにすれば信ずることができるのですか。

ジ 人間はこの内部のフィーリングでもって内部からわきおこる感知力に従う必要があります。それは何が正しくて何が間違っているかを本人に感じさせる一種の直感力です。私たちの内部の真自我は知っているのであって、それが感知力を与えるのです。

向 私が日本へ帰りましたら、家族や友人たちに話すつもりです。それで私はUFOやアダムスキー氏やその仲間の人たちについて確信を持ちたいのです。

ジ あなたは彼の書物を読みましたか。

ジ それならあなたは『宇宙船の内部』を読んだでしよう。(注)これは日本語版新アダムスキー全集第一巻(第二惑星からの地球訪問者)第二部に収録)

ジ 私たちが哲学を好むならば、あの書物の中の哲学は理解できるはずです。プラザーズや偉大なマスターの言つてゐる事が理解できるでしよう。

向 そのとおりです! 今日は私は部屋の窓からUFOを見ることがありますか。

ジ こここの事務室にUFOの写真類がかけてあります。私たちは、確実に見れるとは言えません。UFOは見たい

と思った瞬間に近くにいないかもしれません。見たいと思つても来てくれないのです。ある日、私が庭で雑草を取り

ました。私の頭は雑草にしかなかつたので、もし私が一人だつたらちょうどそのとき見上げなかつたかもしません。

向 アメリカ政府はアダムスキー氏を援助していますか。

ジ もし政府が彼のUFOフィルムを一般に公開するならば、テレビでそれを見る人たちを納得させるために大きな援助になるでしよう。

向 サイレンスグループはアダムスキー氏を援助してはいないのですか。

ジ そうですね。彼らはアダムスキー氏に対抗しており、氏を黙らせようとし

ています。彼らは眞實に対抗し、トラブルを起こすことに関心があるのです。

向 サイレンスグループが彼の部屋の中に入ってきたことがありますか。

ジ 私には分かりません。彼なら見分けるでしよう。彼に関していろいろな事を書いた人があり、それによりますと、誰にも立証できない恐ろしい物事があつたということです。

向 アダムスキー氏はテレビに何度出

て語りました。また彼がワシントン市にいたときにはテレビとラジオの両方に出了ました。ニューヨークにいたときにはラジオの夜間番組で数時間話しました。

向 新聞に出たことがありますか。

ジ きっと新聞にも書かれたと思います。彼はオーストラリアとニュージーランドにいたときに書かれた記事を集めました。それは彼の部屋の中に保存してありましたが、私はもう長く見ていません。

向 私がここへ来たときはあらゆる郵便物の返事を書いたり、その他の雑務で大変多忙なものですから、そんなことを知るための時間はほとんどないのであります。私たちはいつも仕事の表面には出ないのです。

私はアダムスキー氏が朝起きた前の早朝の涼しいときに庭で働きます。アリス(訳注)故アリス・ウェルズ女史)は日課の仕事や記帳の仕事をします。アダムスキー氏が起きると、朝食の後に私たち手紙類の処理にとりかかります。もし手紙類が一ヵ月も前に来たものならば、再度読み返す必要があります。ときどき仲間なしに私たちは三〇から五〇通の手紙を書くことがあります(訳注)これらの手伝い人が返事を書くときは必ずアダムスキーが口述するのをタイプライターで打つていた

たことがある)。

昼食の後、アダムスキーは休息します。それは疲れる仕事なのです。それから彼はさらに手紙の返事にかかるかまたは庭を歩き回つて状況を見たりします。彼は屋外で仕事をするのが好きです。これは頭を使う仕事から気分を変えるためです。

向 あなたは若い人たちは何をすればよいとお考えですか。

ジ 私は若い人たちを知りません。向 たとえば若い人たちモラルまたは平和的な考え方を持つたり行なつたりするべきですか。

ジ そうです。

向 平和的な生き方とはどのようなものですか。彼の食事、食べ方、飲み方のなかにそれが含まれていますか(どういうような意味らしい)。

ジ 大抵は心の平和が大切です。それから食物は私たちの体を助けています。もし私たちの内部の心が平和でなければ、特に腹を立てているときには、食物は体の害になります。そのため病気になります。

向 もし食物が悪ければ、人間の心は本をひどく悪くするのですか。

ジ 食物が新鮮でなければ――。

向違います。私が言うのは正しい自然の食物のことです。

ジ 食物が熟していれば当然自然のままであるでしよう。熟していれば食べますが、そうでなければ食べません。

潜在脳力を開発し、願望実現を早める奇跡の音楽

アメリカで  
話題騒然のスピリチュアル音楽ライブラリー  
ついに日本でも販売開始

# この音楽を聴きだしてから 願望が次々と実現し始めた

アメリカで各界から熱狂的注目を浴びる常識を超えた奇跡の音楽

するニューサイエンス運動、エコロジー思想等のニューエンジニア革命の風の中から生まれたスピリチュアル音楽――。

この音楽の特徴をまとめる、

●作曲家演奏者達が皆、30代前半から半ばと若く、瞑想爱好者の上、幽体離脱や超常現象を日常的に経験するなど、きわめて靈的意識が高い。

●今までの音楽のように単に曲を聴いて楽しめるという点だけではなく（もちろん音楽的に非常に魅力に富んだ曲が多く充分に楽しめるが）意識を高め、潜在意識を刺激するという、

「意識・無意識への作用」――という事に重点をおいて曲がつくられている。



記憶力・集中力・創造力などの潜能在能力が曲を聴くことにより自然に開発される。

●一~二年の長期にわたって、これからの曲を愛好していると、超能力者、ヒーラー（心霊治療家）の典型的脳波であるアルファ一波とシーター波の同時高レベル波形とよく似た脳波があらわれるようになり、その結果、鋭い直観力――これがさらに高まると未知予知や読心力などの超能力の持主になる。

●夜寝る前に聴くと熟睡でき、疲れが翌日にはあまり残らず、朝の目がめがけてもさわやかになる。又、小さな事にクヨクヨしなくなる、包容

力がつく、他人に寛容になり対人関係がスマーズにゆきよくなる等々の人格向上効果が見られる。

●潜在意識が活性化されることにより、円滑現象（願望がスマーズに実現される、自分の思い通りの方向へ事が進んでゆく等の現象）が起きるようになる。

これだけでは、まだとても説明しきれないくらいの驚べき効能を持つたスピリチュアル音楽は、その多様な効能が、早くからアメリカの教育界・医学界・宗教界・実業界など各界から熱い注目を浴び、数々の実験、科学的基礎研究が今日まで行なわれています。



△「スピリチュアル・ヒットUSA」ライブラリーの中の1曲ご紹介。

曲名: TEMPLE IN THE FOREST

作曲演奏: DAVID NAEGELE

曲の内容: アコースティックピアノ、シンセサイザー、エレクトリックピアノ、自然音で潜在意識の波動をあらわす森のリズムが形づくられる中を、「オーム」の神聖なマントラのバイブレーションが重なり、高レベル波形とよく似た脳波が

同時に現れるようになります。

これが翌日にあり残らず、朝の目がめがけてもさわやかになります。又、小

さな事にクヨクヨしなくなる、包容

アメリカでは脳力開発にと幅広く活用されている。

★★想像以上の効果にびっくり!!★★

はじめのころは「何かおもしろい音楽だな」という感じで、でも聞いてみると心が落ちついてくる、まあ車に乗ったことです。おかげで、会社の女の心中で聞くとどちらも静かでいい曲――子がみんなボクの恋人に見えちゃうくらいの印象しかなかったのですが、ほど。何か会社に行くのが楽しくなりました。ほんと、もちろん例の音楽はしばらくして色々な異常に気づきました。低血圧で朝は三ガ手だ。毎日かかる音聞いてます。次のチケットを購入しています。現在のところ最も利用が進んでいるのは教育の分野で、サジェストペディア（超高速脳音楽）のバックミュージックとしてさかんにこのスピリチュアル音楽が利用されています。又、能力開発、靈性開発を目的とした瞑想教室では、スピリチュアル音楽はもう空気感の必需品で、大脳の潜在能力をめざめさせるために著しい効果のあることが何千人の生徒達を使った実験でも実証されています。

又、成功を夢みるビジネス界のエリートの間でもスピリチュアル音楽はたいへんな人気で、脳力開発に、ストレスコントロールに、又、願望の早期実現のために、いろいろな使い方をされています。

## 米国のスピリチュアル音楽

●24巻を一堂に集大成

アメリカンライブラリー社では、アル音楽のヒット曲、48曲（=1枚24巻）の独占販売権を獲得し、「スピリチュアル・ヒットUSA」として

アメリカで最も人気の高いスピリチュアル音楽のヒット曲、48曲（=1枚24巻）の独占販売権を獲得し、「スピリチュアル・ヒットUSA」として

日本の皆様に頒布金方式で通信販売いたしております。

「スピリチュアル・ヒットUSA」の販布システムを説明しますと、初回から12ヶ月にわたって、毎月カセットテープ2巻が届けられ、支払いは毎回500円の料金であります。

第一回目の試聴のお申込みは、

東京都 港区 南青山1-1-26-4  
アメリカライブラリー社 U.P.T.係  
電話 東京03(479)5864  
までハガキか電話で、住所・氏名・

年令・職業・電話番号を明記の上、

「スピリチュアル・ヒットUSA」

試聴希望をお申込み下さい。

アダムスキーグ氏は万物にたいして控えめでバランスをとるべきだと教えていきます。

向　あなたは他の惑星の食べ方や飲み方の理論を知っていますか。

ジ　他の惑星ではあまり沢山は食べないようです。このことはアダムスキーグ氏が母船に乗ったときの体験を伝えています。異星人はいくらかの肉、沢山の魚、多くの野菜、自然のままの果汁などを食べますが、食べすぎることはしません。彼らは人体を完全に保つています。

向　私は病気の治療をしています。たとえば小児麻痺を治すことができました。（食べたり飲んだりせずに）そして聖書にあるように祈るのです。あなたは私の急速治療と祈りが（正しい、という意味？）と思いますか。

ジ　私はまだそんなに急速に治るほど病気になつたことはありません。しかし病気であろうが、祈りというものは良いことです。というのは私たちといつも信念の力を持つ必要があるからです。緊急のときだけでなしに、本当の援助の手を差し伸べてくれる創造主にたいしていつも想念を送るべきです。なぜなら創造主は肉体を作り、それを組み立てる方法を知つてからです。

向　私たちが創造主のみ手の中に感謝の想念を置くならば、そして信念の力と祈りとをもつてすれば、それは偉大な

助けになります。

向　素晴らしい！

ジ　あなたは医師ですか。

向　違います。

これは私にとって重要なことです。まず第一に神と心と感覚がありますが、私は二番目のものを忘れません。それは物質、つまり「物」であり、食物です。

ジ　食物は肉体を健康に保つのに必要なです。肉体を痛めてはいけません。アメリカ人は食べすぎます。食物が充分にあると、美味しくてやめられなくなるのです。食事が目の前にあると、続く限り食べづけます。そこで胃が痛み、太り過ぎになるのです。

向

向　私は日本ではいつも玄米かパンです。私の栄養食治療の理論の重要な点は自分の体を自分でコントロールしなければならない、ということです。

ジ　したがつて、私たちは宇宙の法則を知っています。その法則は陰と陽、上と下、であると思います。宇宙の万物は陰陽、男女、老若、高下、緩急などであると思います。食物においては陰陽の法則があります。ご存じですか。

向　あなたが名づけているような法則については全然聞いたことはありません。

向　私たちが創造主のみ手の中に感謝の想念を置くならば、そして信念の力と祈りとをもつてすれば、それは偉大な

向　私が名づけたではありません。東洋では非常に古い時代からあります。約五〇〇〇年昔に中国で行なわれた理論です。

ジ　全包容的ですね。

ジ　アダムスキーグ氏はいま疲れていると思いませんが――。

ジ　彼はこうした日曜日の会合ではいつも疲れるのです。しかし彼は仕事が好きですし、大変な知識を持つていますから、それを人に伝えたがるのです。したがつて彼は仕事をやめる時というものを知りません。一つのアイデアが出でてくれば、また二つのアイデアが出てきます。そういうふうにとどまることがあります。

ジ　あなたをご援助しようと努力したことは楽しい事でした。何かが明確になつて助けになればと願っています。

向

向　全部そのとおりですね。そのようになる原因是食物が自然のものでなくなつたからです。自然の動物は食べすぎません。私は日本ではいつも玄米か

パンです。私の栄養食治療の理論の重要な点は自分の体を自分でコントロールしなければならない、ということです。

ジ　レナーさんとの筆談による質疑応答は終わる。この対談は本誌一〇五、一〇六号に連載した「アダムスキーグに会つた唯一の日本人」と題する記事の続編ともいふべきもので、昭和三九年八月単身で渡米した向井氏が一八日、カリフオルニア州ビスターのアダムスキーグ宅を訪問し、ア氏と会談した際にア氏の言葉をタイプライターで口述筆記したジャネット・レナーさんと、奥の間さらに対談した際の筆談録である。

このとき向井氏がなまじつか英語をしゃべらずに筆談を行なつたのが良かった。録音機を携行しなかつたために、素晴らしい記録文書として残されたからである。

それにしても長時間、ジャネット・レナーさんが活字体文字で丁寧に英文を書いて氏の質問に答え続けた忍耐力と親切さに驚くばかりはない。また向井氏の質問の英文も文法の誤りをものとせずに何かを把握しようと必死になつて書いた形跡がある。

ともあれ、この質疑応答により、当時アダムスキーグのヘルパーたちが献身的に活動していたことと、彼女らもアダムスキーグ哲学を完璧に理解し実践していた実情を彷彿させるのである。また、向井氏が英文による筆談記録を公開されたことは、別な意味で今まで意義深いものがある。多くの日本人研究家が海外で通訳を通して取材した事を自分の語学力を駆使したかのように見せかけた記事を書く例が多い実情から見ると、失礼ながら當時英会話力が充分でなかつたと思われる（今は達人であろうが）氏が現地まで出向いて筆談で立ち向かつた姿勢は一種の快挙といえよう。熾烈な知識欲が奔流となつて溢れ出たこの対談録は貴重な記録であり、書物だけの研究でなく現地の取材が根本的に重要であることを痛感するとともに外国語の重要性を改めて認識させられる資料である。

# GAP短信

GAP News

## ★新アダムスキー全集大好評

今春四月より刊行が開始された新アダムスキー全集第一巻『第二惑星から地球訪問者』が大好評裡に迎えられたあとに続く第二弾として第二巻『超能力開発法』が五月に発売された。これは旧版の『テレパシー開発法』を改題し訳文を改訂して読みやすくしたもの。六月には『二一世紀・生命の科学』が発行され、以後ほとんど毎月各巻が順次刊行される。詳細については本号51頁の広告を参照し、不明な点は出版社(中央アート出版社)へ直接照会されたい。

## ★各地支部大会終了

本年度各地支部大会のうち、第一回南九州支部大会、第一回仙台・山形合同支部大会、第四回長野支部大会はそれぞれ大成功をもって終了した。詳細報告は本号42頁から三頁にわたって掲載されている。これで秋田支部大会を残すのみとなつた。

## ★秋田支部大会を開催予定

来たる一月三日に秋田市の秋田県社会福祉会館で盛大に開催されて有終の美を飾るので多数出席されたい。詳細は本号45頁。

## ★UFO写真展

予告済みの地方支部主催UFO写真

展は次の各支部が健闘して多大の成果をあげた。

### (1)青森支部UFO写真展

青森市のサンロード青森にて四月一日より一五日まで二日間、入場者数一四五〇名。

### (2)栃木支部UFO写真展

宇都宮市の栃木会館にて五月三日より五日まで三日間、入場者数一一四〇名。

以上の詳細は本号13頁に掲載。

## ★新潟支部主催UFO写真展

来たる八月一日より一四日まで四日間、新潟駅前のデパート「ブリーカ新潟」(ゆーとびあ)ホールにて開催の予定。多数出席して援助されたい。

## ★テレパシー・コールUFO観測会

予告どおりUFO観測会を去る六月九日に静岡県富士宮市の朝霧高原で実施。当日は土砂降りの雨という最悪の気象条件下を全国から集合した多数の会員で熱心に観測を続けたけれども、成果が上がらず、翌朝三時半に解散した。次回は集合しやすい場所を検討して盛大に開催したい。日時は未定。

## ★今年度日本GAP総会

今年度年次総会は来たる九月二四日午後一時より東京銀座七丁目の「銀座ガスホール」で実施するので多数出席されたい。詳細は本号47頁。

## ★会長、デンマークで講演予定

日本GAP久保田会長は今年一〇月一七日、デンマーク、コルデイングの

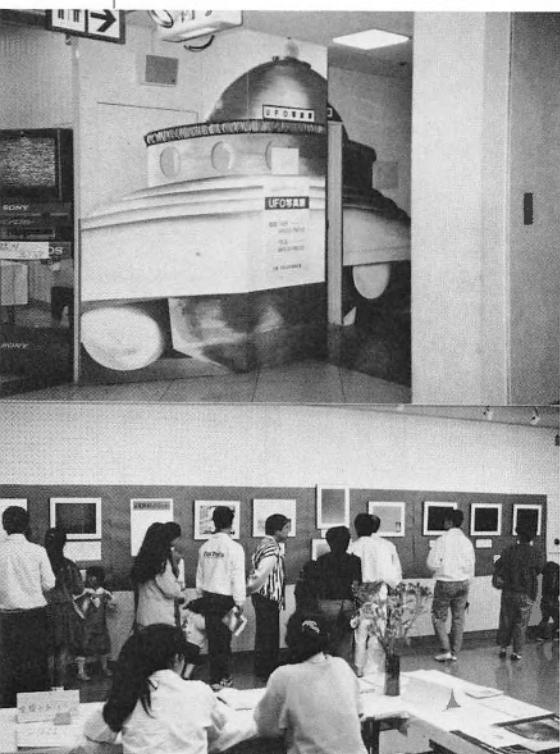
ホテル「スカンティコン」大ホールで開催されるデンマークGAP大会に主賓講演者として招待を受け、「四日、四日より一五日まで二日間、入場者数一四五〇名。

二時間半、スライドを使用しながら英語で講演し、これをデンマークGAPの創立者で会長の盟友ハンス・ピーターセン氏がデンマーク語に通訳する。帰国後三〇分は質疑応答にあてる。清水正、佐塚崇子、田中信代の三氏。

**★東京例会、八月度会場と日時を変更**  
今年八月度のみは定会場たる東京文化会館側の都合により会場を、居居北の丸公園内「科学技術館」六階第一会議室に変更、日時も八月のみ第一土曜日。

## ★特別維持会員制

日本GAPは特別維持会員制度を設けている。これは久保田会長のエッセイによるGAP関係大活動により本職の文筆家としての仕事が手抜かりになるため健全な生活運営を援助しようという趣旨にもとづいて本部役員により創設されたもの。維持会員には東京本部通信や本誌に掲載されない会長のエッセイなどが贈られる。参加希望者はGAP本部宛ハガキで申し込まれたい。案内書と振り込み用紙をお送りする。



の、四、に、変える。時間は午後一時半より六時まで。九月は年次総会開催月であるが、月例会も従来どおり上野公園内「東京文化会館」で第二土曜日の八日に開催。以上お間違いなきように注意されたい。

日本GAPは特別維持会員制度を設けている。これは久保田会長のエッセイによるGAP関係大活動により本職の文筆家としての仕事が手抜かりになるため健全な生活運営を援助しようという趣旨にもとづいて本部役員により創設されたもの。維持会員には東京本部通信や本誌に掲載されない会長のエッセイなどが贈られる。参加希望者はGAP本部宛ハガキで申し込まれたい。案内書と振り込み用紙をお送りする。

〔国内有力紙に掲載された科学記事を抜粋紹介。各記事末尾のカッコ数字は掲載年月日を示す。〕

### 磁石に吸いつくプラスチック

工業技術院科学技術研究所（茨城県つくば市）は、磁石に吸いつくプラスチックを簡単に効率よく製造することに成功した。原料となるのは、水道パイプに使われているポリ塩化ビニールなどの高分子で、磁性は常温でも失われず、コピーの材料や磁気遮蔽材料などへの応用が可能だと言っている。

軽くて強いプラスチックに磁性を持たせることができれば用途はさらに広がる。このため米国IBMやソ連科学アカデミーでも研究が行なわれていたが、磁性が低かっただけで、製造効率が悪いなど実用に耐えるものはできていない。

同研究所機能表面化学部の村田和久研究官は、触媒技術を応用。ポリ塩化ビニールなどの高分子化合物に活性炭を10対1の割合で混ぜ合わせ、1000度で二四時間加熱するだけで高磁性高分子化合物を作ることに成功。

この化合物は、原料六グラムから1・2グラムと高効率にとれるほか、磁性も鉄などの金属に比較すれば弱いものの、これまでに作られたものよりも強く、常温でもその性質を失わない、などの利点がある（2・3・30毎）。

月の表、裏、極を徹底探査計画  
日本の本格的な惑星探査の第一歩として、文部省宇宙科学研究所（神奈川県相模原市）の理学委員会が四月五日、一九五五年度に月探査を実施することに決めた。六月の評議会で正式決定する。これまで提案されていた月、金星、彗星の三つの探査計画の中から選ばれたもので、

月の周りを回る探査機と、月面に打ち込まれるユニークな観測機器を用いて月の裏側や極地方まで観測し、月の内部の構造などを探る。米国のアポロ計画でも行なわれなかつた観測だけに、海外からも注目されている。

理学委員会がまとめた原案によると、探査機は二、三日かけて月に到達（まず長楕円軌道に乗り、最終的には準極軌道に乗る）。探査機が長楕円軌道にある間に、ペネトレーターと呼ばれるペンシル型の観測機器（直径一二センチ、長さ八〇センチ、重さ約一三キロ）を月の表、裏、極の三カ所に打ち込む。

ペネトレーターには地震計、熱流量計などを搭載、月で起きている地震の観測や、月の内部から出てくるエネルギーなどの観測を行ない、エネルギーのもとになっている元素や、地殻の厚さ、核の大さなど内部構造を探る。月の周りを回る探査機にはデータ・リレー用の装置などを積み込む。探査機もペネトレーターも一年間観測を続け、データを地球に送る。

最も身近な天体である月は二〇年前の米国のアポロ計画で探査されたものの、この時は有人だったので、さまざまの制約があった。今回の日本の計画は一度に複数の場所に観測機器を設置でき、探査にかかるコストも抑えられるのがメリット（4・6毎）。

### 低温核融合肯定実験発表相づぐ

論議が続いている低温核融合に的を絞った初の国際会議が三月二十九日から米児童ソルトルーキシティのホテルで始まり、初日から「核融合が原因と考えられる大量発熱が観察された」とする実験

結果が相次いで発表された。

この会議は昨年三月、同地のユタ大研究者らが衝撃的な発表をしてからほぼ一年後に開かれるもの。米国、イタリア、日本などから肯定派を中心に約200人が出席した。

### 火付け役となつたユタ大低温核融合研

究所のスタンレー・ボンズ教授は発熱反応とその分析手法を初めて詳細に説明。最近の実験でも発熱量は少なく見積もつても入力エネルギーの四〇倍で、化学反応の発熱レベルの百一千倍に達するとした。実験への批判に対しても厳密な統計的手法を駆使していることを強調し、長大な論文を近く発表することを明らかにした。

また、米カリフォルニア州のスタンフォード研究所（SRI）の研究者は約六〇気圧の重水素ガスを使った電気化学実験で数十万ジュールにのぼる余剰エネルギーが生まれたと報告。オーリツジ立地研究所（米テネシー州）のドナルド・

ハツソン博士はポンズ教授らの手法を用い、二ワットから九ワットの余剰出力が一五〇〇時間にわたって発生し、総出力は五百万千瓦以上にのぼったと発表した（3・30 読夕）。

**騒音は動脈硬化の原因?**

激しい騒音に長時間さらされると、動脈硬化を進行させるコレステロールなどが血管の内壁に日立つて多く沈着することを、日本医大第二内科（赫（てらし）彰郎教授）の福生吉裕講師、神原礼文医師らがウサギの実験で初めて突き止めた。騒音が動脈硬化に結びつく可能性を示したこの研究結果は、自動車などの騒音に囲まれた現代人の生活環境に警鐘を鳴らすことになりそうだ。

実験終了後にウサギの大動脈壁を染色し、脂質が沈着して動脈硬化になつている部分の面積を調べた。騒音群で抗ストレース剤を投与しなかつた四匹は、調べた内壁のうち六二四の面積に脂質沈着があつたのに対し、静寂群で非投与の四匹は四〇パーセントで、騒音群の方が五割以上も脂質沈着の面積が広かつた。

血液中の成分分析では、騒音群の方がLDLはやや多く、動脈硬化との関係が同様に疑われている中性脂肪は二倍以上に増えていた。また、騒音群では血液を固まらせる働きの血小板凝集能と血压が上昇し、コレステロールが血管壁に付着やすくなつていていた。臓器を見ると、騒音群で副腎が肥大し胸腺が小さくなつており、騒音により生体がストレスを受けたことが裏づけられた。

実験でウサギがさらされた騒音は、人間だと一分間も耐えられないほどのものだったが、「騒音が動脈硬化の一つの原因になることを実証できた（4・7毎夕）。

動脈硬化は、血管の内壁に悪玉コレステロールのLDL（低比重リポたんぱく）などの脂質が沈着して、血管が弾力を失つたり内径が狭くなる病気。食生活の欧米化や運動不足などがもたらす現代病で悪化すると心筋梗塞などを引き起こす。

神原さんはウサギ一六匹で実験を行なつた。うつ八匹は、六〇〇ヘルツ、一二〇デシベルという低音域でのすごく圧迫感のある音を二〇週間聞かせ続け、残りの八匹は静かな環境において。いずれも高コレステロール食で育て、さらに騒音群、静寂群の各八匹の半分には抗ストレース剤も投与した。

# アメリカGAP発足!

坂本貢一記  
(完)

## スカンディナビア旅行

パムと私は、年始め（一九八九年）から、六月に予定していたスカンディナビア地方への旅行計画を進めていた。その地方を訪れることが、私の長年の夢の一つだったのだ。

ある日私は、デンマークの二人の友人に手紙を書いた。近年文通によつて知り合つたデンマークGAPの友人達である。

滞在中にぜひお目にかかりたいと書き送つたのだが、彼らの返事は、この上なくうれしい誤算だつた。

私はただ会えればいいと想えていたのだが、彼らは、それぞれの私邸に私達を招待してくれたうえに、デンマーケに滞在事のバケーション・プランまで念入りに立ててくれたのである。

さらに、コルディング（Kolding）で開かれる予定の大きなGAP集会での講演を打診して來た。私はもちろん、彼らの提案をすべてよろこんで承知した。

一九八九年六月一七日、パムと私はコペンハーゲンに飛び、市内のホテルで一夜を過ごしたあと、次の日早朝、国内便で西デンマークに向かつた。

## ハンス・ピーター・セン氏

地方の小さな飛行場に下りると、そこには、ハンス・ピーター・セン氏（退役空軍少佐）夫妻の姿があつた。それで過ごすことになつてゐるのである。私はこの時を、今か今かと待ちこがれていた。

ピーター・セン氏は、これまでの一八カ月間、私の本をデンマーク中に広めるべく、大変な労力を費やしてくれていたのである。彼は、王室、報道機関、教会、大学、軍隊、政党、科学者、著名人、国会図書館、出版社等の多くの個人や団体に、私の本を数多く送つてくれていた。

下に彼の二枚の写真を掲載したが、上が若い頃の写真で、一九五九年、彼がまだ空軍大尉だったころのものである。彼が指差している地図には、当時デンマーク国内でUFOが目撲された地点にピンがさされている。それらはすべて二、三ヶ月のうちに目撲されたものばかりで、中には着陸した例もあつたという。

ハンス・ピーター・セン氏は、この分野の開拓者の一人であるとともに、現在においても世界の名だたるUFO研究家の一人として、大きな名声を博している人物である。

彼のサマーハウスに滞在中、私達夫婦は、有名な古城や自然の景観を彼の案内で充分に堪能することができた。

研究団体である『スカンディナビアンUFO協会（SUFONI）』を設立し、またくまに一〇〇〇人以上の会員を集めている。そして、彼がジョージ・アダムスキーにとって最も信頼出来るコーウィーの一人として、精神的な活動をつづけることになった。

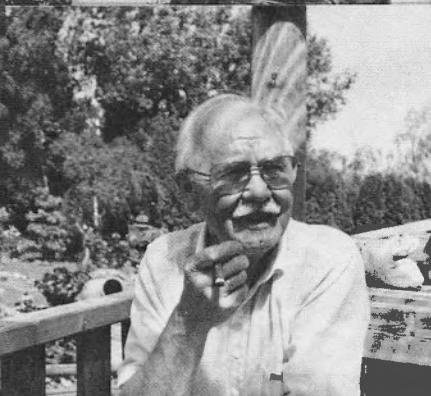
一九六三年にジョージ・アダムスキーが彼を訪ね一〇日間を過ごしたのが、私が今回お邪魔した彼のこのサマーハウスである。

その滞在中にアダムスキーは、このサマーハウスからほんのわずか離れたところで、ある金星人からローマ法王ヨハネ二世の小さな小包を受け取っていたのである。彼は、王室、報道機関、教会、大学、軍隊、政党、科学者、著名人、国会図書館、出版社等の多くの個人や団体に、私の本を数多く送つてくれていた。

次年の一九六四年、ハンス・ピーター・セン氏はデンマークGAPを設立し、ニューズレター『UFOコンタクト』の出版を始めた。そしてそれは現在でも、やや小さめの英語版とともに出版されつづけている。

一九八〇年になると、海外の（特にヨーロッパ全土の）人々の情報交換活動がより多忙を極めてきたため、彼は国内のGAP活動を同僚の手に委ね、国際GAP活動を推進すべく、海外とのネットワーク（『リサーチ・アンド・コンタクト・ネットワーク』）作りに専念することにした。

ハンス・ピーター・セン氏は、この分野においても世界の名だたるUFO研究家の一人として、大きな名声を博している人物である。



さらに、それにもまして素晴らしいが彼との会話である。彼は素晴らしい記憶の持主であるとともに、深遠なる議論の達人だった。特にこの分野（宇宙とUFO）のことになると、アダムスキーリー存命中の出来事から現在の状況に至るまでを完璧に知り尽くした上で、夫人ともども見事なまでの議論を開いたものである。

日本GAPを指揮する久保田八郎氏と同様、このハンス・ピーターセン氏もまた、ジョージ・アダムスキーリーがコワーカーとして個人的に選出した数少ない人々の一人なのである。

彼のサマーハウスに滞在中、私達四人は、連日夜がふけるのも忘れて語り合つた。その間、野外で談笑中に、澄み切った夜空を飛行する二機の宇宙船も目撃している。

彼と語り合いながら、私は、彼と私には多くの共通点があることを発見していた。その一つが、自分の本心を包み隠さず言葉で表現することである。これはかつては、すべての人間にとつて当たり前のことであったが、現在そういう人間は極めて少なくなってしまった。

さらに、彼もまた私同様、「愚かな者たち（道を誤った一部の自称専門家たち）を決して喜んで容認したりはしない」タイプの人間だった。

## デンマークGAPの集い

六月二一日、私達は車でコルデイングのホテル・スカンティコンに向かった。デンマークGAPの大会会場である。

ホテルで私達を迎えてくれたのは、現在デンマークGAPのリーダーを務め『UFOコンタクト』の編集責任者である、イプ・ラウルント氏だった。それが初対面ではあつたが、私達は過去二年間頻繁に文通を交わしてきた旧知の間柄だった。

彼の尽力により、素晴らしい会場設定から、進行、前宣伝、新聞社への手配まで、その日の大会を盛り上げるために完璧な準備が成されていた。

大会（夜間開催）に先立つて素晴らしいディナーパーティーが開かれたが、その席には、デンマークGAPのメンバーに混じつて、ベルギーのアンドレ・ファン・ルイ、西ドイツのマルティン・ブッシュマンといった国外の研究家たちの顔も見られた。そこで活発な会話と料理を堪能しつつ、充実した一時を過ごしたあとで、私達はいよいよ会場に向かつた。

イプ・ラウルント氏の格調高い挨拶につづいて壇上にたつた私は、集まつた多くの人々を前にして、ジョージ・アダムスキーリーとUFO、宇宙に関する真実を力の限り訴えた。ハンス・ピーターセン氏の通訳により、聴衆は私の話を極めて良く理解してくれたようだ。

ある。

休憩時間の後には、やはりハンスの通訳により、スライド映写と質疑応答が行なわれた。特にスライド映写の場面では、ハンスが所有する月面の地球外宇宙船の存在と異星人活動の証拠を示す素晴らしい写真群も、彼自身の手によって紹介された。

その夜の大会は、私を含め多くの人々の意識を高揚させて、成功裏に終了した。イプ・ラウルント氏をはじめ、大会まで、その日の大会を盛り上げたための完璧な準備が成されていた。

大会（夜間開催）に先立つて素晴らしいディナーパーティーが開かれたが、その席には、デンマークGAPのメンバーに混じつて、ベルギーのアンドレ・ファン・ルイ、西ドイツのマルティン・ブッシュマンといった国外の研究家たちの顔も見られた。そこで活発な会話と料理を堪能しつつ、充実した一時を過ごしたあとで、私達はいよいよ会場に向かつた。

そして船で再びデンマークに戻り、デンマーク国内をさらに観光して回つたあと、最後の三日間は、ルンデに住むイプ・ラウルント氏のお宅で過ごさずしていただいた。この訪問もまた、私達夫婦が心待ちにしていたものであり、うものだった。

それが近い将来現実となることを、私は強く信じている。

日本GAP、およびデンマークGAPは、すでに素晴らしい活動をつづけて来ており、今や、我々アメリカGAPもそれに追随すべく産声を上げた。各国のGAPがより親密な協調関係を築き上げることを願うものである（完）。

## 世界GAP大会の開催に向けて

ラウルント氏との最後の議論は、世界中のGAP活動家が一堂に会した盛大な集会を、定期的に、出来れば毎年でも開催できないものだろうか、といふものだった。

それが近い将来現実となることを、私は強く信じている。

日本GAP、およびデンマークGAPは、すでに素晴らしい活動をつづけて来ており、今や、我々アメリカGAPもそれに追随すべく産声を上げた。各国のGAPがより親密な協調関係を築き上げることを願うものである（完）。

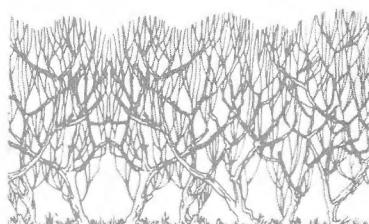
## ●デンマークGAP大会

◀一九八九年六月二一日、デンマーク、コルドイングのホテル「スカンティコノ」で開催されたデンマークGAP大会。上は大会に先立つて行なわれた夕食会。右列手前がイーブ・ラウルント氏。その右隣りがダニエル・ロス氏。下は同ホテル大ホールで講演中のダニエル・ロス氏。

撮影／バメラ・ロス



◀デンマークGAP会長イーブ・ラウルント氏。ルンテの自宅前にて。



# UFO 宇宙がらの完全な証拠

●ダニエル・ロス／久保田八郎訳

連載第12回

## 第10章 金星—我らの姉妹惑星

### 極秘にされた解説結果

金星の雲で包まれた大気圏がその惑星の空なのである。この雲の構成は何かの大気レベルまたは地域に見られる固形の毛布のようなものではない。そこには少數の雲の層があり、それらは密度と外観が異なるのであって、やがて金星の地表上空四八キロの高度で突

然の切れ目が出来る。

この空は可視光として現れる太陽の電磁スペクトルを遮断しないが、地球の大気よりも効果的に各種の宇宙線をさえぎるのである。

その地表上空一六キロの高度にまで伸びているのは、対流圏と呼ばれる大気の底の層で、金星の大気のかたまりの九〇パーセントはこの地域に含まれており、地球の大気に見られるのと同

じ酸素と窒素を含んでいる。二酸化炭素は金星の大気にきわめて少量しかない。この地域では普通の気候に見られる雲や風などが活発に発生しており、地球と同じような気候を生ぜしめている。金星の自転周期も地球のそれに似ており、地球の二四時間に比べて長さは一日が二六時間である。

アメリカとソ連の宇宙開発関係最高責任者は、一九八〇年に先立つて金星に着陸した探査機類から以上の情報のすべてかまたは殆どを確定した。直接に入つてくる信号と記録が解説され極秘にされたが、一方、ごくわずかな情報だけがレギュラーのプロジェクト科学者団に伝えられた。金星大気の外側近くでとらえた観測機による期待どおりの記録類とともに伝えられたのである。

科学者達に正確に伝えられた記録データの殆どは、金星表面の諸状態について見当はずれなものだった。対流圏の底の位置におけるパラメーター（記述—関数に含まれる定数または変数の一種）は着陸した探査機によつて確定されたにすぎない。気圧と表面温度に関する真実の発見事は絶対に公表されなかつた。こうした諸状態に関する偽りの解説結果が探査機の打ち上げごとに公表され、代わつて既成の概念に正しく適合する声明が出された。これは最初からあらかじめ作られていたものである。

ソ連の金星探査機の正確な情報

一九七五年六月以来、ソ連は二個の宇宙船を金星に打ち上げた。四ヵ月後、

からどのような記録を望もうとも、右以外の方法では得られないことを認めている。他の誰もこれらの秘密の信号を伝えられたことはなく、ジェット推進研究所のプロジェクト科学者さえも知つてはいない。これらの科学者は各種の声明、中継させられ修正された情報（一次的なもの）、期待どおりのデータ、取るに足らぬ記録類、あらかじめ確定された解説結果、コンピューターによる分析等の混ぜ合わせたものを受け取るのだ。それは概してパッケージ・プログラムである。

一九七五年以来、ソ連は六個の探査機を金星に打ち上げたし、アメリカは二個発射した。この章のあととの部分ではこれららの探査機に関する情報をコメントとともに掲げたい。詳細を調べるために多数の科学記事や新聞切り抜きを参照した。しばしば科学関係の文筆家は自分の書く報告を客観的に述べているように見えるが、金星の気圧と温度の矛盾に気づくようになるまではどんなに論じても本当の価値を殆ど与えることはない。

二個とも金星を回る軌道に乗り、両方とも地表へ着陸探査体を降ろした。ベネラ9号、ベネラ10号と名づけられたこの探査体は、二二〇〇キロ離れて軟着陸し、金星表面の最初の二枚の写真が撮られて地球へ送り返された。両探査体とも金星表面で約一時間作動したと報告されている。

二個の着陸地点は或る地域の北東と南東の境目で、地球のレーダー研究により、現在はペータ地域であったとさ

れている。  
送信された写真のいずれも各着陸地点が日光を浴びている光景を示していた。

アメリカの科学者、特に金星の理論的な（密度）大気があまりにも暗すぎても見えない上に、かりに着陸体が自分の照明装置を運んだとしても、撮影されるいかなる写真もひどく歪められて、地平線はあたかも大きな椀の中から見渡すかのごとくに上方に向かって曲がつて見えるだろうと信じつづけていた学者達に大打撃を与えた。しかしこんな理論はベネラの写真によつて証明されたようになつてゐるのである。

また金星探査機は、金星の風景は風と熱の浸食によつて引き起こされた砂漠であろうという説も打ち破つた。或がつて角張つた若く見える岩石である。ソ連の探査機打ち上げ責任者であるボリス・ネポクロノフは次のように述

べている。  
「この写真は金星に関する我々の概念のすべてを再考させるものだ」

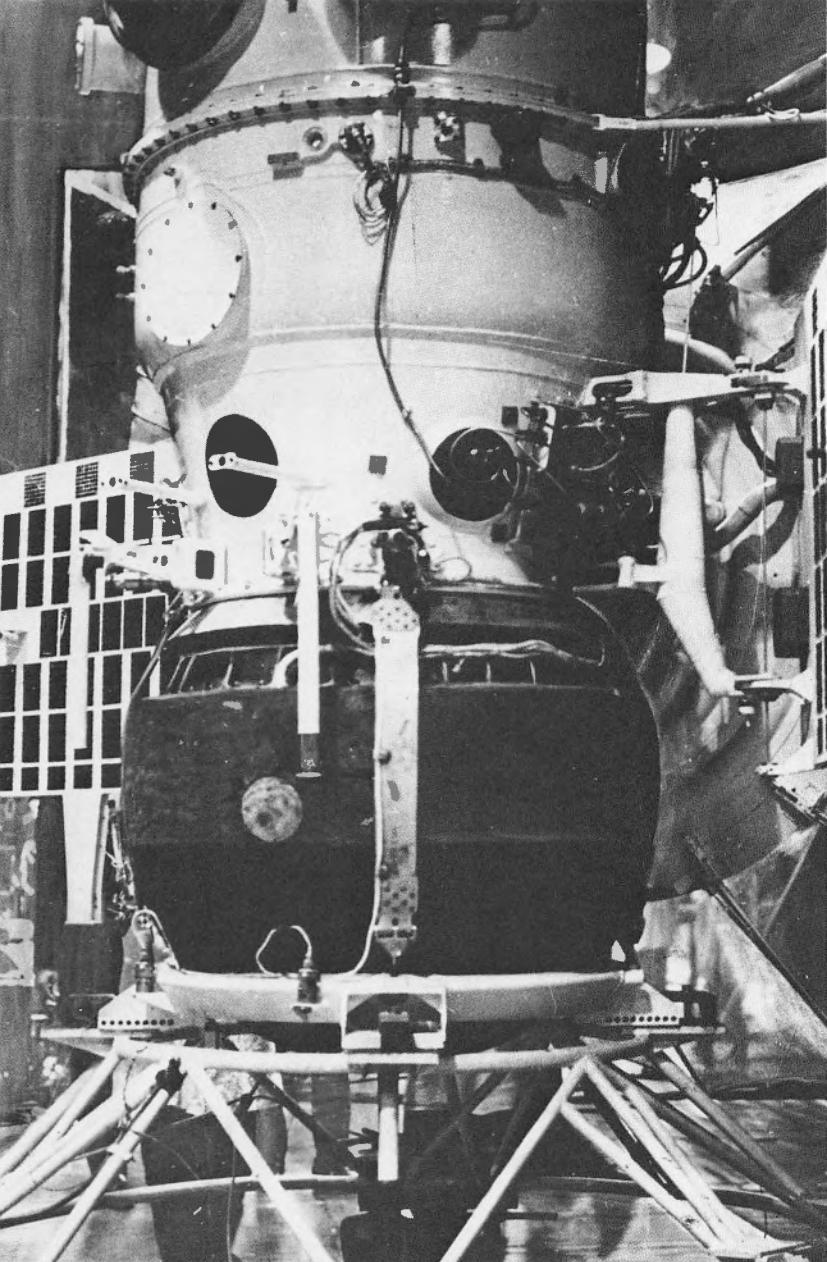
二個の着陸体から得られたガンマ線の分光結果によつて、岩石だけの地表はカリウム、トリウム、ウラニウムを含んでいることが示された。これは玄武岩の岩石を構成するものである。

このデータからソ連当局は、金星の表面は地球の地殻と構成が似ていると述べている。

また彼らは、太陽風を伴う金星の上層大気の相互作用に関する多量の情報を得たと言い、また金星の雲の覆いは宇宙船に乗つた観測者の目には“かすかな靄”として見えるだけだろうと付け加えている。最終的な評価では、人間は金星の雲の真下にある物を発見するための入口まで來てゐるといふことになつた。

一九七八年、アメリカの宇宙開発は二個のバイオニア宇宙船でもつて金星の謎を解明する最初の本当の機会を得た（これはアメリカにとって最後の機会でもあつた）。というのは、これに続く探査機の打ち上げは行なわれないからだ。

バイオニア計画の探査機は金星の電離層をつらぬいて地表に激突するように作られていた。技術の欠如のためにソ連の軟着陸の成功を許したアメリカは、探査機を地表に激突するように設計したので、そのためにはカメラを搭載



▲ソ連の金星探査機ベネラ4号の自動ステーション。写真提供APN

していなかつた。アメリカの希望は、金星の雲の下から二～三の観測器による記録を得ることが基盤となつてゐた。

金星の環境について何かの理解を得ようといふこの限られた試みでもつてさえ、いかなる結果が出たにしても、実際には事実に基づくものにはならぬだろう。といふのは一九七八年まで金星に関するドグマティックな諸説が科学界内で頑固な信条になつてゐるからである。

オーネットクスな見解の枠内で解釈された。われわれは彼らの報告を吟味するときに、このことを心に留めねばならない。そして（再度言う必要があるだろうか？）金星の表面温度と気圧に関するどのような解説結果といえども、コントロールされている職員によつて厳重に護られており、その職員達が記録用におきまりの偽データを出すのである。

## 科学者が出すつまらない声明

二機のパイオニア宇宙船はその目的に関しても全く異なる機能を有していた。パイオニア1号はオービターアリ、一二月四日に金星に接近してから六四〇〇〇キロの距離でその惑星を回る軌道に乗つた。パイオニア2号は着陸探査機を運んでいたために輸送“バス”と呼ばれた。

それは五日遅れの一月九日に金星に到達している。

パイオニア1号は遠い軌道から数百枚の写真を送り返し、そのためには大気上層部の雲の流れを調べることを確証した。その後、ある時点ではパイオニア1号は地球からの指令信号によって、うんと低い軌道に乗るように向かられた。レーダーによる金星の広汎な地図を作成するために、この段階の探査は数カ月つづいた。

ときどきこのオービターは金星に一四二キロも接近したことがある。低い軌道に乗りながら、パイオニア1号は金星の地表近くの空中に雷光が発生するのを検出している。これは地球の大気中に見られる嵐の雷光に似ていた。（このことは同じ月に金星表面に着陸したソ連の探査機によつても確認されている。この探査機の記録によると、この雷光は地表上空五キロないし一〇キロの高度で起つていることを示したし、探査機は大きな音響をも記録したが、これはソ連の宇宙科学権威者によつてカミナリと解釈されている）

一九七九年二月、パイオニア・オービター1号はベータとして知られる機がすでに着陸した場所であり、着陸

船はこの地域が火山岩で成り立つてゐることを示した。

一方パイオニア1号の観測装置による最初の記録は硫黄を検出し、この地域上空の大気上層部には硫化物の小滴とができた。写真類は変化する雲のパターンを詳細に写し出しており、金星の雲は約四日間でその惑星を一周することを確認した。その後、ある時点ではパイオニア1号は地球からの指令信号によって、うんと低い軌道に乗るように向かられた。レーダーによる金星の広汎な地図を作成するために、この段階の探査は数カ月つづいた。

ときどきこのオービターは金星に一四二キロも接近したことがある。低い軌道に乗りながら、パイオニア1号は金星の地表近くの空中に雷光が発生するのを検出している。これは地球の大気中に見られる嵐の雷光に似ていた。（このことは同じ月に金星表面に着陸したソ連の探査機によつても確認されている。この探査機の記録によると、この雷光は地表上空五キロないし一〇キロの高度で起つていることを示したし、探査機は大きな音響をも記録したが、これはソ連の宇宙科学権威者によつてカミナリと解釈されている）

一九七九年二月、パイオニア・オービター1号はベータとして知られる機がすでに着陸した場所であり、着陸

船はこの地域が火山岩で成り立つてしまい、それが長い年月の間に大衆の心に間違つたイメージを無責任に植えつけるかと、いうことの生きた実例である。

科学者といふものは、われわれが今まで探査機から送り返された情報の内、ほんのわずかな情報だけしか受け取つていないと、このことを認めることができないらしい。しかも彼ら科学者がおおやけの報告も有毒な大気という印象を与えてしまい、つづく五年間はおおやけの報告だけを頼りにして、つまらない声明を出しつづけていよいに一九八四年二月、NASAのエイムズ研究センターが出した研究結果により、金星のベータ地域の一火山軌道に乗りながら、パイオニア1号はセントヘレン山よりも強い力で一九七八年に爆発し、金星の大気に硫黄が、セントヘレン山よりも高い力で高く吹き上げたのだと発表した。この爆発はパイオニア1号がこうした構成物質を検出した真実の理由であった。五年間も金星のその地域の高空で硫化物の集中がしだいに衰えたとNASAは公表したのである。

この調査研究の結果、これは地球の火山活動に全くよく似たものだということになつた。その場合、膨大な量の硫化物を含むガスが爆発中に大気中に放射され、つづいて数年間にゆつくりと拡散するのである。

以上のことから、一九七九年の初期の結果に関して学ぶべきレッスンがある。これは完全な状況を把握しないで

## 自転周期のカギとなつた

大溪谷

パイオニア1号によるレーダー地図

作製は一九七九年に完成した。そして金星地表の高地と低地の地理学的な立体地図がNASAの科学者によつて描かれた。これはソナー（水中音波探知機）によつて地球の海底の広範囲な地形の特徴を特定する作業と似ているだろ。海底の山や谷が、こうした特徴を物理的に見ることなしにソナーによつて突き止められるのだが、これはパイオニアが金星の広汎な地表の特徴を地図化するのと似ている。

金星上の著しい発見の一つは、赤道付近の一四四〇キロの長さを持つ大溪谷である。これは五キロ前後の深さと二四〇キロの幅があると見積もられた。その大きさは地球の中部太平洋海溝や火星のヴァレス・マリネウスと呼ばれる地帯に匹敵するものである。

これより三年前、カリフォルニア州ゴールドストーンから地上基地のレーダー探索により、この大溪谷はすでに発見されていた。この探索に関する新聞記事を私は持つてゐるが、次に掲げるのは一九七六年に出たジェット推進研究所の報告の抜粋である。

「金星で見られる最も驚くべき特徴はその惑星の赤道に沿つて存在する巨大な海溝のような渓谷である。その長さは一三六〇キロ、幅は一四五キロ、深さは一・六キロ以上もある。この大溪谷は火星のヴァレス・マリネウスや地球の東アフリカの割れ目地形に著しく似ている」

金星地表の高地と低地の地理学的な立体地図がNASAの科学者によつて描かれた。これはソナー（水中音波探知機）によつて地球の海底の広範囲な地形の特徴を特定する作業と似ているだろ。海底の山や谷が、こうした特徴を物理的に見ることなしにソナーによつて突き止められるのだが、これはパイオニアが金星の広汎な地表の特徴を地図化するのと似ている。

金星上の著しい発見の一つは、赤道付近の一四四〇キロの長さを持つ大溪谷である。これは五キロ前後の深さと二四〇キロの幅があると見積もられた。その大きさは地球の中部太平洋海溝や火星のヴァレス・マリネウスと呼ばれる地帯に匹敵するものである。

金星の自転が極端に遅いという説によれば、地球と金星が太陽と一列に並んで互いに最も接近したときは、金星の同一面が常に見えており、その持続期間中は同じ“表側”が見えづけるという。したがつて地球からのレーダーによる探査中は、金星の“裏側”は見えないはずである、とNASAの科学者は言う。

私はファイルから二種類の報告を取り出して、パイオニア・オービターにによる金星の完全なレーダー地図をチェックしてみた。この金星のグラフィック立体図はサイエンス・ニュース誌に掲載されたものである。

結局これまで次のこと事が分かつた。実際ににはゴールドストーンのレーダーによる探査もパイオニアの探査も同一の大溪谷を発見したのだ。そしてもう一つ重要なのは、それが同一の渓谷であつたために、(間違つた)『遅い自転』説に対して大打撃を与えたのだ。

しかしながらパイオニア・オービタによる地形図作成にあつた科学者は達は、前記の二種類の探査によつて異なる二つの大溪谷が発見されたのだという絶対的な確信を持っていると表明した。というのは彼らの宇宙探査機は、それ以前のレーダーによる“表側”的な探査を行なつてゐるあいだ、金星の目に見えない“裏側”を探査していたからだというのだ。

金星の自転が極端に遅いという説によれば、地球と金星が太陽と一列に並んで互いに最も接近したときは、金星の同一面が常に見えており、その持続期間中は同じ“表側”が見えづけるという。したがつて地球からのレーダーによる探査中は、金星の“裏側”は見えないはずである、とNASAの科学者は言う。

私はファイルから二種類の報告を取り出して、パイオニア・オービターにによる金星の完全なレーダー地図をチェックしてみた。この金星のグラフィック立体図はサイエンス・ニュース誌に掲載されたものである。

問題の一四四〇キロもある大溪谷の位置をチェックしたいと思う人にとって、それはサイエンス・ニューズ誌のカラーリスト図の経度一七〇度、南緯二〇度の位置にあり、ダリ・チャズマと命名されているのが分かる。ゴールドストーンとパイオニアの両方のレーダーによる探査は大溪谷の位置を詳細に伝えているので、地図上の他の特徴ある地形と混同してはならない。

パイオニアの報告は大溪谷が赤道の南約二〇度の地域にさつと東西に走っていると伝えている。一方、先に行なわれたゴールドストーンの報告は大溪谷が赤道付近にあると言い、さらに南北に向かつてシャープな形をした幅の広い円形の特徴を示すことを発見したと称して、その位置を突き止めた。これは(パイオニアの)グラフ上でアルテミス・チャズマと名づけられている。

## 宇宙線が電子部品に影響を与えた?

以上の二種類の探査によつて同一の大溪谷が発見されたことが明白になつてゐているのかは全く分からぬ。だらこソパイオニア担当の科学者連は最初に別々の大溪谷を発見したと思つたのだ。だが実際に、もしその大溪谷連によつて疑問視されるようになつた。しかし私は、大溪谷の位置に関する初期の誤りが根本的に間違つた自転説のためにあつたことを、どこで科学者ががパイオニアのいわゆる裏側に正しく位置していたとすれば、ゴールドストーンのレーダー科学者連も一九七六年の短期観測期間中に金星の両面を見ることが出来たということになるだろう。これは二四三日の自転説に従えば不可能なことである。

問題の一四四〇キロもある大溪谷の位置をチェックしたいと思う人にとって、それはサイエンス・ニューズ誌のカラーリスト図の経度一七〇度、南緯二〇度の位置にあり、ダリ・チャズマと命名されているのが分かる。ゴールドストーンとパイオニアの両方のレーダーによる探査は大溪谷の位置を詳細に伝えているので、地図上の他の特徴ある地形と混同してはならない。

パイオニア2号は一二月九日に金星へ到着した。この宇宙船は接近するに付れて五種類の機構を作動させるよう計画されていた。金星大気に入りて調査するためである。

報告によれば、長さ二・四メートルのドラム缶型輸送用“バス”は予想どおり大気突入後すぐに燃えたが、他の四種類の探査機器は約二〇〇キロの高度から五五分後に金星地表にそれぞれ着陸したという。各機器の着陸地点は広く離れてしまい、そのうちの一つだけが地表からデータを送信することができたと報告された。全部の観測機器が急速な降下中ににぎしかの観測結果を送り返したが、サンディエゴの新聞によると、「五種類の観測機のすべて

が完全に作動した」という。技術と軌道修正は完全に行なわれたけれども

“科学的な解釈”は同じ高尚な記述とどうしても一致しないのである。

パイオニア2号が金星に到達したとき、金星は地球から五四四〇万キロ離れた。輸送バスは大きくて重い二個の分光計とガス色層分析計を積んでいた。二分間の下降中に四八〇キロから一二〇キロにわたる大気を急速に分析するためである。一個の分光計は大気の成分の密度を測定し、他の機械は金星の電離層内の物理化学的作用を特定するよう作られていた。

電離層内の作用は太陽風の影響と関連がある。太陽風は太陽から放射される各種のガスの流れであり、荷電粒子でもつて諸惑星を直撃する。ガス色層分析計はたぶん一二〇キロ付近の金星大気の中間点からとったと思われる記録を伝えた。

金星大気に突入する際に輸送バスから分離した四個のパイオニア観測機器は、五五分間の突入期間に全部生き残つたらしい。その内の最も大きな機械は降下の一部でパラシュートを用いて金星の脇の側の赤道付近に着陸したが、着陸と同時に電波通信は途絶えた。他の三個の装置は小さくて同一の構造になっていた。パラシュートを用いなかつたが、それらも五五分後に地表に激突したといわれる。その一個は北半球の極地帯付近に着陸した。二番目

の装置は脇の側の南半球に降下し、三番目は夜の側の南半球に着陸した。

四個の観測機器のすべてが大気の構

造、雲の分子、熱分布等を測定するための科学的な装置を搭載していた。

分速三・二キロという急速な突入のあいだに、いかに正確な観測記録が得られるかは推測の問題である。しかしNASAの科学者連はそのデータを急速に分析し、雲、風、その他の“特徴”について公表した。彼らはその観測記録類が全くの正確なものではなかったかもしないことを認めた。観測機器類を直撃する宇宙線が各装置の電子部品に影響を与えたと思われるからだ。

報道陣に最初の報告を伝えた後、この探査に関する最後的な結論は、すべてのデータが分析されるまで出されないだろうと科学者連は述べている。

四個の観測機器は激突後は機能を果たさないものと思われていた。しかし一個の装置が機能したという事実は、NASAによれば驚くべき発達であった。NASAによれば脇の側の小さな観測機は、着陸後六八分間強い信号を送信しつづけたという。この“発達”は彼らの最新の（そしてしばしば繰り返された）金星地表状態に関する主張に正当性を与えたらしい。他の三個の観測機は激突時に死んだと報告されている。

## 欺瞞宣伝に一役買つた ヒューズ社

パイオニア探査機を設計製作したのはヒューズ航空機会社である。同社は

自社のための大がかりな促進広告をしてこの探査プロジェクトを利用し、次のような大見出しを出した。

「探査は果たして不可能か？ これはヒューズ社のためではない」

同社の広告とおりの仕事は、金星の焦熱の温度、押しつぶすような気圧、硫化物の雲などに耐え得る宇宙探査機を建造することにあった。そこで探査機は一平方インチにつき一四〇〇ポンドの圧力に堪え得る特殊なチタンの胴体を持つ耐圧船として建造されたのである。この圧力は地球の海の九〇〇メートルの深さにおける水圧に等しい。

もちろんこれはNASAのプロジェクト職員を含むあらゆる人が信じるよう仕向けられた事である。NASAはこのような要求をしつこく主張した

しかしここで金星着陸船によるソ連の成功を考慮することは全く暴露的であるかもしれない。一九六七年のベネラ4号にさかのぼるソ連の初期の探査機は、アメリカのような頑丈な設計明細でもつて作られたものではない。しかもそれらは金星地表に到着後、いくらかの情報を送信することが出来たのだ。

ソ連はNASAよりも一年も早くもろもろの業績をあげ始めたとき、特殊な過剰設計のチタンの船体などを必要とはしなかつたのである。たしかに、もしかしたら金星表面に実際に存在するものならば、ソ連はるかにもろい探査機は瞬時に機能しなくなるだろう。そうなると、なぜNASAは特殊なチタン製探査機を契約し、促進したのだろうか。人の反

成功は設計しそぎの部分によって邪魔されることはないだろう。実際にはヒューズ航空機会社と連携したNASAの計画に対しても見落としてはならない“おまけ”があつたのである。

“金星の大気を生き抜くための部品類を製作するのに自社の技術をうるさく宣伝したヒューズ社の促進広告は、金星に関して大衆に誤った観念を植えつけるのに絶大な役割を果たしたことだろう。

## ソ連は金星の知的生命体を知つていた？

の成功を考慮することは全く暴露的であるかもしれない。一九六七年のベネラ4号にさかのぼるソ連の初期の探査機は、アメリカのような頑丈な設計明細でもつて作られたものではない。しかもそれらは金星地表に到着後、いくらかの情報を送信することが出来たのだ。

ソ連はNASAよりも一年も早くもろもろの業績をあげ始めたとき、特殊な過剰設計のチタンの船体などを必要とはしなかつたのである。たしかに、もしかしたら金星表面に実際に存在するものならば、ソ連はるかにもろい探査機は瞬時に機能しなくなるだろう。そうなると、なぜNASAは特殊なチタン製探査機を契約し、促進したのだろうか。人の反

対を無視するようなこの問題の核心は、「計画を遂行せよ」であつたと思われる。

バイオニア2号が金星に到着してから二週間後に、ソ連のさらに二機の探査機が軟着陸して、金星表面に関する知識をかなり広げた、とニュースが伝えた。ベネラ11号は九五分間にわたつて情報を送り返したし、ベネラ12号は一一〇分間送信した。どちらの着陸船も写真撮影装置を搭載していたが、しかし写真類はソ連政府によって公開されていない。

ベネラ11号も12号もヴラディーミル・レーニンとソ連国旗の浅い浮き彫りの額を運んでいる。NASAが公表したように、もし金星の九〇倍もの気圧と高温、それに腐食するような環境の中に入れば、あらゆるものが完全に破壊されるというのに、ソ連がこのよううに慎重に準備された金のかかる余分の物を送り込めば、センスのないことになるだろう。それはあたかも偉大な画家に美しい絵を描かせて金を払い、あとで焼却炉にその絵を投げ入れてしまうようなものだ。

結局、ソ連の探査機に特別な額類を搭載したのは、次のような結論を強力に示唆しているのだ。  
「ソ連の宇宙開発計画の裏には、こうした人工品が長期間保たれることと、彼らの着陸船は金星上の知的生命体によつて発見されるだろう、という眞実の信念を再度論じたいのである。

## 学説第一主義の米科学界

信念が存在しているからである」

アメリカの惑星探査が完全に停止していたあいだ、ソ連は金星の調査を続行した。ソ連人は地球へ来るUFOのホーム惑星を探求しようという動機に間違いなく駆られていたのだ。

一九八二年三月、別なソ連の惑星探査がベネラ13号と14号によって金星への旅を完了した。それらの各着陸船は二時間以上も信号を送り返した。(これで金星に着陸したソ連の探査機は合計一二機になる。あとの八機はすべて軟着陸している)

この13号と14号はいずれも金星地表の土を集めて分析する装置を積んでいたし、また各着陸船はカラー写真を撮影できる一対のカメラを搭載していた。

報告によれば多数の写真が撮られたといふが、アメリカの科学者には予備的な発見物に関する大ざっぱな報告と共にたつた一枚の写真が公開されたにすぎない。

眞実の決定的データが不足していることは、アメリカの科学者にとって問題にはならない。彼らは常に多量の理論を急いで公表したり、ポンサーアカデミーの報告に従つて、自分達の長く抱いてきた信念を再度論じたいのである。

惑星の環境に関する科学論文を深く分析してみると、結局、学説第一主義にもとづいていることが分かる。のように見えるが、知識のある宇宙研究家には退屈な立証できないわざとすぎない。

科学的見地からすれば、われわれの宇宙関係情報は一周して元にもどつたのである。金星への探査機は、一九六二年のマリナー2号から一九八二年のベネラ14号に至る二〇年間に、さまざまの注意を喚起してきた。わが地球上のUFOは、一九四七年から一九八七年までの四〇年間に永続的な注意を浴びてきた。しかも彼らはまだここにいるのだ。

宇宙の発見事や惑星の情報の背後にひそむ真相を自分で究めるのは個人にまかされている。

次のこと理解されねばならない。権威者は真相をばかすための多くの理説を支えることが政治的、経済的に都合がよいという考え方に関連している。由を持つているけれども、そのすべては別な惑星の生命の存在を否定する学説を急いで公表したり、ポンサーアカデミーの報告に従つて、自分達の長く抱いてきた信念を再度論じたいのである。

金星の大気の上層部は大空である。この雲の多い状態は大気レベルまたは層の中に見られるような濃密な毛布ではない。この大空は可視光として現れる太陽の電磁スペクトルをさえぎらないが、地球の大気よりもっと効果的に有害な宇宙線を遮断しているのである。金星の地表に最も近いところに生命を維持する対流圏がある。金星の大気の九〇パーセントはこの地域に含まれている。これは地球の対流圏に見られる酸素と窒素から成る大気の構成と同じである。(46頁へ続く)

惑星の環境に関する科学論文を深く分析してみると、結局、学説第一主義にもとづいていることが分かる。ようとする新しい世代の科学者達を迎えるまでは、宇宙の諸状態を充分に理解するのに必要な知識を確保する方法はないかも知れない。

## 金星は地球と同じ環境?

金星に関して否定的な間違ったイメージが流れ、あまりにもしばしば繰り返されてきたために、それが大衆の思考パターンの中に「認められた事実」となつたからには、この章の中で少なくとももう一度金星に関する眞実の記述を繰り返すべきであると感じる。そしてもし口外することが自由であるならば、政府の惑星探査に関する人達は以下の情報をきわめて容易に確認できるだろう。

金星の大気の上層部は大空である。この雲の多い状態は大気レベルまたは層の中に見られるような濃密な毛布ではない。この大空は可視光として現れる太陽の電磁スペクトルをさえぎらないが、地球の大気よりもっと効果的に有害な宇宙線を遮断しているのである。金星の地表に最も近いところに生命を維持する対流圏がある。金星の大気の九〇パーセントはこの地域に含まれている。これは地球の対流圏に見られる酸素と窒素から成る大気の構成と同じである。(46頁へ続く)

## Letters

# ユーノン広場



### 素晴らしいかった南九州 支部大会

鹿児島市 曽我部くみ子

南九州支部大会が開催されてから早いもので一ヶ月目に入ろうとしています。薩摩会として発足しました。

それが約二年五ヶ月を経て第一回南九州支部大会開催の運びとなりました。みんなで協力して一つの事を成し遂げてゆくということに、すぐ意義を感じました。

久保田先生と遠藤さんのご講演をこの鹿児島で拝聴出来ましたことは本当に夢のようです。翔ぶが如くの放映も重なってということもあるでしようが、西郷さんの話題も豊富に語られて、とても興味深いものでした。夕食会、二次会、市内観光もとても楽しいひとときでした。ゆつたりとした気分で過ごすことが出来て幸せそのものでした。

GAPの会合に出席したときにはいつも高い波動に包まれて、いつも自分の自分とは全く違います。ふだんもこの良い状態を保つことが出来ればと思います。

今日、五月二〇日(日)のこちらの月例会はとつても活気満ちていました。オーラ透視の練習などはすごく楽しい気分で出来ました。これからも一生懸命頑張りたいと思います。お礼の方が遅くなりましたが、今回の支部大会におきましては本当

投稿歓迎 字数を問わず。匿名発表可なるも住所氏名明記のこと。

にありがとうございました。今までと変わりなくよろしく指導のほどをお願い致します。

### キーホルダーを

岡山市 金政偉智郎

アダムスキーキー氏の思想や哲学に触れて、少しづつながら私なりに理解するほどに氏の哲学や思想の深さというものをとても強く感じています。そしてこの思想は私たちを大変親切に、しかも美しい言葉でもって、ある一定方向へ導いてくれているのです。もし思想に射程距離というものがるとすれば、氏の思想の到達地点は――?

そしてこの中心へ向かっての射程の正確さと深さには自分の無知を思はれられます。ですから同時にいつもともと知りたいと思うわけです。

GAPの会合に出席したときにはいつも高い波動に包まれて、いつも自分の自分とは全く違います。ふだんもこの良い状態を保つことが出来ればと思います。

さてさてここまで書いて閃いたことがあります。それは「カギ」という部分のことについてですが、この「カギ」と聞いてキーホルダーを思い浮かべるのは変でしようか。そう、GAPグッズとしてGAP特製キーホルダーを作つて欲しいと考えた僕

はどこか変でしょうか。毎号毎号UFO contactee誌に見る美しいデザインには「久保田美学」と呼べるものでつらぬかれているんですね。このセンスでGAPシンボルマークなどがついた素敵なキーがあります。このセンスでGAPシンボルマークを作つて欲しいのですが

このキーホルダーには私達の地上の生活にとても役立つてゐる幾つかのキーと、目には見えないけれども偉大な力と英知を持つた「天国へのドア」をあけるもう一つのカギが付くことになるでしょう。

このキーホルダーには私達の地上の生活にとても役立つてゐる幾つかのキーと、目には見えないけれども偉大な力と英知を持つた「天国へのドア」をあけるもう一つのカギが付くことになるでしょう。

その後少し冷静になつたところで付くことになるでしょう。

友達の家で初めてUFOを見たのです。本当に素晴らしい体験をしました。

この世に比類のない書物

米ニュー・ヨーク市 ティビッド・ウェイツツ邦子

いつもUFO contacteeを楽しく読ませていただいております。その後はお元気でお過ごしのようで当方ももうれしく思います。

久保田様の訳されたアダムスキーキー全集は、読みれば読むほど内容の深さに圧倒され、この世にこれ以上の本はないのではないかと思われます。

本当にこの本を我々に紹介された事の意義には測り知れないものがあるのではないかと思ひます。本当にあります。

テレパシーでUFOを見る私

東京 松葉佳子

私は東京月例会出席三度目の今日、

五月一三日、日本GAPに入会致しました。今年一月一六日、一本の電話で、長い年月をこの道一筋にご活躍なさっている久保田先生とGAPの存在を友達から聞きました。

それと同時にアダムスキーキー全集を

私は読みづけて、今までの人生の中でこんなに夢中になつた覚えがないほどに時間のたつのも忘れて、驚きの連続で、本誌、友達との電話等、読むもの、聞く物、見る物、聞く事のすべてにこの数カ月を過ごし、あまり夢中になつて本を読みあさつたため、ある日、右目の上まぶたが真っ赤に腫れ上がり、眼科に駆け込みました。

その後少し冷静になつたところです。本当に素晴らしい体験をしました。

友達の家で初めてUFOを見たのです。本当に素晴らしい体験をしました。

その後少し冷静になつたところです。本当に素晴らしい体験をしました。

友達の家で初めてUFOを見たのです。本当に素晴らしい体験をしました。

この世に比類のない書物

米ニュー・ヨーク市 ティビッド・ウェイツツ邦子

いつもUFO contacteeを楽しく読ませていただいております。その後はお元気でお過ごしのようで当方ももうれしく思います。

久保田様の訳されたアダムスキーキー全集は、読みれば読むほど内容の深さに圧倒され、この世にこれ以上の本はないのではないかと思われます。

本当にこの本を我々に紹介された事の意義には測り知れないものがあるのではないかと思ひます。本当にあります。

テレパシーでUFOを見る私

東京 松葉佳子

私は東京月例会出席三度目の今日、

五月一三日、日本GAPに入会致しました。今年一月一六日、一本の電話で、長い年月をこの道一筋にご活躍なさっている久保田先生とGAPの存在を友達から聞きました。

それと同時にアダムスキーキー全集を

本当にびっくりして、思わず子供の名前を呼びました。ジッと動かないオレンジのビームは、ゆっくりと左の方に移動しました。胸は早鐘のように鳴り、私は思わず左の方向に駆け出しながら、「あれは何だろう? もう一度見たい」と思ったそのとき、オレンジのビームがまた左から右の方にユラーという感じで飛んできました。私の驚きは言葉では言えません。

次いで七日、八日と三夜づけてUFOを見ました。だんだんと確信が出来て友達にも話したくなりました。見たこともないUFOを見たいと集まつた友達は、それぞれ自分の目で見て、春休みはお互いに家庭にいながら庭に出たりして、このUFOの観察は現在もつづいています。

清水水が流れるように私達の周囲はUFOの美しさ、未知の物に対するあこがれ、知らなかつた事に対する驚きとともに、宇宙の果てしないもろもろの問題に久保田先生達の今までの努力がどんなにかご苦労のことであったでしょうにと、さまざまに頭の中をかけめぐりました。

そしてこの五月のゴールデンウイークには私の広島の実家で両親の金婚式に金星からのUFOを

呼ぶたいと願つたのです。広島の実家は山あいに囲まれた、本当に静かな山村にあります。

四月二九日午後七時半、一〇分ほどテレパシー送信をしましたが、なんだか「こんな所に?」というなんともいえない気持ちになつて家の中にさつさと入ってしまいました。

東の空を見ていると、桜の花の隙間からオレンジの強いビームが私の目の高さの所で、「ここだよ」と言わぬばかりに光っているのです!



## 第1回南九州支部大会

えつづること。(2)実現したイメージを強烈に鮮明に描きつづける。

BIIアダムスキーフィルモントは万物は絶対に善である。なぜなら万物の中に宇宙の意識が存在するからである。以上の事を確信することにより、自分の人生に良き物事を引き寄せる事ができる

実感した。また明治維新で活躍した西郷南州はじめ偉人英雄などについて遠藤氏が透視された結果、やはりスペ

ースプログラムに基づく内容であることを等を話された。

つづいて東京本部役員の遠藤昭則氏によるテレパシー開発指導が行なわれた。東京の月例研究会と同じ内容で、具体的に直接指導を受けて非常に大きな励みになった。質疑応答も最後まで熱心につづいた。

大会終了後、サンロイヤルホテルの『藤の間』で夕食会が行なわれ、薩摩の焼酎を酌み交わしながら歓談の輪が広がり、親睦を深めた。

翌三〇日の観光も快晴に恵まれた。桜島は今年すでに四〇数回の噴火を繰り返し、当日も小規模の噴火のため全員灰まみれになつたが、一同元気よく

桜島の奇観を見物した後、島津藩別邸の『磯庭園』を見た。

今日は第一回大会のため、不慣れなことも手伝つて、充分に行き届かなかつたと思うが、大成功に終わつたことは鹿児島の会員の励みとなつた。これで新たな展開の可能性も見えてきた。

今後もさらに大会をつづけたい。両先生と参加された皆様方、有難うございました。

(鶴田清則)



◆写真は上から①久保田会長の講演。②遠藤講師の指導。③夕食会(右端鶴田支部代表)。④大正三年の大噴火で埋まつた桜島の鳥居。⑤噴火する桜島をバックに展望台にて。(撮影/鶴田寛明)

曾我部副代表の司会で大会が始まる。つづいて久保田先生の「宇宙哲学と奇跡発生法」と題する講演の中で先生自身の不思議な体験と経験を交えながら、分かりやすく実例をあげて話された。

人生において奇跡を起こすには A II技術的なテクニックとして次の事が必要である。(1)ミラクルワードを唱

宇宙的思想についても触れられ、アダムスキーフィルモントの共通性を再確認し、一二〇年前の郷土の大先輩の偉大さを

このような内容は平素から解説講義のテープや本等で幾度となく紹介されているが、やはり身近に拝聴すると、あらためて話の重要性が身にしみてくる。

今日は特に鹿児島の生んだ大西郷の

宇宙的

思想についても触れられ、アダムスキーフィルモントの共通性を再確認し、一二〇年前の郷土の大先輩の偉大さを

翌三〇日の観光も快晴に恵まれた。

桜島は今年すでに四〇数回の噴火を繰り返し、当日も小規模の噴火のため全員灰まみれになつたが、一同元気よく

市民文化ホール」において四月一九日に第一回の大会が開催された。第一回ながら三〇名に達する皆さん方が九州各県から参加して下さり、大盛況であった。やはり地方会員にとっての支部大会は、両先生に接する絶好の機会なのである。

曾我部副代表の司会で大会が始まる。つづいて久保田先生の「宇宙哲学と奇跡発生法」と題する講演の中で先生自身の不思議な体験と経験を交えながら、分かりやすく実例をあげて話された。

人生において奇跡を起こすには

A II技術的なテクニックとして次の事が必要である。(1)ミラクルワードを唱

宇宙的

思想についても触れられ、アダムスキーフィルモントの共通性を再確認し、一二〇年前の郷土の大先輩の偉大さを

翌三〇日の観光も快晴に恵まれた。

桜島は今年すでに四〇数回の噴火を繰り返し、当日も小規模の噴火のため全員灰まみれになつたが、一同元気よく

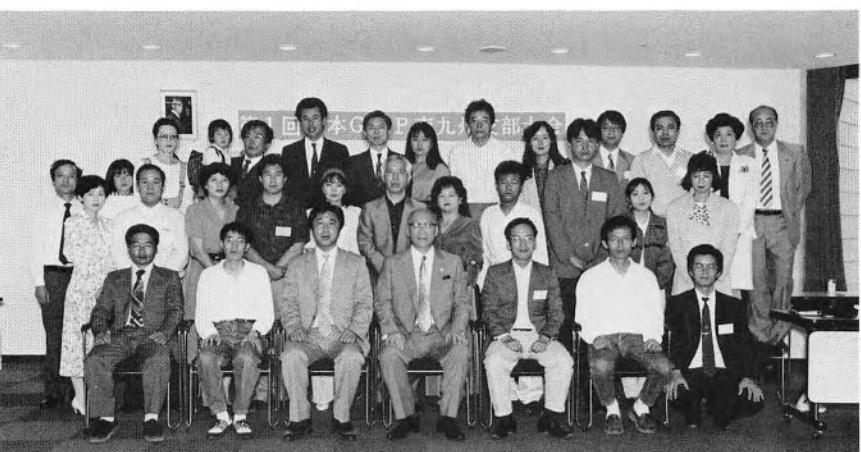
桜島の奇観を見物した後、島津藩別邸の『磯庭園』を見た。

今日は第一回大会のため、不慣れな

ことも手伝つて、充分に行き届かなかつたと思うが、大成功に終わつたことは鹿児島の会員の励みとなつた。これで新たな展開の可能性も見えてきた。

今後もさらに大会をつづけたい。両先生と参加された皆様方、有難うございました。

(鶴田清則)



## 第11回仙台・山形合同支部大会

にお話しされた。なんといつても『絶対善』の話は圧巻だった。

日本GAP仙台・山形合同支部大会も回を重ねること一回となつた。過去一〇回の大会も、それぞれ思い出があるが、今回の大会は忘れ得ぬ素晴らしい大会となつた。

五月四日、仙台市の片平市民センターには予想を上回る出席者がつめかけていた。総勢四七名。過去、最高の出席者である。天候はあいにくの曇空。今年は東北地方全般にこの時期としては珍しいほど雨が多い。

午後一時、柴田文子さんの司会で開会され、いよいよ日本GAP会長・久保田八郎先生のご講演が始まつた。奇跡を起こすミラクルワードとイメージ法の実践と実例。「誠実に楽しく」生きる重要性等々、深遠な内容を明快

もつと研究を深めたいという方は、とにかく直接先生のお話を聞く事を私はお勧めしたい。

また、現在、超能力やUFO問題についてさまざまな情報が流れ飛び、一体何が本当なのか分からぬような状態になつてゐる。何を基準にすればよいかという問題で、久保田先生はアダムスキーの書物を基準にすることの重要性を強調された。

休憩後、遠藤昭則氏によるテレパシー開発指導が行なわれた。地方の我々

にとつて本物の超能力者から指導を受けられる貴重な体験となつた。

質疑応答では久保田先生と遠藤氏が多数の質問に答えられ、また医学的な質問に対しても群馬から出席された会員の原ドクターに特に回答を願つた。定刻五時に大成功裡に大会が終了した。

午後六時からは場所をワシントンホテルのオリーブの間に移し、和気あいあいたる雰囲気のなかで、佐藤春雄氏の素晴らしい民謡、お楽しみ福引きなどで親睦を深めた。

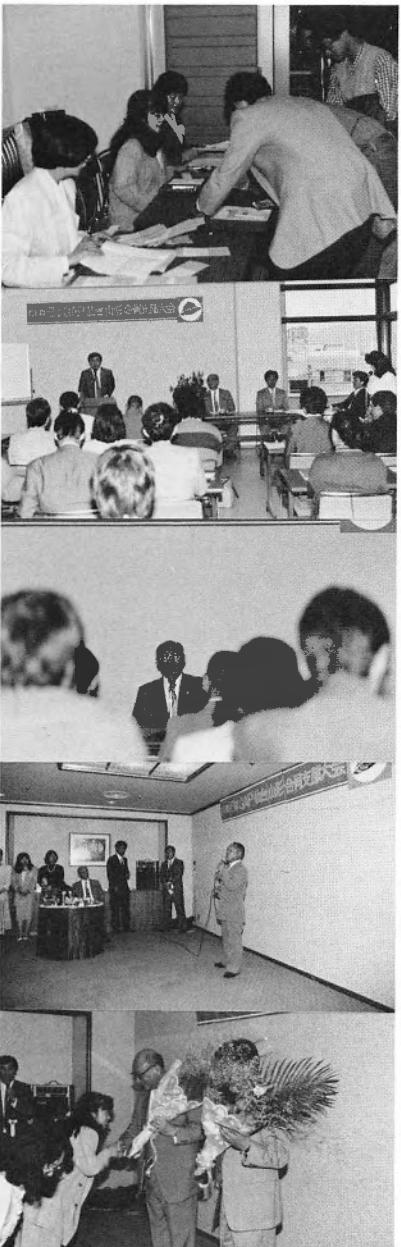
翌日は松島の国宝『瑞巌寺』、仙台市博物館などを周遊し、歴史散歩に繰り出した。時折、小雨がパラつく天候だったが、このため逆に人出が緩和され、車の渋滞が少なくて、円滑に計画が進行した。

宇宙的大講演を頂いた久保田先生、

遠藤氏、その他の方々に心から感謝の意を表する次第である。

来年度は場所を変えて山形市で開催する計画をすすめている。今年と同じ五月の三連休を利用すべく、すでにGAP本部へ申し込んである。立派な大会を開くつもりなので、またも多数ご出席の程を今からお願いしておきたい。

(笠原弘可)



▲上から①会場受付②笠原代表の挨拶③久保田会長の講演④夕食会における佐藤春雄氏の秋田民謡独唱⑤両講師に花束贈呈。

撮影／松村芳之



## 第四回長野支部大会

第四回長野支部大会は快晴に恵まれた六月四日に、松本郊外の名高い浅間温泉『みやま荘』で開催された。出席者数を心配していたが、フタをあけてみると満員の状況となり、一息ついた。

大会は中村公一副代表の司会で始まり、支部代表の挨拶の後、久保田先生による『宇宙的能力の開発と絶対に安全に生きる方法』と題するご講演を頂いた。

先生のお話は、常に日常生活の中で実践してこられており、毎回説得力に富んで素晴らしいものであった。今回は万物は一体であるという点についてより深いご教示を受けることができた。そして安全に生きる方法については、「万物は絶対に善である」という認識のもとにこのフィーリングを高めるならば、波動が異なるために悪が寄つてこないのであるという事を力説された。

実際に単純明快なことなのだが、これが実に難しい。久保田先生の迫力に意を強くした次第である。また物事を行なうのに誠実さが必要であることや、常に楽しい気分を保つづけることを強調された。あらためて信念の重要さを痛感した次第である。

つづいて遠藤昭則氏による超能力開発の実技指導が行なわれた。短時間ではあったが、最近のUFO目撃談のあと、東京セミナーで指導されたテレパ

シー練習をそのまま指導頂き、中身の濃いものとなつた。

お話の中で、熱心にスペースピープルに呼びかけをすれば答えてくれるとのことや、毎日の練習が能力開発のカギであると説明され、一同目を輝かして聞いていた。

大会も自己紹介、質疑応答とつづき、大詰めとなつたところで、巨大な母船と思われる物体を間近で見たという方の目撃発表が行なわれて大会に花を添えた。この件の詳細な発表は後日予定している。

五時に大会が無事終了し、六時より夕食会が始まる。和気あいあいたる中を食べ切れぬご馳走を残してホテルの大部屋で二次会に移り、地元産の特殊なワインとブランデーを賞味しながら楽しい語らいで夜を過ごし、一時に解散した。

翌日は薄曇りながらも天候に恵まれ、絶好の行楽日和のなかを、早朝バスで出発し、富山県の黒四ダムへ向かう。ダムの玄関口である扇沢に一〇時に当

着後、トロリーバスでダムに出る。人間の偉大な創造力によつて建設された巨大なダムの上を歩くと、当時ここで働く述べ数十万人の人たちの熱意が伝わってくる。その後、安曇野に寄つて、大王わさび園で小憩する。

この観光で人間の偉大さを再確認、素晴らしい一日をすごすことができた。ご出席下さつた方々に厚く御礼を申し上げる次第である。

(博田文喜)

今日は大会当日の午前中、松本空港へ案内して頂いた。ここは太平洋戦争末期に私が所属していた松本航空隊の爆撃機基地があつたところで、四五年ぶりの再会である。広い草原に昔の面影が若干残つているが、周囲の変貌ぶりに茫然とするのみで、感傷はない。

四五年後にここへ支部大会で来るとは夢想もしなかつた自分の運命を默考しながら佇立する。

終戦直後の昭和二〇年八月二〇日、私は大荷物を背負つて村井駅から復員した。ホームで、私が世話になつた衛

(久保田八郎)

▲上から①松本城をバックに原ドクター一家と久保田②松本空港③村井駅前にて④黒四ダム。

(撮影/田村信雄・博田文喜)



### 日本GAP長野支部大会



# 第3回 秋田・青森合同支部大会

- 日 時 平成2年11月3日(土) 午後1:00→5:00
- 会 場 「秋田県社会福祉会館」9F 第3会議室  
秋田市旭北栄町1-5 ☎0188(64)2700  
※JR秋田駅よりバス10分(山王2丁目下車・  
真向かい)
- 会 費 ¥2,500(全員記念写真代一送料共一¥800は別納)
- プログラム 1:00 支部代表挨拶 伊藤正治・田村嘉彦  
(司会佐藤忠義) 1:10 講演「アダムスキー哲学を生かす方法」  
日本GAP会長 久保田八郎先生  
2:30 全員記念撮影・休憩  
3:10 全員自己紹介・質疑応答  
5:00 閉会

今や国内のみならず国際的アダムスキー研究家として第一線で活躍される久保田先生を久々にお迎えして盛大に支部大会を開催することになりました。親しく先生に接して直接ご指導を頂く絶好の機会です。万障お繰り合わせの上、多数ご出席下さい。両支部会員一同心をこめてあたたかくお迎えし、素晴らしい雰囲気づくりに努力します。

- 夕食会 6:00→8:30(希望者のみ)
- 会 場 三井アー/バンホテル秋田

☎0188(24)4131  
大会会場から徒歩5分

▼秋田県社会福祉会館

- 会費 ¥6,000
- 宿舎 三井アー/バンホテル  
秋田を斡旋。  
秋田市大町2-5-1  
シングル ¥ 6,000  
ツイン ¥10,000

- 観光 11月4日(日)  
男鹿半島寒風山にて  
360度回転展望台により宇宙との一体化  
を体験。参加費未定。

- 申込 大会・夕食会・宿舎・  
観光の申込はハガキ  
または電話で下記へ。  
10月20日頃までにお  
願いします。  
〒011 秋田市山王新  
町15-4  
伊藤正治  
☎0188(62)2381

- その他 11月例会は中止し  
ます。



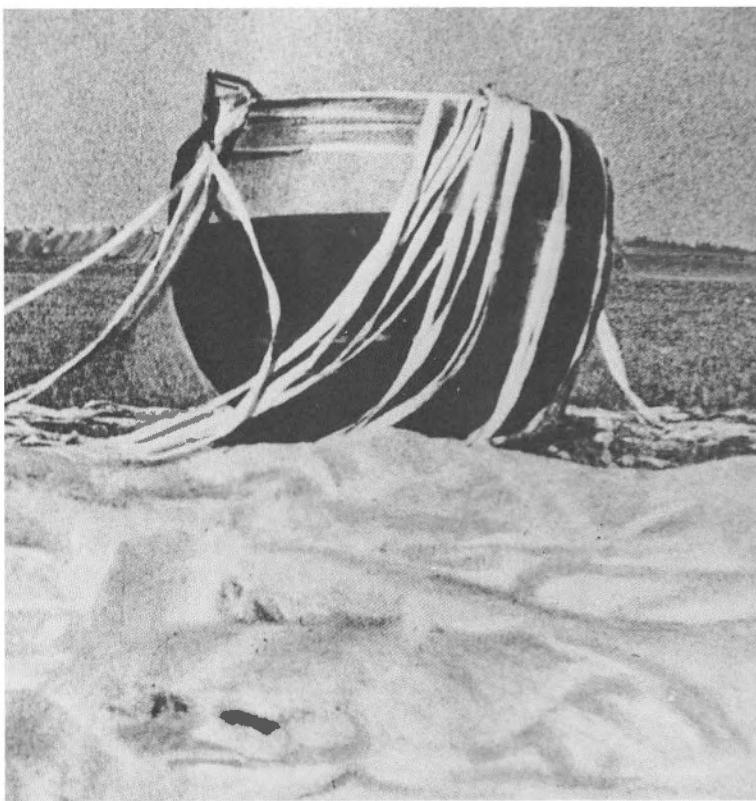
(39頁より)二酸化炭素は金星の対流圈内ではきわめて少ない。

普通の雲や風はこの地域で活発であり、地球と同じような気候をつくりだしている。地表の温度と気圧も地球のそれと似ている。海洋(複数)と多数の湖が地表に存在している。

金星は地球の自転と似たような自転

▲ソ連の金星探査機ベネラ4号の着陸カプセルがパラシュートで着陸した光景。  
〔写真提供：AP〕  
ただし、これは金星ではない。

周期を持っており、金星の一日の長さは二六時間である。地球に住んでいる人なら誰でも金星へ行って、宇宙船の外に降り立つことができるだろう。諸状態が二個の惑星間で類似しているのである。(第10章完。次号は第11章『人間の住む太陽系』)



## 英文版「UFO contactee」No.6

B5/12頁/コート紙使用/¥500(送料¥175/3冊まで¥250)

世界のUFO研究界で注目の的になっている日本GAP発行英文版ユーコンは、Space Brothers派のUFO研究団体や欧米の個人研究家の間でも絶賛。No.6では春川正一氏の宇宙的体験談の連載記事第4回分、アダムスキーの質疑応答、アメリカGAP会長ダニエル・ロス氏のニュースレターからの抜粋、その他有益な記事写真を満載。重要な保存資料となるものです。久保田八郎・坂本貢一執筆の記事を米人学者が校閲。流麗な英文は英語学習用にも好適です。注文は振替か切手(低額)でどうぞ。=日本GAP=

### 編集後記

★新アダムスキー全集刊行は順調に進展して、一息ついでいます。前号に掲載した新全集の広告とは発行順序が変わりましたので、本号の広告をご参照の上、お間違いなきようにお求め下さい。

★本号記事では「UFO・異星人と遭遇体験記」が圧巻です。これはぼう大な量のほんの一一部分です。こうした勇気ある情報提供者が出現するのを本誌は待ち望んでいます。国内には相当数のコンタクトィーが潜伏していると思われますので、今後も発掘をつづけます。

★昨年UFOの情報が混乱し、何が実事か分からぬといふ声をよく耳にしますが、これはやはり自己の内部のテレパシックな印象に従うばかりで方法がないでしよう。UFO問題に関する限り客観的な絶対的基準はない(と思われている)からです。物証主義のこの世界では「見えない」ことは信じられない「主義」が幅をきかせています。それなら外へ出て大空を仰ぎながらUFOを見たらどうですか。そのための指針として「UFOの正体と観測の仕方」を書いてみました。参考になれば幸いです。しかし目撃の成否は本人の価値観を基本とした想念波にかかつっていると言えるかもしれません。難しいところです。

★UFO目撲報告、UFO写真、超能力開発体験、宇宙哲學研究実践、宇宙科学等の原稿や資料を募集しています。原稿書きの苦手な方は面談して下さって結構です(心靈は不可)。

★本誌は多数のボランティアにより全国の主要書店に卸されています。この協力チームに参加希望の方はハガキでお申し込み下さい。(K)

日本GAP機関誌・季刊  
UFO contactee  
編集発行人 久保田八郎  
発行所 日本GAP  
〒133 東京都江戸川区本一色1-12-51  
TEL 03-6511-0958  
※本誌掲載の全記事・写真共、他の印刷物への無断転載を禁じます。  
一九九〇年七月二十五日発行  
定価九十七円(本体九〇〇円・送料210円)  
振替 東京4-35912

1990年度

1990 GAP-JAPAN GENERAL ASSEMBLY

# 新アダムスキーネ全集刊行記念 日本GAP総会

	総会	大夕食会
日時	9月24日(月) <振替休日> 午後1:00→5:30 (12:30開場)	総会終了後 6:45→9:30
会場	<p><b>「銀座ガスホール」</b>            東京都中央区銀座7丁目9番15号            ☎(03)573-1871</p> <p>J R有楽町駅の銀座側下車。駅を背にして右方へ歩き、西武デパートと阪急デパートの間の箇抜け(通称マリオン)を通り抜けて有楽町の大通りへ出ます。左方の銀座通りまで徒步約3分。三越デパート前の十字路を右折し、銀座中央通り(いわゆる銀座通り)を8丁目の方向へ約250m歩くと、左側に「銀座ガスホール」があります(ヤマハ楽器店の左隣)。入口より奥へ行き、エレベーターで6Fへ上がって下さい。有楽町駅より徒步約10分。</p>	<p><b>「ホテル浦島」</b> 2F大ホール            東京都中央区晴海(はるみ)2丁目5番23号            ☎(03)533-5331</p> <p>銀座4丁目交差点の銀座4丁目バス停から晴海埠頭行きのバスに乗り、晴海三丁目で下車。約10分。タクシー約10分。徒步約40分。</p> <p>(ご注意) 夕食会は時間の制限がありますので時間厳守をお願いします。</p>
会費	¥3,800(会場受付でご納入下さい。ハガキで大夕食会の申込をされた方はその代金も併せてご納入下さい) 中・高生は¥2,000、小学生以下は無料。	¥8,000(総会入場時に大夕食会の会費を納入済の方は受付でチケットをお見せ下さい。未納の方は受付でご納入下さい)
プログラム	<p>1:00 司会者挨拶 篠 芳史</p> <p>1:05 講演            ↓ 「分子生物学的に見た『生命の科学』の素晴らしさ」            &lt;スライド映写併用&gt;</p> <p>2:30 ——10分間休憩——</p> <p>2:40 講演            ↓ 「アダムスキーニューヨーク問題の真相と日本GAPの意義」            &lt;スライド映写併用&gt;</p> <p>4:00 ——10分間休憩——</p> <p>4:10 質疑応答</p> <p>5:30 終了</p>	<p>6:45 会長挨拶</p> <p>6:50 中央アート出版社・吉開社長挨拶</p> <p>7:00 乾杯音頭 清水 南            祝宴、演芸</p> <p>9:30 閉会</p> <p>● 演芸はすべてGAP会員のプロ級が出演。佐藤春雄氏(秋田)の秋田民謡、坂本貢一・茂子夫妻(茨城)のアメリカ民謡、升田裕子氏(広島)のフランス歌曲独唱、ロックバンド「スカウトシップ」(枝川文好、他8名・東京)の楽団演奏等、豪華顔ぶれ。●飛び入り出演はお断り。●今年は素敵な賞品があたるお楽しみ福引きも行ないます。</p> <p>●大夕食会終了後、別な料理店で2次会を開催。会費¥2,000~3,000程度。●大夕食会に出席される方は、ある程度きちんとした服装をお願いします。</p>
申込	<p>9月24日夜の大夕食会、宿泊希望の方は下記の要領でお申込下さい。</p> <p>(1)大夕食会=ハガキに「大夕食会出席申込」と記して下記の申込先へ9月21日までにお申込下さい(必着)。            電話でも受け付けます。</p> <p>(2)宿舎=「東京ホテル浦島」をあっせんします。            (大夕食会場と同じホテル)。            東京都中央区晴海2-5-23            シングル ¥ 6,800 (税、サ、食事別)            ツイン ¥12,500            希望者はハガキに①宿泊日②シングル・ツインの別③住所・氏名・電話番号を明記して下記へ9月20日までにお申込下さい。</p> <p>(3)申込先=〒150 東京都渋谷区東3-24-9            サンイーストビル2F            ワールドセブントラベル社            田中 正(宛) ☎(03)499-2461            夜間は田中自宅の (0474)77-4728 へ。</p>	
備考	<p>*総会中の写真撮影は可。講演の著作権は日本GAPに帰属します。</p> <p>*今回は総会翌日が平日で人手不足のため観光は行ないません。ただし都内観光かディズニーランド行きを個人的に希望される方には便宜を図りますから、上記のワールドセブントラベル社の田中宛にご相談下さい。</p> <p>*総会当日は銀座中央通りは歩行者天国となり、自動車は通行止めになりますが、「ホテル浦島」方面の晴海通りは走行可能です。</p> <p>*9月の東京月例会は平常どおり、第2土曜日の9月8日に上野公園の東京文化会館で開催します。</p>	

# 本誌バックナンバー掲載記事目録

\*印は絶版。在庫なし。お申し込みの際は郵便振替にて日本GAP宛て送金下さい。バックナンバーに限り送料は不要です。

No.109

平成2年4月25日発行 ¥900

- 豊かで素晴らしい他の惑星と生命の連続—G.アダムスキー  
UFO、朝霧高原に出現/  
デザートセンター円盤着陸事件(2)——久保田八郎  
強烈に輝くUFOを見た私たち——川野綾子  
オーラ、宝石、超魔術、チャネラー——遠藤昭則/秋山眞人  
「アメリカGAP」発足!——ダニエル・ロス  
UFO-宇宙からの完全な証拠⑪——ダニエル・ロス

No.108

平成2年1月25日発行 ¥900

- 地球へ救援に来るUFOと転生の法則——G.アダムスキー  
奇跡をもたらす「生命の科学」——久保田八郎  
超能力開発の新しい視点——秋山眞人  
潜在意識としてのDNA——N. H. M. D.  
私は巨大な母船を見た——小瀬村美美子  
私についてきた光るUFO——郡司典子  
GAP海外旅行で目撃した数々のUFO——中根 豊  
ロイよ、来て助けておくれ!——久保田八郎  
UFO-宇宙からの完全な証拠⑩——ダニエル・ロス

No.107

平成元年10月25日発行 ¥900

- テレパシー開発法とUFOの実態——G.アダムスキー  
マチュピチュヒナスカの謎——久保田八郎  
私はペリーでUFOを見た——富岡設子  
アダムスキーに会った唯一の日本人(完)——向井 裕  
超能力開発の基礎レッスン——齊藤庄一  
宇宙哲学を生かした超能力開発法——遠藤昭則

No.106

平成元年7月25日発行 ¥900

- 金星から知的メッセージを受けたマリナー2号——G.アダムスキー  
アダムスキーに会った唯一の日本人②——向井 裕  
宇宙哲学で奇跡を起こす方法——久保田八郎  
ヒーリングとテレパシー——遠藤昭則  
テレパシー現象の医学的考察——N. H. M. D.  
UFO-宇宙からの完全な証拠⑨——ダニエル・ロス

No.105

平成元年4月25日発行 ¥900

- デザートセンター円盤着陸事件——久保田八郎/篠芳史/坂本貢一/茂子  
アダムスキーに会った唯一の日本人①——向井 裕  
過去世透視法とその実例②——遠藤昭則  
輝く星々の彼方へ——齊藤庄一  
長野県に巨大UFO出現!——博田文喜  
UFO-宇宙からの完全な証拠⑧——ダニエル・ロス

No.104

平成元年1月25日発行 ¥900

- UFO問題と世界の運命——久保田八郎  
アダムスキーの宇宙的カルマと異星人の援助——アリス・ポマロイ  
デザートセンターで円盤着陸痕跡発見!—安藤澄雄/久保田八郎  
過去世透視法とその実例——遠藤昭則  
UFO-宇宙からの完全な証拠⑦——ダニエル・ロス  
GAP活動の原理——ダニエル・ロス

No.103

昭和63年10月25日発行 ¥900

- アダムスキーの体験は真実だった!——アリス・ポマロイ  
我らの惑星に愛と希望を——久保田八郎  
カイロ上空に輝くUFOが出現——伊東芳和  
私のUFORコントクトと宇宙的自覚め——富岡設子  
UFO-宇宙からの完全な証拠⑥——ダニエル・ロス

No.102

昭和63年7月25日発行 ¥900

- UFO目撃で驚嘆、大変化した私——後藤泰二  
仙台市上空にUFO長時間出現——遠藤昭則  
富士山周辺でテレパシーに応えるUFO群——長沼宏志  
ミラクルワードとイメージ法で奇跡を起こす——田中 正  
良い想念であなたの環境は良くなる——ダニエル・ロス  
UFO-宇宙からの完全な証拠⑤——ダニエル・ロス

No.101

昭和63年4月25日発行 ¥900

- 宇宙的家族のUFO目撃の日々——坂本茂子  
精神的指導者に対する警告——G.アダムスキー  
円盤の窓から手を振る「異星人」——齊藤庄一  
長野県に出現したUFOの大群——博田文喜  
頻繁なUFO目撃と超能力体験——佐々木八郎  
UFO-宇宙からの完全な証拠④——ダニエル・ロス

No.100

昭和63年1月25日発行 ¥900

- UFO問題とアダムスキー——久保田八郎  
富士山二合目から目撃したUFO——遠藤昭則  
私はこうして超能力を開発した——坂本正廣  
アメリカの不思議な土地——水野和彦  
UFO-宇宙からの完全な証拠③——ダニエル・ロス

No.99

昭和62年10月25日発行 ¥700

- UFO-宇宙からの完全な証拠②——ダニエル・ロス  
中山湖畔で空中を飛んだ自動車!——清水 南  
富士山にUFOが大群出現——清水敏恵  
(写真)大分市上空のUFO——久保田八郎  
アダムスキーの大地とマヤの国へ——久保田八郎

No.98

昭和62年7月20日発行 ¥700

- 木星の衛星イオに古代都市跡を発見!/  
UFO-宇宙からの完全な証拠①——ダニエル・ロス  
静岡市上空にUFO頻繁に出現——遠藤昭則  
太陽系惑星にまだ仲間がいる?——片岡 豊  
連夜のテレパシー送信に応じて出現した円盤——片岡 豊  
万物の実体と想念の重要性——知念清邦  
私は別な惑星へ行ってきた!(最終回)——春川正一

No.97

昭和62年4月20日発行 ¥700

- 驚異の「生命の科学」と円盤大接近——伊藤達夫  
八王子市でUFOを撮影——降旗和彦  
別な惑星の偉大な人類と文明——G.アダムスキー  
私は別な惑星へ行ってきた!④——春川正一

No.96

昭和62年1月20日発行 ¥700

- 私のオーラ透視とテレパシー現象——清水 南  
京都市上空にUFO5回出現——久保田八郎  
想念放射、透視、UFO目撃——遠藤昭則  
UFOと心靈は無関係——G.アダムスキー  
私は別な惑星へ行ってきた!③——春川正一

No.95

昭和61年10月20日発行 ¥700

- 茨城県千代田村のUFO——日本GAP茨城支部  
アダムスキー問題に対する考察——内田格男  
私のUFO目撃と不思議な体験——中嶋順子  
ジャンボジェットに並行して飛んだ円盤——久保田八郎  
私の別な惑星訪問体験とアダムスキーの真実性——春川正一

No.94

昭和61年7月20日発行 ¥700

- テレパシーで飛来した真っ黒い円盤——堀江健一  
八丈富士山麓でUFOを撮影——谷口美雄  
地球を救う愛の想念放射運動——山崎清美  
母船の周囲には人工大気層がある——G.アダムスキー  
私は別な惑星へ行ってきた!②——春川正一

No.93

昭和61年4月20日発行 ¥700

- 月面にいた2機のUFO/  
超低空に出現した大型円盤と黒い人影!——笠原弘可  
私も光体を見た——伊藤達夫  
多くの館——G.アダムスキー  
質疑応答——G.アダムスキー  
私は別な惑星へ行ってきた!①——春川正一

# 花紋の広がり

えつ！草花や物とお話ができるって？

—21世紀文明を先取りする、新脳人間育成への宇宙教育書—

著者 中島 真由美



人間の最大の教師は、波動で呼びかけてくる物や草花の中に大宇宙からの意志が託されていた

たしかに、ほしょんの人々は、心は人間のものあるものとして捕えてきました。しかし、精神とは、本当に秘密の真、もの言わぬ自然界の意志を読み取る感性のノウハウをあなたの手に――

ひとやかに、開け放された秘密の真、もの言わぬ自然界の意志を読み取る感性のノウハウをあなたの手に――

昭和の動植物の中、愛をテーマに人生を育んだ人の女性がある。突然、潜意識の扉が開き、花との対話を生まれました。それ以来、美しい日本の四季を巡り、雄大なる自然環境を鼓舞しながら次々と説き聞かれてきました。

中でも梅と桜を綴めた日本の花の詩は、過去地球上人類が長いこと求めても到底得なかった本質的な男女の個性が明確されています。また、花の謡訣がオーラから端を発し、今までの諸問題をかえり迷する現代社会をよく見て、自然が語る人類藍鑑への声は、劇的な分析にならなければなりません。

大自然の声、人間の真義の声が隠されていくことを明るみに、読書が上昇した感動的書です。



## 花紋の広がり

中島 真由美 著

潜在能力を引き出す感性のトレーニング

工品のある物・年をまたぐ・人間を取り巻く一切の環境が、人間と同じように波動が流動し、そこに意志を放つて存在していることを繰りていきます。

大自然の声、人間の真義の声が隠されていくことを明るみに、読書が上昇した感動的書です。

(花の正反対)

河出書房新社発刊  
「花紋の広がり」

中島 真由美 著

(本体価格 942円)

お近くの書店にてお申込みください

尚 品切れの際は

〒350 埼玉県川越市南大塚1265-69

株式会社コスモス

お申込み下さい

電話 049-214-27306

はがきか電話にて受付けています。

本書がおなじ社会情勢も同じであります。それ故に、新文明を築き上げるためにおいて、人が評価する物の価値観が、一生を左右する所以あります。また、精神の本源の重要性が問題提起となり、ますます地球の総人類が抱える運動的な課題につながっています。

わが身が、いつでも、この本を可視化世界を徹底追求していく中で、ある日突然、人間以外の心で意識が運営に向つてゆく、つまり自分の回路を明かして体験します。それは、自然界で日々運営される光、風、雨、雪、そして大地に息づく草木を始めとする動植物、加

算する人生の中で、人間の心が大変可視化世界を徹底追求していく中で、ある日突然、人間以外の心で意識が運営に向つてゆく、つまり自分の回路を明かして体験します。それは、自然界で日々運営される光、風、雨、雪、そして大地に息づく草木を始めとする動植物、加

く、人間が、いつでも、この本を可視化世界を徹底追求していく中で、ある日突然、人間以外の心で意識が運営に向つてゆく、つまり自分の回路を明かして体験します。それは、自然界で日々運営される光、風、雨、雪、そして大地に息づく草木を始めとする動植物、加

く、人間が、いつでも、この本を可視化世界を徹底追求していく中で、ある日突然、人間以外の心で意識が運営に向つてゆく、つまり自分の回路を明かして体験します。それは、自然界で日々運営される光、風、雨、雪、そして大地に息づく草木を始めとする動植物、加

く、人間が、いつでも、この本を可視化世界を徹底追求していく中で、ある日突然、人間以外の心で意識が運営に向つてゆく、つまり自分の回路を明かして体験します。それは、自然界で日々運営される光、風、雨、雪、そして大地に息づく草木を始めとする動植物、加

く、人間が、いつでも、この本を可視化世界を徹底追求していく中で、ある日突然、人間以外の心で意識が運営に向つてゆく、つまり自分の回路を明かして体験します。それは、自然界で日々運営される光、風、雨、雪、そして大地に息づく草木を始めとする動植物、加

く、人間が、いつでも、この本を可視化世界を徹底追求していく中で、ある日突然、人間以外の心で意識が運営に向つてゆく、つまり自分の回路を明かして体験します。それは、自然界で日々運営される光、風、雨、雪、そして大地に息づく草木を始めとする動植物、加

平成2年度 日本GAP全国月例研究会案内

支部名	日 時	会 場	会 費	プログラム・テキスト
東京本部	毎月第2土曜日 午後1:30→6:00 ※8月のみは第1土曜日(4日)に変更。会場も皇居北の丸公園の「科学技術館」第1会議室(6F)に臨時変更。 ※9月から平常通り第2土曜日に文化会館で開催。	上野公園内「東京文化会館」4F会議室。 ☎03-828-2111。JR上野駅「公園口」下車。改札口の真向かい。 連絡先=日本GAP本部 ☎03-651-0958	会場費 ¥500 セミナー受講料 ¥1000 計¥1500	1:30→2:10 会員による体験講演。 2:15→3:30 久保田会長による講義。 テキスト=「生命の科学」 テレパシー開発法、テレパシー練習、近況報告、自己紹介、質疑応答。
大阪支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00	大阪府吹田市出口町4丁目「吹田市民会館」 ☎388-7351。JRまたは阪急電車吹田駅下車。 連絡先=平塚和義 ☎06-436-3478	¥300	東京月例会における久保田会長の講義録音テープを公開。 テキストその他=東京本部に同じ。
新潟支部	毎月第4日曜日 午後1:00→5:00	新潟市弁天3丁目「新潟市青年の家」 ☎025-244-6766。JR新潟駅より徒歩3分。 連絡先=星 富治夫 ☎02579-2-5562	¥500	同上
名古屋支部	毎月第2日曜日 午後1:00→4:30 ※8月と9月のみは、8月5日(日)、9月9日(日)に国際センタービルで開催。	名古屋市中区金山1丁目5番1号「名古屋市民会館」特別会議室。 ☎052-331-2141代。 JR東海・名鉄・地下鉄の金山橋より徒歩5分。 連絡先=林 国宣 ☎0586-45-6468	¥300	同上
仙台支部	毎月第3日曜日 午後1:10→4:20 ※7月のみ7月29日(第5日曜日)に変更。 ※8月より毎月第3日曜日に変更。	仙台市青葉区1番町4丁目「141(イチヨンイチ)ビル」内5F 「エル・パーク仙台セミナー室」☎022-268-8300。仙台駅よりバスで県庁市役所前下車、三越ベート隣。 連絡先=笠原弘可 ☎022-295-0725	¥300	同上
山形支部	毎月第1日曜日 午後1:00→5:00	山形県天童市老野森1丁目1-1「天童市中央公民館」 ☎0263-54-1511。天童駅から徒歩10分、タクシー4分。天童市役所の裏側。 連絡先=柴田光明 ☎0233-25-3261	¥300	同上
札幌支部	毎月第1日曜日 午後1:00→4:30	中央区北一条西13丁目「札幌市教育文化会館」会議室。 ☎011-271-5821。 連絡先=高野省志 ☎011-783-6393	¥500	同上
旭川支部	毎月第4日曜日 午後1:00→5:00 ※8月より右記の通り会場のみ変更。	旭川市五条4丁目「旭川ときわ市民ホール」3F 302研修室 ☎0166-23-5577 連絡先=川上三秀 ☎0166-61-0044	¥500	同上
青森支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00	青森市松原「青森市民文化センター」教養室。 ☎0177-34-0163。 連絡先=田村嘉彦 ☎0177-38-0416	¥500	同上
沖縄支部	毎月第4日曜日 午後1:00→5:00	具市川市栄集野比1213-1「具志川市野外レクセンター」会議室。 ☎09897-2-7722 連絡先=比嘉政広 ☎09893-3-2899	¥500	同上
秋田支部	毎月第2日曜日 午後1:00→5:00	秋田市八橋運動公園1-2「中央公民館」趣味の間。 ☎0188-24-5377。 連絡先=伊藤正治 ☎0188-62-2831	¥200	同上
横浜支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00	横浜市中区万代町2-4-7「横浜市技能文化会館」7F、703号室。 ☎045-681-6511。JR関内駅、地下鉄・伊勢崎長者町駅より徒歩3分。 連絡先=清水 正 ☎048-866-7048	¥500	同上
茨城支部	毎月第4日曜日 午後1:00→5:00	水戸市梅香1-2「三の丸公民館」小集会室。 ☎0292-24-6600。水戸駅北口より徒歩10分。 連絡先=清水勝一 ☎0292-73-1903	¥300	同上
長野支部	毎月第4日曜日 午後1:00→5:00	塩尻市大門7番町「塩尻総合文化センター」第1会議室。 ☎0263-54-1253。 連絡先=博田文喜 ☎0263-58-8510	¥500	同上
紀南会	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00 ※代表が長期療養のため月例会は当分休会。	和歌山県新宮市新宮6682-1「新宮市福祉センター」1F相談室。 ☎0735-21-2760。JR西日本新宮駅下車、徒歩5分。 連絡先=松口幸之助 ☎0735-34-0605(呼・田中)	¥300	同上
栃木支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00	鹿沼市市役所裏「御殿山会館」1F小会議室。 ☎0289-64-4334。JR鹿沼駅から西へ1.5km。東武新鹿沼駅から北へ1.5km、市内行きのバスに乗り天神町下車。徒歩5分。 連絡先=渡辺克明 ☎0289-62-3319	¥500	同上
南九州支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00	鹿児島市与次郎2丁目3-1「鹿児島市民文化ホール」 ☎0992-57-8111。 連絡先=鶴田清則 ☎0993-25-4398	¥500	同上
高松支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00	高松市玉藻町9番10号「香川県民ホール」5F第1会議室。 ☎0878-23-3131。JR高松駅より徒歩7分。 連絡先=閔 高明 ☎0878-88-1334	¥400	同上

絶賛発売中

# 新アダムスキー全集

## 全8巻全面改訂・新装普及版刊行開始!

久保田八郎訳・各四六判／新巻数順に順次配本。

超絶した大文明を持つ、太陽系の他の惑星群の人々とコンタクトしたアダムスキーを米政府機関は密かにマークしていた／UFOや惑星群の驚異的実態と深遠な宇宙思想を伝える本全集は、地球人類に宇宙的覚醒の必要性と真の生き方を示す永遠の古典。UFOと宇宙哲学の研究者にとって必読の名著。旧全集を全面改訂した最終決定版。

アダムスキー／

### ①第2惑星からの地球訪問者 352頁・定価1980円

UFO研究家として世界的に著名なジョージ・アダムスキーの、1952年11月20日、米カリフォルニア州の砂漠に着陸した円盤から出てきた金星人との会見から始まる驚異的なコンタクト実録。著者みずから円盤や母船に乗り組み、他の惑星の超絶の大文明の実態を明かにする、本全集の中心の書。写真多数収録。

アダムスキー／

### ②超能力開発法(テレパシー、遠隔透視その他) 192頁・定価1300円

世間に氾濫する通俗的な超能力開発法とは根本から異なる宇宙的能力の発現法を説いたもの。目、耳、鼻、口、の四官をコントロールして、肉体内部の宇宙の意識から来るメッセージを感じ、真の意味でのテレパシー、遠隔透視その他の超能力を身につける方法を具体的に詳述。類書皆無の重要文献。

アダムスキー／

### ③21世紀/生命の科学 208頁・定価1300円(第3回記本)

アダムスキーが他界する前年に出した12分冊の講座を一冊にまとめたもの。アダムスキー宇宙哲学の総括的大金字塔。特に人体細胞の実態と真実のテレパシー、及び世界通信の歴史等を科学的に解説した超能力開発指導書。心電現象への接近を警告する画期的な理論を明快に説く、第5巻の統編として必読のテキスト。

アダムスキー／

### ④UFO問答100 216頁・予価1600円

1958年にアダムスキーは、世界中から来る質問の洪水を分類して質疑応答集を出した。全部で100問のUFO関係の質問に懇切な回答を与えている。現在の混沌した世界のUFO研究界に的確な示唆と回答を示すものとして、内容は今も驚くほど新鮮で有用である。UFO研究者の素晴らしいガイドブック。

アダムスキー／

### ⑤UFOの謎 262頁・予価1600円

UFOの推進原理をはじめ、聖書とUFOとの関連などを詳述して様々なミステリーを解説した重要な文献。第2部はアダムスキーの世界講演旅行記で、各国GAP網の活動状況が充実に描写されていて1960年代のUFO研究界の実情と一般人の宇宙観がよく理解できる。第1巻の統編。

アダムスキー／

### ⑥金星・土星探訪記 350頁・予価1980円

アダムスキーが大母船に乗せられて、想像を絶する進歩をとげた金星と木星を訪れた体験記。特に金星人の少女として生まれかわった亡き妻メリーとの劇的な対面が正注目。第2部には1958年以来、日本におけるアダムスキーの代理人として啓蒙活動に専念している久保田八郎宛の多数の書簡を収録。

アダムスキー／

### ⑦21世紀の宇宙哲学 148頁・予価1200円

地球人が真に宇宙的な成長をとげるための基本的思想として、マインド(心)と肉体内部に宿る宇宙の意識との一体化を説いた書。既成のあらゆる宗教や哲学では理解し得なかった人間の意識と万物との関係を説いて21世紀の思想を先取りした。第5巻、6巻と合わせてアダムスキー哲学の三部作をなす。

アダムスキー／

### ⑧UFO・人間・宇宙 370頁・予価2200円

アダムスキー支持活動団体として世界のトップクラスをゆく日本GAPの機関紙に掲載された、アダムスキーのUFOと宇宙哲学関係の論文、講演録等を編集。他界する直前の最後の講演が正注目。第2部には訳者・久保田八郎が再三度米してアダムスキーの今は亡き高弟たちと接したインタビュー記事を収録。

#### [ご注文のしおり]

全国の書店で発売致しております。店頭品切れの際は、「巻数・書名・定価・出版社名」をそえて書店にお申込みください。お買い求めにご不便な方、お急ぎの方は、直接出版社に「巻数・書名・定価・冊数・住所・氏名・電話」を明記の上、下記宛にご注文ください。

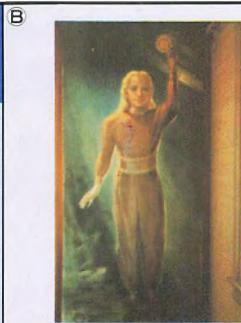
●ご送金は、便利な郵便振替「口座番号[東京8-66324]か現金書留または小額の切手(100円以下)でも結構です。その際、定価に送料310円を加算した金額をお送りください。

**A あなたも超能力者になれる!  
テレパシーESPカード**

テレパシーと透視力開発用のESPカードはアメリカのニューヨーク大学で科学的に開発されたゼナーカードです。5種類の图形カードが各5枚ずつ、計25枚入っています。これを応用して多種類の練習により人間に内在する超能力の開発に絶大な役割を果たします。堅牢な厚紙製。重量40gの軽量、ポケットに入れて常時携行して下さい。



25枚1セットケース入り 使用説明書付き  
¥900 送料¥120(2~5個¥175)



**①オーソン肖像写真 ②シンボルマーク**

①1952年11月20日、カリフォルニアの砂漠でアダムスキーが劇的な最初のコンタクトをした金星人は「宇宙からの訪問者」第二部でオーソンという名で出てくるが、これをアーティストの記録やアリス・ウエルズのスケッチにもとづいて女流画家ゲイ・ベツツが描いた名画の写真。(キャビネ判・カラー写真) [上半身写真もあり。定価¥600]  
②この金星のシンボル・マークの中央にある眼は“すべてを見透す眼”で、宇宙の意識をあらわし、周囲の四層の星は人間のマインド(心)の発達状態をあらわしている。(サービス判・カラー写真)  
上記2点共、重要な資料となるものです。他所では入手できません。

①¥600 送料¥120  
②¥300 送料¥62 }一括注文の場合送料¥120

**C ······ 大いなる信念と勇気を与えるGAP能力開発テープ ······**

毎月行なわれている日本GAP東京本部月例研究会のなかから、日本GAP会長・久保田八郎先生が宇宙的フィーリングをもってアダムスキーの名著を解説した講義などが収められたテープ。ドライブ中や、通勤・通学電車内で、あるいは就寝前に聞いたりすれば絶大な信念と勇気がわき起ります。

**■日本GAP東京本部月例研究会録音テープ①**

内容=久保田会長による「生命の科学」(G.アダムスキー著)  
解説講義/近況報告/質疑応答(一部)

テープ1本(120分) ¥1300 送料¥200

\*このテープは日本GAPでは取り扱いません

◆申込先◆ 〒133 東京都江戸川区本一色1-24-3-202 松村芳之 ☎03-653-9387 振替・東京0-162644

**■日本GAP東京本部月例研究会録音テープ②**

内容=テープ①の内容+遠藤昭則講師によるテレパシー実践講義/テレパシー練習(テキスト付)/質疑応答(全部)

\*お申し込みの際はテープ①または②の別をご明記下さい。

テープ2本(90分×2本) ¥1900 送料¥250

**会員募集**

日本GAPはUFO研究界の大先駆者・久保田八郎が故アダムスキー氏と提携して1961年に創立したわが国最大のUFOと宇宙哲学の研究大集団/多数の会員と共に宇宙的人間を目指そう/入会案内書をハガキで日本GAPへ申し込もう!

—日本GAP—

D



—あなたに良きカルマをもたらす—  
**日本GAP**  
〒133 東京都江戸川区本一色1-24-3-202  
TEL:03-651-0958

**GAP特製  
テレホンカード**

第3弾テレホンカードは大好評裡に品切れ。ここにデザイン一新の上のGAPが放つ第4弾!アダムスキーの肖像写真を入れた優美なデザインによる宇宙的波動を放つこのカードを持つだけでも、高次元なフィーリングが起つて良きカルマをつくります。

1枚¥1500 送料10枚まで¥120

E

**会員バッジ**

ジョージ・アダムスキーが金星人から与えられた唯一のバッジと形、色共全く同じに複製した径18mmの丸い優美なバッジです。薄青色地に金色のシンボルマークが浮彫りされており、縁も金色です。表面には透明樹脂がかけてありますからギズがつかず、光を反射してキラキラ輝きます。男性用は裏側ガルボジ式で、女性用は裏側が安全ピン式です。ぜひお求め下さい。ご注文のさいは男性用・女性用の別を明記して下さい。  
(無断複製を禁じます)



実物大

1個¥2000 送料4個まで¥120

F

—幸せを呼ぶ—

**GAPシール**

シールを作成しました。WITH COSMIC CONSCIOUSNESS(宇宙の意識と共に)の文字がシンボルマークを取り囲む優雅なデザイン。径6cm、5cm、4cm、3cm、2cmの5枚1セット。青と赤の2種類あります。自動車の窓、運転台、カバン、書籍・ノートの表紙、その他の持ち物に貼つておけばいつも宇宙的フィーリングに満ちて気分さわやか。良き想念が良い物事を招きよせます。表面光沢。防水加工。裏面のり付。ご注文の際は青、赤の区別をお忘れなく。

1セット¥900 送料5セットまで¥62

**◎を除く商品の申込先・申込方法**

住所・氏名・電話番号・商品名・種類・色・個数等を明記の上右記へ郵便振替または現金書留でお申し込み下さい。

〒133 東京都江戸川区本一色1-12-1-511 日本GAP  
振替/東京4-35912 ☎03-651-0958

\*商品価格に消費税は含まれてありません。

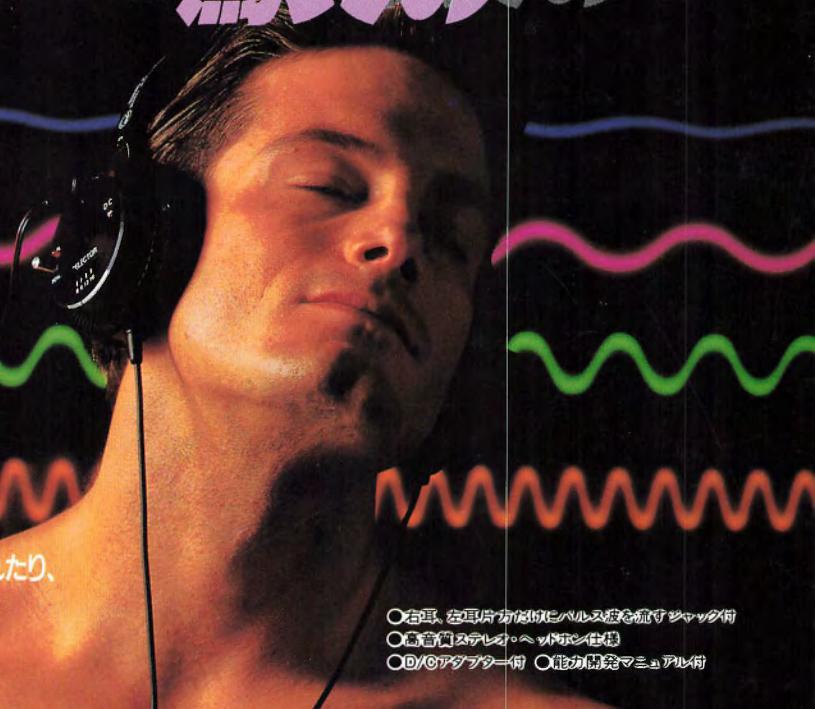


潜在能力が目覚める  
真の自分が目覚める

『記憶力・集中力の増大』『知能の向上』  
『恋愛・人間関係成功』『強い自分の養成』

# あなたを変える驚異の ヘッドホン

アメリカで数年前から話題になっている、  
『大脳の脳波を誘導し、  
人間の無限の可能性を引き出す  
というヘッドホンが遂に日本へやってきた。  
普通のヘッドホンと同じように  
音楽等を聴いているだけで、  
内蔵されたパルス波発生装置が作動して  
大脳を心地よく刺激してくれる。  
何度も愛用しているうちに  
知らず知らずのうちに潜在能力が開発されたり、  
精神力が強化されてしまうというしかけ。  
一度、試してみる価値はある。



- 右耳、左耳片方だけにパルス波を流すジャック式
- 高音質ステレオ。ヘッドホン仕様
- D/Aコンバーター付 ○能力開発マニュアル付



『シンクロ・アルファ』と呼ばれるこの特殊なステレオヘッドホン。ヘッドホン内部に組み込まれた特殊な周波数のパルス波発生装置にその秘密がかかる。使い方はとても簡単。目的に応じて4つの周波数の中からひとつを選び、スイッチを入れるだけ。あとはヘッドホンを装着して、勉強する、雑誌等を読む等くつろぐ、普通のヘッドホンと同じようにラジカセ等に接続して好きな音楽を聴くだけ。(パルス波は耳に全く聴こえないから、勉強や音楽鑑賞の邪魔になることはない)

アメリカの有名な医学博士M・ギルラ博士の研究で明らかになった、大脳の脳波を共鳴させる特殊な周波数のパルス波。『シンクロ・アルファ』から発生するこの特殊なパルス波の刺激によって大脳が活性化され、学習率向上、『記憶力・集中力の増大』、『知能の向上』、『精神力・性格の強化』等々の数々の効能が全く努力なしに得られる。

## シンクロ・アルファーの多様な効能

■『シンクロ・アルファー』は、4種類のパルス波の周波数モードの切換えができる。

□**α波音樂テープ無料プレゼント中!**  
今、お申込みの方にもれなく、大脳を活性化させ心をなごませるアメリカでも人気のα波音樂テープを一本無料でプレゼント。

□**申込み方法**

商品名・住所・氏名・電話番号・年令・職業・一括分割の別を明記の上、左記までハガキか電話で。

■**一括払・一九八〇円(送料八〇円)**  
■**分割払・三、五〇〇円×6回(送料同)**

## 7日間無料試用できる

この『シンクロ・アルファー』ステレオヘッドホンを今なら7日間無料試用できる。

■**価格(消費税3%は別)**

■**申込み方法**

商品名・住所・氏名・電話番号・年令・職業・一括分割の別を明記の上、左記までハガキか電話で。

〒107 東京都港区南青山1-26-4  
アメリカンライブリー社 ⑩⑦  
電話 東京03(47)95804  
(受付AM8~PM24日・祭日も受付中)

- ①安眠・深いくつろぎ・性格改善
- ②瞑想・直觀力開発・知能開発・精神力強化
- ③記憶力・集中力強化・学習能率向上
- ④大脳の覚醒・自信・意欲・行動力の強化――の4種類の目的に応じた使い分けができる。

## 『シンクロ・アルファー』の使い方

- ①自分の好きな音楽を聞く――音楽鑑賞をしながら、潛在脳力開発や自己開発ができる。
- ②アルファー波音樂テープ・サブリミナルテープ・自己暗示テープを聞く――これらのテープの効果をより一層引き出すことができる。
- ③勉強中に利用する――BGM音楽をかけながら、あるいは全く無音の状態で使用し、学習能率を上げ記憶効果を倍増させる。
- ④読書中や他の事をやっている時に装着する。その他、テープ教材の記憶学習用に、安眠誘導用あるいは眠気防止用にと幅広い目的で利用できる。